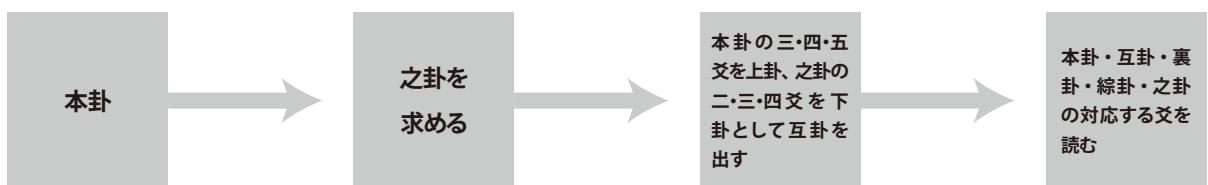


互卦・裏卦・綜卦・之卦



互卦	<p>卦の本質をあらわす『互卦』 象意：本質・中心・根本・理想 互卦は本卦の本質部分を観ることで問題解決の糸口を探る卦。勢いの弱い初爻と無位である上爻を除いた、中心の二・三・四・五爻の本卦が持つ本質的で中心的な所があらわれるので、互卦は本質的に観る事に用います。地沢臨の互卦は地雷復ですが、行き詰っていた所から心機一転して現状を打破していく臨機応変力が身についてくるという様な本質的な部分が観えてきます。</p>	<p>占筮で得た本卦の二・三・四爻を内卦に見立て、三・四・五爻を外卦と見立て完成した卦が『互卦』 本卦が「地天泰二爻」の場合変爻後の之卦が「地火明夷二爻」。 之卦の二、三、四爻を下卦、本卦の三、四、五爻を上卦にする。 下卦が「坎(かん)」上卦が「震(しん)」になり「雷水解(らいすいかい)」になるので、その「二爻」を見れば良い。</p>
錯卦 裏卦	<p>錯卦：本卦の陰陽を裏返した卦 逆転・逆説・裏側・悲観的 裏卦は「陰陽」を逆転させることで本卦の裏側を観、本質を探る。「頑張っている=大変なことに挑戦している」「上手く行かない=成長中、現時点で達成出来ないことを出来る様になろうとしている」というように「陰陽」を逆転させると見えてくるものがある。卦を逆説的に観るという事になり、逆の方向に進んだ時はどうなるか、物事が裏目にでたらどうするかという、悲観的な目線を持って、何を為すべきなのかを暗示します。水火既濟の錯卦は火水未済となって、物事が極まって完成を見ると、その後には必ず崩壊するという事を観る事ができる。</p>	<p>占筮で得た本卦の爻の位置は変えずにそのままにして、陰と陽を全て逆転させるのが『錯卦』。</p>
綜卦	<p>現実的な陰陽変化『綜卦』 象意：第三者的視点・客観的・全体・現実 綜卦は本卦を第三者的視点で観た場合の卦。運命を客観的に観る場合に用いる。例えば沢水困の本卦を得た場合、綜卦は水風井となり、沢水困の困難は客観的に観れば水風井の自己修養であり、現在行っている事は目的を射るので大いに努力しなさいという易断を下す。自分から見る視点と、他人から見る視点が加わるから全体像が掴めて現実的な判断を下す事が叶う。</p>	<p>占筮で得た本卦を 180 度回転させた卦が『綜卦』</p>
变卦 之卦	<p>中期的な未来の陰陽変化『之卦』 象意：中期的・実現・次の転開・能動 中期的な未来の運命を予見する。乾為天九五を本卦で得ると、九五を陰に変爻させ火天大有になり、これを乾為天から火天大有に『ゆく』と言う。例えば乾為天九五から火天大有に之くとなれば、龍が天に昇るが如く好調を維持しながら、後に大きな力や勢力を所有するであろうと易断を下す。次の展開が分かるからこそ、運命の流れに従って能動的に動いて物事を実現していく事ができる。</p>	<p>占筮で得た本卦の変爻が陰であれば陽に変化させ、陰であれば陽に変化させて現れた卦が『之卦』。</p>

六十四卦一覽表

	乾(天)	兑(沵)	离(火)	震(雷)	巽(風)	坎(水)	艮(山)	坤(地)
乾(天)	1: 乾為天	43: 沢天夬	14: 火天大有	34: 雷天大壯	9: 風天小畜	5: 水天需	26: 山天大畜	11: 地天泰
兑(沵)	10: 天沵履	58: 兌為沵	38: 火沵睽	54: 雷沵帰妹	61: 風沵中孚	60: 水沵節	41: 山沵損	19: 地沵臨
離(火)	13: 天火同人	49: 沢火革	30: 離為火	55: 雷火豐	37: 風火家人	63: 水火既濟	22: 山火賁	36: 地火明夷
震(雷)	25: 天雷无妄	17: 沢雷隨	21: 火雷噬嗑	51: 震為雷	42: 風雷益	3: 水雷屯	27: 山雷頤	24: 地雷復
巽(風)	44: 天風姤	28: 沢風大過	50: 火風鼎	32: 雷風恒	57: 巽為風	48: 水風井	18: 山風蠱	46: 地風升
坎(水)	6: 天水訟	47: 沢水困	64: 火水未濟	40: 雷水解	59: 風水渙	29: 坎為水	4: 山水蒙	7: 地水師
艮(山)	33: 天山遯	31: 沢山咸	56: 火山旅	62: 雷山小過	53: 風山漸	39: 水山蹇	52: 艮為山	15: 地山謙
坤(地)	12: 天地否	45: 沢地萃	35: 火地晉	16: 雷地豫	20: 風地觀	8: 水地比	23: 山地剝	2: 坤為地

本 卦 60% 程度		
之 卦 中期的・実現 次の転開・能動		
互 卦 本質・中心 根本・理想		
裏 卦 過去の状態・逆説 裏側・悲観的		
綜 卦 第三者的視点 客観的・全体・現実		

本 卦		
之 卦 中期的・実現 次の転開・能動		
互 卦 本質・中心 根本・理想		
裏 卦 過去の状態・逆説 裏側・悲観的		
綜 卦 第三者的視点 客観的・全体・現実		

1. 乾為天(けんいてん)



乾為天(けんいてん)

今こそ進むとき

キーワード：強い・明るい・積極的・剛健・
創始・高尚・君臨・命令・偉大・横暴・
多忙不休・常人には凶・自信過剰

陽が重なった強い卦。乾=健。健やかで止むことのない天の働き。宇宙の広大無辺なる広さと、際限のないエネルギー、運行してやまない活動力、何物をも支配する巨大な力と、万物を産み育てる原動力など、我々人間を含む万生物の根源的な存在としての天を表現している。

互卦	裏卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
1: 乾為天	2: 坤為地	1: 乾為天	44: 天風姤	13: 天火同人	10: 天沢履	09: 風天小畜	14: 火天大有	43: 沢天夬

卦 辞	乾は元(おお)いに亨る。貞(ただ)しきに利(よ)ろし。	のぞみは大いに通る。正しい態度を取ることが重要。
初 九	潜龍なり。用うるなけれ。	力量不足のため、才徳を用うるべきではない。
九 二	見龍田にあり。大人を見るに利ろし。	潜んでいた龍が地上に現るように才徳が明らかになった。 徳のある人物に認められ成長するのがよい
九 三	君子終日乾乾し、タベに惕若(てきじやく)たり。 厲(あや)うけれども咎(とが)なし。	徳が高い人が終日勤勉にし、夜には反省を忘れない。 危ういことがあってもトラブルは免れる。
九 四	或いは躍りて淵に在り。咎なし。	躍進する力があっても深淵でさらに様子を見る。 そのような態度であれば咎を免れる。
九 五	飛龍天に在り。大人を見るに利ろし。	龍は天に昇り力を發揮している。 優秀な人物を見出して力を借りると良い。
上 九	亢龍なり。悔いあり。	昇り過ぎた龍は悔やむことになる。
用九(特別)	群龍首(かしら)なきを見る。吉なり。	群がる龍の頭以外を見る。 (そのようにひけらかさず慎ましい様が)吉となる。

運 勢	大人物は風雲に乘じて飛躍する。拡大のとき。 状況によっては進みすぎて進退に苦しむタイミング。またすでに盛況を迎えていた時は衰退への兆し
願 望	凡人には望みが高すぎて空軽する恐れ。多欲は失望に変わるため、退いて常を守ること。
恋愛・関係	お互いに主張が強く親和が得られず。今は万事控えめにする方が良い。
結 婚	相互が高望みしてまとまり難い。結婚を迎えられたとしても、婚後は特に女性が強く衝突しがち。離別もあり。
性 格	剛健、積極的、自尊心が強い、リーダーシップ、高慢
事業・方策	力量以上の拡大は荷が重い。元の通りにした方が良い。
住 居	必要以上の新築、増改築は見合わすべき。移転は先に延ばすが吉。
相 場	低落が続いている場合はいつたん底を打つ。上昇傾向にあるものは天井圏内へ。ただし、性急な判断は控えるよう
旅 行	観光はトラブルあり凶。公的なもの、用のあるものは吉。
病 気	頭痛、脳出血、頭部のけが、胸部・心臓の疾患、骨の疾患(乾は骨、坤は肉)、大熱。 病勢が激変する恐れがあるため治療を怠らないよう注意。

2. 坤為地(こんいち)



全てを受け止めて豊かに育む

キーワード：受容・受動・柔順・従う・温厚・
寛容・苦労・多数・常人・平凡・現状維持・
忍耐力・降伏・大地・消極的・大人しい

純陰の卦。地の得の肥大を象っている。天の能動性に対する受け身の姿勢。女性を意味する。天の気を従順に受け入れることによって生じた、全ての生物を産み育てる慈悲深い育成の徳。大地だけでは万物を育てることはできない。天のエネルギーあってこそである。

互卦	裏卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变

卦辞	坤は、おおいにとおる。牝馬(ひんば)の貞によろし。 君子ゆくところ有るに、先んずれば迷い、後るれば主を得る。 西南に朋を得、東北に朋を喪(うしな)うによろし。貞に安んずれば吉なり	望みは大いに通る。君子でも人の先に立てば迷って道を失い、人に従うように心がければ主人を得て迷うことがない。西南では友を得、東北では友を失うが従順であれば夫を得る。真正を受け入れることが吉
初六	霜を履(ふ)みて堅氷(けんぴょう)至る。	薄い霜を踏んだ時には、 硬い氷が張る兆しであることを思い至らねばならない
六二	直・方・大(ちょくほうだい)なり。 習わざれば利ろしからざるなし。	素直さ・行いの正しさ・盛大という地の徳を備えている。 習わなくても自ずと全てによろしきを得る。
六三	章(あや)を含みて貞にすべし。或(ある)いは王事に従うも成すことなくして終り有り。	才能を隠して慎み深くするのが良い。王命に従う時も自分の手柄を誇らざることで最後には良い結果となる
六四	囊(ふくろ)を括(くくる)。 咎(とが)もなく、誉(ほまれ)もなし。	上卦の下にあって正は得るが中は得ず危険な状態。 知恵を隠して言動を慎めば、賞賛もないが過ちも犯さず無難
六五	黄裳(こうしょう)、元吉(げんきつ)なり。	黄裳を身につけるように 謙虚で中正の徳を守ることは、大いに吉である。
上六	竜野(や)に戦う、その血玄黄(げんおう)。	陰が極まって龍のようになり、陽の龍と野で戦っている。 片方は黒(天の色)い血を、 もう一方は黄色(地の色)い血を流して傷つけあう。
用六(特別)	永貞(えいてい)に利あり。	慎ましさ、正しさを永く保つのが良い。

運勢	気迷いが多く決断つかず、世話苦労が多い時。 強力なリーダーに従い、縁の下の力持ちに徹すると吉。
願望	目上に従うことで、徐々に叶う。気長に継続的に努力すること。
恋愛関係	活気に乏しく地味な仲。互いに様子をうかがって進展なし。明瞭な意思表示が必要。
結婚	決断つかず、まとまりにくい。次第に整う。婚後は平凡だが安穏な生活となる。
性格	受身な性格で内向的。家庭的な女性のよう。
事業・方策	自分が主体にならないよう、共同で実施するかサポート役に徹するべし。みだりに変更することは凶となる。
住居	多少の不満はあっても辛抱すること。増改築は可。移転は時期ではない。
相場	低落しつつあるものはやがて上昇するが、上昇波乱の時は今が天井。見通し困難。
旅行	平安な旅。西南は同行者がいると良く、東北は一人が良い。帰省は吉。
病気	鬱、健忘症、過労、胃腸・脾臓・肝臓など腹部の疾患、皮膚病。 病勢は良くも悪くも安定、病は進行もしないが治癒も進捗せず。気力が大切。

3. 水雷屯(すいらいちゅん) 生みの苦しみ

キーワード：始まりの困難、生みの苦しみ、伸び悩み、行き悩み、苦しみ、短慮、忍耐、前方に障害

外卦は坎(剣難) 内卦は震(芽)。天と地の気が初めて交わり、万物を生じる生みの苦しみ。稻妻が走る混沌の中に秩序が生まれる。寒く困難の多い外に出ようとする芽ばえの苦しさのように最初は困難が伴うが、時がくれば暖かくなり、すくすくと成長することができる。

互卦	裏卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								

卦 辞	屯は元いに亨る。貞しきに利あり。 用て往くところあるなかれ。侯(きみ)を建つるに利ろし	今は生みの苦しみの時期だが、いずれ望みは大いに通る。 正しい生き方をすること。まだ事を進めてはならない。 協力者を得て秩序を築くと良い
初 九	磐桓(はんかん)す。貞に居(お)るに利ろし。 侯(きみ)を建つるに利ろし。	進みにくく躊躇する。慎ましく正しい態度でいると良い。 有力な協力者に実行役を任せると良い。
六 二	屯如(ちゅんじょ)たり。遯如(たんじょ)たり。 乗馬班如(はんじょ)たり。寇(あだ)するにあらず、婚媾(こんこう)せんとす。 女子貞(てい)にして字せず、十年にして乃(な)なわち字す。	書を与えようとしているのではなく、婚姻を求められているが 滞り、行き悩み、馬に乗ってぐるぐる回っている。女性は他の男性のために 正道を守っていて、十年経てばようやく結ばれる。
六 三	鹿に即(つ)くに虞(ぐ)なし。ただ林中に入る。 君子幾をみて舍(や)むに如かず。往けば吝(りん)。	鹿を追いかけるのに案内人がおらずただ林の中に迷い込む。 賢い人は危険を察してやめておいた方がいい。追えば良くない。
六 四	乘馬班如(はんじょ)たり。 婚媾(こんこう)を求めて往けば吉、利あらざるなし	二人に求婚されて板挟みで迷っているが 婚姻(協力・関係)を求めて行けば吉、うまくいくだろう
九 五	その膏(めぐみ)を屯(とどこお)らす。小貞は吉。大貞は凶。	剣難の真っ只中にあって恵みを持っていても施すことができない。 正道を守って小さいことからコツコツと執り行うのは吉であるが、 大変革に固執する(貞)と凶を免れない。
上 六	乘馬班如(はんじょ)たり。 泣血(きゆうけつ)涙如(れんじょ)たり。	馬に乗ってぐるぐる回って悩んでいる。 悲しみのあまり血の涙を流し、際限なく泣き続ける。

運 勢	あらゆることを始めるには、困難が伴う。難しい境遇を乗り越えるために努力が必要な時。 今は困難であるが、のちに光明が見える。
願 望	悩みや難しさが多いが、辛抱の後に思いは叶う。
恋愛・関係	障害があり当分は思い通りにならない仲。よき理解者を得ると吉。
結 婚	進展しにくい。結婚してもしばらく困難あり。辛抱の後に成立する。 関係が始まったばかりで未熟だが、誠実に進めば育まれる。
性 格	内に秘めているものは多いが、内向的な性格。才能があるものの下積みに苦しむ。
事業・方策	新規事業には苦労が伴うが、将来的に実る。既存のことは前進に難あり。障害を取り去る努力が必要となる。 情熱とアイデア(雷雨)があるが、まだ組織は未整備(草昧)、人材登用(建侯)と継続的努力が必要。
住 居	悩みがある時。新築は思うように進まず。
相 場	環境や材料が良くないが底堅い。次第に上昇する兆はあるものの、油断は禁物。
旅 行	旅行先でトラブルが起きやすい。可能なら機を改める方が良い。
病 気	消化不良、食もたれ、腎臓、下痢、女性はホルモンバランスの乱れ、子どもはてんかん、歩行が困難となる病気。 初期症状が明確でなく判断しづらい。急変はしないが長引くケースが多い。湿気、寒気、冷気に注意。

4. 山水蒙(さんすいもう) 若気の愚かさと教育

キーワード：蒙昧、幼稚、稚拙、初心、初步、
気迷い、経験不足、思慮不足、世間知らず、
努力と助力の相乗効果、子どもの心配

山に霧がかかって全貌がはつきり見えず、行くべき方向が定まらない。天地が交わって「屯」が生まれ、生じたばかりでまだ未熟で幼稚な状態が「蒙」である。物が生じた当初は蒙昧であるため、屯の次に置かれる。独力で問題を乗り越えるには限界がある。先人に教えを請い、周囲の話に耳を傾けるべき時。

互卦	裏卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								
24: 地雷復	49: 沢火革	3: 水雷屯	41: 山沢損	23: 山地剥	18: 山風蠱	64: 火水未済	59: 風水渙	07: 地水師

卦 辞	蒙は、亨る。我より童蒙を求むるにあらず。童蒙より我に求む。初筮(しょぜい)は告ぐ。再三すれば瀆(けが)る。瀆るれば則ち告げず。貞しきに利ろし。	蒙昧さが教育によって啓れることで望みは通る。教育とは師から与えようとするものではなく、生徒の方から求めて教えを乞うべきである。同じことを何度も占うと正しい答えは得られなくなる。真摯に向き合うと良い。
初 六	蒙を発(ひら)く。用て人を刑するに利ろし。 用て桎梏(しつごく)を脱ぎ、以て往けば吝(りん)。	無知を初めて啓(ひら)く時期には、厳しく(罰)人を正す方が良い。手枷足枷を外して自由にさせることはかえって為にならない。
九 二	蒙を包(か)ぬ、吉なり。 婦(つま)を納(い)る、吉なり。子、家を克(よ)くす。	蒙を包容して教育を行い吉である。妻として受け入れるのも吉である。子供であれば立派に育ち、よく家を治めるようになる。
六 三	女を取(めど)るに用うるなかれ。金夫(きんぶ)を見て、躬(み)を有(たも)たず。利しきところなし。	女を娶ってはいけない。金のある男に目がくらんで、身を任せられるような女である。良いことは一つもない。
六 四	蒙に困(くる)しむ、吝(りん)なり。	蒙を導いてくれる人がおらず、無知蒙昧に苦しんでいて良くない。
六 五	童蒙、吉なり。	蒙昧ながらも素直で純粹なさまが吉となる。
上 九	蒙を擊つ。寇(あだ)をなすに利ろしからず、寇を禦(ふせ)ぐに利ろし。	蒙昧なものが思い上がりつづいている。攻撃(寇)すると反発を生みかえって良くない。外部からの攻撃や誘惑を防ぐようにすると良い。

運 勢	蒙昧、幼稚、稚拙、初心、初步、気迷い、思慮不足による失敗、努力と助力の相乗効果、子どもの心配
願 望	初めはらちが明かないことも、次第に伸展していく。現在の研鑽が将来の吉凶に大きく影響する。
恋愛・関係	人間性が未熟なため悩みが多く親しくなれない。家庭の事情のため進展しないこともある。
結 婚	表面に出ない障害や悩み事がある。そのまま結婚してしまうと先行き悪い。時期尚早のため延期するのが良い。
性 格	情に厚く誠実だが、抜けているところがあり理解力に乏しい。
事業・方策	方針が十分でなく幼稚。目上の指導を仰ぐべし。
住 居	不備の多い家。特に雨漏りに注意。移転の場合は当分見合はず方が良い。
相 場	好材料がなく低迷を続けるが、長期的には期待が持てる。手出しをするなら当分は慎重に。
旅 行	心配事あり、取り止める方が良い。旅先では不愉快なことが多く、天気も良くない。
病 気	ノイローゼ、神経衰弱、耳鼻の病、肺の疾患、小腸の疾患、下痢、冷え性、腎臓病、手足の痛み、動脈硬化、女性ホルモンの乱れ。外見では判断しづらい内面の病気。薬の効き目が弱く、治療は長引く。

5. 水天需(すいてんじゅ) 恵みの雨を待つ

キーワード：待機中の栄養、忍耐、待機中、栄養補給、待つ、求める

序卦伝によると、需とは「飲食の道」であり、物が幼いときは養わなければならないので、蒙の次に置かれるという。また彖伝では需とは「須(まつ)」であると説く。天に止まっている雨が降るのを待っている。地にとって雨は栄養であり、養いの水。生物が生命を維持する為に飲食が必須なように、地は雨による潤いを求め、待っている。

互卦	裏卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								

38: 火沢睽 35: 火地晋 06: 天水訟 48: 水風井 63: 水火既濟 60: 水沢節 43: 沢天夬 11: 地天泰 09: 風天小畜

卦 辞	需は孚(まこと)あり、光(おお)いに亨る。貞なれば吉なり。 大川(たいせん)を涉(わた)るに利ろし。	真心を持って待てば望みは大いに通る。正しい生き方をするのが良い。機会が訪れたなら、大きな事を決行しても良い。
初 九	郊(こう)に需(ま)つ。恒(つね)を用うるに利あり。咎なし。	郊外で待っている。平常心を保っていればよい。そうすれば問題は起こらない。
九 二	沙(すな)に需(ま)つ。 小(すこ)しく言(こと)あれど、終(つい)には吉なり。	砂地(不安定な場所)で待つ。 多少非難されることがあっても、最終的には吉となる。
九 三	泥(ひじりご)に需(ま)つ。寇(あだ)の至るを致す。	ぬかるみにて待っているので敵や災いを引き寄せてしまう。
六 四	血に需(ま)つ。穴より出(い)ず。	血だまりで待つ。最後には穴から抜け出せる。 危険な状況でも辛抱強く待てば最後には抜け出せる。
九 五	酒食(しゅし)に需(ま)つ。貞(てい)なれば吉。	飲食の場において待つ。正しければ吉。 日常生活をおくりながら穏やかにチャンスを待つ。
上 六	穴に入る。速(まね)かざるの客三人あつて来(きた)る。これ を敬(つつし)むときは終(つい)に吉なり。	窮地に陥る。思いがけない来客が助けに来てくれるの で敬意をつくして応対すれば最終的には吉。

運 勢	実力を蓄え、英気を養ってチャンスを待つべき時。焦らずに余裕のある姿勢が必要。 飲食の機会に運気が変わる。住居、旅行では災難に注意。
願 望	機が熟すのを待ってから進むと吉。積極性は抑えて受身で勝負すべし。しばらく待てば叶う。 待望は先に延ばす方が良い。
恋愛・関係	なかなか仲が深まることはない上に、焦って無理押しするとトラブルのもと。先方に悪策がある場合もある。 注意しながら時を待つべし。飲食を機に親和したり問題が生じたりすることあり
結 婚	周囲の理解や協力が得られないため進展せず。心を落ち着けてチャンスを待てば自然に整う。 すぐに結婚をすると当分は安定しない。先行きには希望が持てる。
性 格	内に勇気を秘めた大望あり。辛抱強くチャンスを待つ人。しっかり型。将来の成長株。
事業・方策	進むと不利。静観しながら力を蓄え、時を待つののが得策。
住 居	新築・増改築・移転、すべて見合わせるべし。時期はまだ先。
相 場	上昇の兆しはあるが、まだその時ではない。待てば高騰する勢いが見られる。
旅 行	強行すると思わぬトラブルあり。延期するのが良い。旅先では悪天候に見舞われるか、食中毒の恐れ。
病 気	頭痛、消化不良、中耳炎、肺の疾患、胃腸の疾患、怪我など。 軽症と思って油断していると重症となり、性急に治療すると体にダメージが残る。慎重な判断が必要。

6. 天水訟(てんすいしょう) 争いの愚かさと対処法

キーワード：訴訟・論訟・訴え・争う・食い違い・裏切り・和解すべき時・紛争・不一致・対立・ストレス・論争・口論・分裂抗争

天は上に昇り、水は下に流れ、それぞれ行動の方向が異なるため背き争う(天水違行)。天から雨が降っている象であり、異常な事態ではない。取り立てて争いや対立を深める方が不自然なことである。序卦伝によると、訟とは「訟(うったえる・あらそう)」であり、飲食にはあらそいがつきまとうので、需の次に置かれる。

互卦	裏卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								
37: 風火家人	36: 地火明夷	05: 水天需	10: 天沢履	12: 天地否	44: 天風姤	59: 風水渙	64: 火水未済	47: 沢水困

卦 辞	訟は孚(まこと)ありて塞がる。惕(おそ)れて中すれば吉。終われば凶。大人を見るに利ろし。大川を涉るに利ろしからず。	正しくてもお互いが正しいと思っているので閉塞状態に陥る。畏れ謹んで中道に適った行動をすると吉。最後まで争うのは凶。人格者の助けを求めるのがよく、大ごとにしてもいいことがない。
初 六	事とするところを永くせず。小(すこ)しく言(ものい)うことあれども、終(つい)に吉なり。	多少の口論や争論が起こっても、こじれさせずに早急に折れれば結果的には吉。
九 二	訟に克(か)たず。帰りて逋(のが)る。 その邑人(ゆうじん)三百戸、眚(わざわい)なし。	訴訟に勝て図に退き下がって逃れる。 ふるさとの村民三百戸には災いは及ばない。
六 三	旧徳に食(は)む。貞(てい)なれば厲(あやう)けれども終(つい)には吉。或いは王事に従うとも成すことなかれ。	古くからの徳に基づいて事を行う。正しさを守れば危ういこともあるが、最後には吉となる。たとえ王の仕事に従事しても、あえて大きな成果を成し遂げず控えるべきである。
九 四	訟に克(か)たず。復(かえ)つて命に即(つ)き、渝(かえ)りて、貞に安んずれば、吉なり。	争いに勝つことはできない。引き返して天命に従い、心を改めて正しい道に安んじれば、吉となる。
九 五	訟(うった)え元吉(げんきつ)なり。	争いは、正しい立場にあり、中正を守って行うなら大吉。しかし中正を失えば、結局は凶となる。公正で徳のある人物(大人)に判断を仰げば吉。危険な大きな行動は避けたほうがよい。
上 九	或いはこれに鞶帶(はんたい)を錫(たま)う。終朝(しゅうちょう)に三たびこれを褫(うば)わん。	勝って名誉や地位(鞶帶)を得ることがあっても、それは長続きせず、その日のうちに何度も奪われるような不安定な立場である。

運 勢	口論や争いごとが多く、人間関係の円滑さを欠きやすい時。特に目上との争いに注意。負けるが勝ち。謙虚にして控えめが吉。
願 望	手違い多く叶い難い。目標が状況と一致せず、変更の必要あり。
恋愛・関係	意見の食い違いや考え方のずれにより関係悪い。 争いごとが原因となり離別の恐れあり。こちらから相手に歩み寄ることが大切。
結 婚	とにかく争いごとが多い。絶えず別居、離縁の恐れあり。縁談は断る方が良い。 不和の末に裁判問題などが起きる傾向。
性 格	人に逆らい、周囲と合わせづらい。理屈っぽい性格。敵の多い人。
事業・方策	社会的な問題が起きやすい。 企業は内部の親睦を深めると吉。個人は目上の命令に従うべし。
住 居	賃借に関係する争いごとが起きやすい。 移転を考える時、新築、増築、改築は不可。
相 場	材料と価格が一致していない。 高い場合は下降し、低い場合は上昇する。不安定な時。
旅 行	無理に実施すると手違いが生じる。 何か支障あれば中止するのが良い。正確な手続きを心掛ける。
病 気	頭痛、ノイローゼ、下痢、不眠。 治りづらい。医師の誤診や薬の不適合に注意。

7. 地水師(ちすいし) いかに戦うか

キーワード：戦い・非常事態・組織的規律・軍団・集団・軍・軍隊・グループ・リーダー・リーダーシップ・司令官・指導者

師は師団の意。軍隊、戦争を表す。下の卦にある陽爻が大衆に押され、統率する将となって戦いに赴く象。地の下に水があり地の上に水がない。水飢饉によって地中に隠された大切な水を他国が奪いにくる。それに対してもいかに対応するか。序卦伝によると、あらそいがあると大衆が立ち上がるので、訟の次に置かれる。

互卦	裏卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
24: 地雷復	13: 天火同人	08: 水地比	19: 地沢臨	02: 坤為地	46: 地風升	40: 雷水解	29: 坎為水	04: 山水蒙

卦 辞	師は貞。丈人(じょうじん)なれば、吉にして、咎なし。	大きな組織や集団を動かすには正義を軸とし、経験豊かで公平なリーダーを置けば吉である。
初 六	師(いくさ)出づるに律を以てす。 否(しか)らざれば臧(よ)きも凶(きょう)なり。	軍は、出発にあたり法令・規律をもって行うが、閉塞の状況であれば良いことをしても凶(悪い結果)となる。
九 二	師中(しちゅう)にあり。吉にして咎なし。 王三たび命を錫(たま)う。	軍の中核にあって中庸を守っている。吉であり過ちがない。王から三度にわたって命を賜うほど信頼と栄誉を得る。
六 三	師(いくさ)或いは戸(かばね)を輿(にな)う。凶なり。	戦は時に屍を乗せて運ぶような事態にもなる。 これは凶(不吉)である。
六 四	師(いくさ)左りに次(やど)る。咎なし。	軍隊は、左にいったん退却して宿営する。 そうしても過ち(問題)はない。
六 五	田(かり)して禽(えもの)あり。執言(しつげん)に利あり。咎なし。長子師(いくさ)を帥(ひき)ゆ。弟子(ていし)戸(かばね)を輿(にな)う。貞なるも凶。	狩をして獲物があるように、努力や準備が報われる。言葉を堅く守ることに利益があり、咎められることはない。長男が軍隊を率いるが、部下である弟は死者を運ぶことになる。正しい行為であっても、結果は凶(悪いもの)である。
上 六	大君(たいくん)命あり。國を開き家を承(う)く。 小人は用うるなかれ。	偉大な君主からの命令で功労者には國家を開かせ、家を継承させる。 卑しい小人は人物を排除し、正しい者を重用するべきである。

運 勢	力量ある人は周りを率いて事を起こす。常人は困難多く、思わぬ災害に注意すべき時。 争いごとが発展して非常事態になる恐れあり。多勢を相手に一人で立ち向かわなければいけないことも。
願 望	心配事が多く、願望は叶わない。分相応であれば兆しあり。 計画を慎重に練って、円滑な人間関係に気を遣うこと。
恋愛・関係	人目を忍んで隠れて進めるような恋愛。 多角関係から争いごとが起き、大きなトラブルとなりかねない。周囲との親和を重んじる方が良い。
結 婚	相手が浮気性のため、断ると無事な縁。正式な婚姻関係は結ばず、同棲や内縁といった関係となる傾向。 争いごとが起きやすく、関係を保つのは困難である
性 格	闘争心が強い。内には才能を秘め、外には出さず。 人の上に立てる人物。軍人、警察官になると良い。
事 業・方 策	非常事態が起きやすく、綿密な打開策を練る必要あり。 やり手の部下を抜擢すると吉。
住 居	現在の住居では平安得られない。 しかし、新築、増改築も困難を伴う。時期を待つべし。
相 場	波乱含みの様相で下落の気配があるが、研究不足は大きな損害を被る。 急騰したり急落したりすることも。
旅 行	団体旅行をする際には、引率者の力量に注意。 リーダーシップが弱いと凶。
病 気	中耳炎、腹痛、結石、腎臓病、月経不順など。 激痛を伴うことが多く、迅速な治療が必要。長期の病気は急変に注意。

8. 水地比(すいちひ) 人との親しみ方を学ぶ

キーワード：親和、親睦、平安、比隣、比肩、比翼、親しみ助け合う

水が地上にあって、水と地が良く親しんでいる。大地は水によって潤い、育成、慈愛を發揮する。地は水を得て柔らかくなり、水は地の存在によって流れ、お互いが助け合っている。序卦伝には大衆すなわち人と人は親しむので、師の次に置かれるという。吉運はなるべく早めにつかむようにすること。早ければ十四日以内に事を終える方が良い。

互卦	裏卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								

卦 辞	比は吉。原筮(げんぜい)するに元永貞にして、咎なし。寧からざるものまさに来る。後夫(こうふ)は凶。	初めに慎重に占って、正しい道を守り続けるならば問題はない。不安定なものがこれからやってくる。後に鬨わる者は凶である。
初 六	孚ありてこれに比す。咎なし。孚ありて缶(ほとぎ)に盈(み)つれば、終(つい)に来りて他の吉あり。	誠実さがあつて親しく結びつけば、問題はない。 誠実さで満たされば、最終的に他に良いことがやってくる。
六 二	これに比(ひ)すること内よりす。貞(てい)にして吉なり。	身近な者から親睦を深めると良い。 それこそが正道であり吉を招く
六 三	これに比(ひ)する、人にあらず。	親しむべき相手ではない。人として不適である。
六 四	外(ほか)これに比(ひ)す、貞吉(ていきち)。	内面(身近な者)との結びつきだけでなく、外部の人との良好な関係もまた、誠実さがあれば吉をもたらす。
九 五	比を顕(あき)らかにす。王用(も)って三駆(さんぐ)して前禽(ぜんきん)を失す。邑人(ゆうじん)誠(いまし)めず。吉	王の狩りのは三方向のみ囲み、来るもの拒まず、去る者追わず。 王の領地の村人も警戒することはない。吉である。
上 六	これに比(ひ)する、首(しゅ)たることなし、凶。	結びつこうとするが、リーダーにふさわしいものがおらず よくない結果となる。

運 勢	周りの人と親睦を深めることで吉運を招く。 ただし、世話苦労が多いため本業がおろそかになりがち。争者が多い場合は、迅速に事を運ぶこと
願 望	親交を厚く広くしていれば、紹介などによって願望叶う。 遅れた場合には成就せず。
恋愛・関係	速やかに親睦を深めると良い。お互いに吉。 しかし、他人も同じ行動をとることでライバルが増える恐れもある。
結 婚	縁談に恵まれているがゆえに選択に迷うが、なるべく早く決めるべし。 ただし相手男性に異性関係が多いなど、世話苦労が絶えないことがあります。
性 格	人当たりが柔らかく、他人から信用されて好かれる人。 異性関係が多いこともある。
事業・方策	拡大・強化に踏み切るには運気が足りていない。 敵と思う者を味方に取り込むなどして、内部の親しみを一層厚くすると良い。
住 居	特に問題はないが、陽当たりに恵まれない。移転などにも支障なし。
相 場	低位置で安定しているものの、優良株であれば長期的方針で継続保持すると良い。 他に関連する株があれば連動する可能性あり。
旅 行	一人旅は良くないが、団体旅行など複数人数であれば吉。 ただし水辺には注意。
病 気	眼病、胃痛、食あたり、腹膜炎、胸部の痛み、慢性疲労など。 治療困難で長引く恐れあり。

9. 風天小畜(ふうてんしょうちく) チャンスを待つ

キーワード：少し止まる、少し蓄える、前進できない、ちょっととした修練、学術、チャンスを待つ、好き嫌い、欲求不満、憂鬱、小さな忍耐、雲あれど雨降らず、準備段階、制御と自制、時機未到、内なる力の充実、文徳を磨く

天の上に風が吹いている象。五陽（男性）が進もうとするのを一陰（女性）が止めていて、力が弱いので少ししか止められない。その少しの間に物が蓄えられる。畜は「蓄」の古字で「あつめる」「とどめる」の意味であり、序卦伝には人と人が親しむとあつまるので、比の次に置かれるという。ちょっとした故障を指すことが多い。

互卦	裏卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变

38: 火沢睽 16: 雷地豫 10: 天澤履 57: 巽為風 37: 風火家人 61: 風澤中孚 01: 乾為天 26: 山天大畜 05: 水天需

卦 辞	小畜は亨る。蜜雲(みつうん)して雨ふらず、わが西郊(せいこう)よりす。	少しの望みは通る。雲が濃く湧いているが雨は降らない。西の郊外から降り出しだろう。
初 九	復(かえ)ること道よりす。何ぞそれ咎あらん、吉なり。	自分本来の正しい道に戻る。そこに何の悪いことがあるだろうか、吉である
九 二	牽(ひ)きて復(かえ)る。吉なり。	人に手を引かれて、本来の正しい道に帰るのが良い。
九 三	輿輶(くるまふく)を説く。夫妻目を反(そば)む。	車輪が外れるように、関係性が破綻する。夫婦や仲間内で争いあり。
六 四	孚あり。血(いたみ)去り惕(おそれ)出(い)ず。咎なし。	誠実さがあり、痛みや災いが去り、慎重な態度が現れる。過ちはない。
九 五	孚あり讐如(れんじよ)たり。富その鄰(となり)と以(とも)にす。	誠実であり、しっかりと結びついている。豊かさは、隣人との良好な関係によってもたらされる。
上 九	既に雨ぶり既に処(お)る。徳を尚(たつと)んで載(み)つ。婦貞なれど厲(あやう)し。月望に幾(ちか)し。君子征(ゆ)けば凶。	雨も降り終えた。徳を尊ぶべし。女性は節操を守るが、状況が厳しい。今は満月に近いが動けば危機に陥る。

運 勢	思うように前に進めない時で、小さな障害に注意。足踏み状態。不満がたまるものの、一步一步進むことが大切。
願 望	少し支障があるが最終的には叶う。明確な進捗が得られないことが多い。当分は焦らずに待つことが重要。
恋愛・関係	時期尚早。意思疎通に障害あるため、思い通りに行かない。少し支障があるが待てばチャンスあり。
結 婚	縁談をまとめようとしても、なかなかまとまらない。お互いに合意があれば、少し待ったあとに成就する。
性 格	内面は剛健で外見は柔軟。人の好き嫌いがあるために、周りと親和しにくい性格。
事業・方策	小規模の事業や改善などには良い。大きな事は成就しないため控えるべし。
住 居	移転には良いが、長く住む場合には不備あり。
相 場	上がり目はあるものの、ちょっとした支障で一服する様相。少し待てば上がる。
旅 行	ちょっとしたトラブルに注意すること。予定していたものが遅れたり、中止になったりすることがある。
病 気	気鬱、頭痛、ヒステリー、不食、肺結核、咳など。急変の心配はないが、治療は少し長引く。

10. 天沢履(てんたくり) 人が常に履むべき道

キーワード：礼儀、控えめ、柔順、実力ある者に従う、目上からの寵愛、虎の尾を踏む、弱者は強者の後ろ、扱いにくい野生の人々、慎重に歩く、注意深い前進、慎重な前進、注意を払って進む、弱者が強者に立ち向かう

剛健の乾のあとについて行けば危機を免れ、喜ばせる兎の態度があれば可愛がられる。天沢履は目上から引き立てがあつてかばわれる卦なので、下の者は礼儀を守つてついて行けば支障ありません。序卦伝では履は「礼」であるとし、物があつまると礼ができるため、小畜の次に置かれる。

互卦	裏卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								
37: 風火家人	15: 地山謙	09: 風天小畜	06: 天水訟	25: 天雷无妄	01: 乾為天	61: 風澤中孚	38: 火澤睽	58: 兑為沢

卦 辞	虎の尾を履(ふ)む、人を咥(くら)わす。亨(とお)る。	虎の尾を踏んでも噛まれることはない。望みは通る。
初 九	素履(そり)す。往くも咎(とが)なし。	素足で歩むように飾らず正直に歩みを進める。進んでも過ちはない。
九 二	道を履むこと坦々たり。幽人貞にして吉なり。	平坦で順調な道のりがあり、隠者のように謙虚で正しい行動を続ければ良い結果が得られる。
六 三	眇(すがめ)にして視(み)、跛(あしなえ)にして履(ふ)む。虎の尾を履(ふ)む。人を咥(くら)う。凶。武人大君(たいくん)となる。	目が不自由なのに見えると言い、足が不自由なのに歩けると言うような身の程知らずは、虎の尾を踏んで喰らわれてしまう。凶である。武勇一過の武人が大君となるのはそのように危険なことである。
九 四	虎の尾を履む。憩々たれば終には吉なり。	虎の尾を踏むが、慎重に行動して最後には吉となる。
九 五	夬(さだ)めて履(ふ)む。貞(てい)なれども厲(あやう)し。	決断して行動することは、正しくあっても危険を伴う。
上 九	履むを視(み)て祥(しょう)を考う。それ旋(めぐ)るときは元吉(げんきつ)なり。	自分の行いを省み、善惡正邪を反省する。正しいことはそれを守り、間違いを改善すれば大いに吉である。

運 勢	何をするときも謙虚な態度を取るべき時。特に目上の人物には柔順に従うべし。 思わぬ危険やハプニングが発生しやすい時だが、実際の被害は小さい。
願 望	自信過剰で推し進めると叶わず。 目上の人物の指導やアドバイスに従えば叶う。
恋愛・関係	玉の輿に乗るような縁談。少し不釣り合いかが幸せはある。 初めての縁組は成立しにくいが、再縁であれば調う。色情問題に注意すること。
結 婚	進展しにくい。結婚してもしばらく困難あり。辛抱の後に成立する。 関係が始まつたばかりで未熟だが、誠実に進めば育まれる。
性 格	柔和で礼儀正しく、ものの言い方が爽やかな性格。人に可愛がられる才能あり。
事業・方策	分相応は範囲で前進すること。大望や冒険心に基づいた行動は大損となる。
住 居	新築は不可。増改築は小さな規模なら良い。工事は実力のある業者に任せらべし。
相 場	入念な準備と計画が必要。 旅行の実力者のあとについて行く方が良い。一人旅行は旅先でハプニングに見舞われる可能性がある。
旅 行	旅行先でトラブルが起きやすい。可能なら機を改める方が良い。
病 気	精神病、口内の疾患、胸部疾患、心臓病、咽喉、胃腸の疾患、性病など。 急激に症状が現れることが多く、急変にも注意。最善の治療法を期するべし。

11. 地天泰(ちてんたい) 今こそ進むとき

キーワード：安泰、安定、現状維持、和合、親和、調和、内剛健・外柔順、男女の睦まじい仲、協調、怠慢、油断。

履むことで安定を得るため履の次に置かれる。乾(天)の気が下から上昇し、坤(地)の気が上から下降していくことで、天地の気が交わる。内は剛、外は柔で和合して安泰となる。人間関係で言うなら、君臣上下の意志が通じ合い、君臣一体、上下一体の円滑な状態で、国家安泰な時を示す。

互卦	裏卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变

54:雷沢帰妹 12:天地否 12:天地否 46:地風升 36:地火明夷 19:地澤臨 34:雷天大壯 05:水天需 26:山天大畜

卦 辞	小往き大來たる。吉にして亨る。	下にいるべき小(地)が上に、上にあるべき大(天)が下にきたことで二氣が交わり調和する。何事も吉あり通る
初 九	茅(ちがや)を抜くに茹(じよ)たり、その暈(たぐい)と以(とも)にす。往くも吉なり。	根が繋がった草を抜けば、あたりの草が全て抜けるように志を同じくする仲間と行動をともにすれば吉である。
九 二	荒(こう)を包(か)ね、馮河(ひょうが)を用い、遯(とお)きを遺(わす)れず、朋亡(ほろ)ぶなれば。中行(ちゆうこう)に向(かな)うを得ん。	荒民をも包容し、危険を冒して川を渡るような非常な手段を用いる。遠くまで見落とさずに注意しても仲間が滅びる時もある。それでも中道を守り、吉を得るだろう
九 三	平(たいら)かにして陂(かたむ)かすということではなく、往きて復らずということなし。艱貞(かんてい)なれば咎なし。恤(うれ)うるなかれ、それ孚なり。食に于(おい)て福(さいわ)いあり。	ずっと平らなままで傾かないものではなく、行ったまま帰って来ないものもない。困難のなかにあっても正道を守つていれば咎めはない。心配せども、それが真実である。暮らしが安定し幸運がある。
六 四	翩々(へんへん)として富まず、その鄰(となり)と以(とも)にす。戒めずして以て孚あり。	軽やかに身を出し、富を独占せず、隣人と分かち合う。相手を戒めたりせずとも、誠意が通じ合っている。
六 五	帝乙(ていいつ)妹(いもと)を帰(とつ)がしむ。祉(さいわ)いを以てす元吉(げんきつ)。	天子が末娘を嫁がせる。幸いであり、大吉である。結びつきや婚姻によって、幸福がもたらされる。
上 六	城隍(ほり)に復(かえ)る。師(いくさ)を用うるなけれ。邑(ゆう)より命(めい)を告ぐ。貞(てい)なれども吝(りん)。	城は崩れて堀に還る。武力を使って挽回しようとしてはいけない。何も命令しない君主を見かねて、領地の村が逆に命令をしてくるようになる。これは正道を守る行為とはいえない、君主としては恥ずかしいことである。

運 勢	何事も安泰な時だが、油断や怠慢は禁物。 現状維持に努めることを怠ると、運気が衰えることも。過信して野心のままに猛進すると挫折に繋がるため注意
願 望	周囲と協力して正攻法で取り組めば叶う。身の丈に合わない願望は失敗のもと。
恋愛・関係	お互いの愛情が交じり合い、仲睦まじく安泰。心身ともに釣り合った関係。 時が経つと倦怠感が起きやすくなるため注意すること。親しき仲にも礼儀あり
結 婚	相性が良く、夫婦となつても関係安泰。 平凡ではあるが、大きな支障なく一家繁栄する様相。ただし、倦怠期の発生には気を付けるべし。
性 格	落ち着いていて動じない性格。心身共に健全。常識的で生活も安定している。 周囲とよく馴染み、良好な関係に恵まれる。あるいは没個性的。保守的で安全主義。
事業・方策	可も不可もない。安泰ではあるが活気があるわけでもない。 ただし、冒険的な取り組みは慎むこと。現状維持が吉。
住 居	当面の不満はないが、長くは続かない。新築や増改築はしない方が良い。
相 場	安定した状態が続いているればのちに上昇する見込みあり。 高値で留まっていた場合はこれから下落する兆し。油断は禁物。
旅 行	平凡ではあるが何事もなく楽しい旅。吉。
病 気	肺の疾患、胃腸の疾患、腹部の張り、身体の倦怠。 病気の初期段階であることが多い。外見では気付きづらく、内部に病気の原因がある可能性あり。

12. 天地否(てんちひ) 今こそ進むとき

キーワード：否塞、乱世、不和、失敗、落ちぶれ、仲間割れ、停滞、相互不信、行き詰まり、不調和、閉塞、分離。

乾の気が上昇し、坤の気は下降していき、天地の気が交わらない。外見は剛健ですが、内心は弱く、処世の道は否塞している。無理をしても苦労があるばかりで、何事もうまくいかない。序卦伝には物は通じるばかりでなく塞がるので泰の次に置かれる。

互卦	裏卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
53: 風山漸	11: 地天泰	11: 地天泰	25: 天雷无妄	06: 天水訟	33: 天山遯	20: 風地觀	35: 火地晉	45: 沢地萃

卦 辞	否の人にあらざる、君子の貞に利あらず。大往き小來たる。	周囲に真に信頼できる人や協力者がいないため、物事が閉ざされて進まない。 君子が正道を守っても、何も利は得られない。 重要なものが去っていき、わずかなものだけが戻る。
初 六	茅(ちがや)を抜くに茹(じよ)たり、その翫(たぐい)と以(とも)にす。貞なるときは吉にして亨る。	茅を抜こうとすると根が繋がっており、その同類である陰三爻すべて一緒に抜ける。まだそれほど悪くなっていないため、心を入れ替えて正道を守れば吉となり望み叶う。
六 二	包承(ほうしょう)す。小人は吉。 大人(たいじん)は否にして亨る。	小さな者の現状維持や受け入れには吉だが、君子の理想的な振る舞いには適さない。
六 三	包羞(ほうしゆう)す。	恥すべき事態を招く。外部には恥をさらさず、内心にとどめ、苦しいことや失敗を受け入れて、周囲の批判や不名誉を包み込む。
九 四	命ありて咎なし。 疇(たぐい)祉(さいわい)に離(つ)く。	定められた運命があり、それに従えば過ちはない。 状況の変化や別離は必ずしも悪いことではなく、新たな良い展開をもたらす可能性がある。
九 五	否を止む。大人吉なり。それ亡(ほろ)びなんそれ亡(ほろ)びなんといいて、苞桑(ほうそう)に繫(かか)れり。	否(閉塞)が休止する。君子(大人)にとっては吉である。 「これはもう滅びる、滅びる」と人々は言うが、実際にはまだ桑の若芽のように繋がる希望がある。
上 九	否を傾く。先には否(ふさが)り後には喜ぶ。	否塞が傾き覆される。初めは運が塞がっていても、最後には喜びがある。

運 勢	運気が衰退し、塞がっている。何をしても形にならない。現状維持に注力しつつ、チャンスをじっと待つ姿勢が大切。初めのうちは苦しいが、耐えきれば上昇の兆しが見える。
願 望	望みへの道が塞がっており、叶わない。心を改めれば後に適う。 願望を叶えることより、現状を守ることを優先すべし。
恋愛・関係	現在相手がいる場合は離別の兆しあり。対話が不足しているため相互理解が不足しており、愛情が生まれない。 相手がいない場合は当分は異性に恵まれないが、将来的に希望あり。
結 婚	縁談が得られない。縁談があつてもあと一歩でまとまらない。 結婚している場合は、あらゆることに恵まれないため、家庭内の平和は得られず。
性 格	内心は気が小さくて臆病、短気などころあり。無口で人と交際するのが下手。 気がふさぎがちで、楽しみが少ない人。
事業・方策	出費の割に収入が少ない。この時期の努力は実りづらい。 環境や成り行きが変わる時を待つのが良い。
住 居	陽当たりが悪く、衛生状態も良くない。 運気の発展が見込めない家。新築や増改築するなら延期すべし。
相 場	動きがない時。 現在が高値であれば下落し、低ければ将来的に上昇する兆し。
旅 行	可能であればキャンセルする方が良い。 旅行先で大きなトラブルに見舞われやすい時。
病 気	脳の疾患、憂鬱、咽喉閉塞、喉頭がん、声帯の疾患、肺結核、血行不順、血塊、過労など。 精神的な安定が得られず、気力が上向かない。病勢は次第に悪化していく。

13. 天火同人(てんかどうじん) 人と志を同じくする

キーワード：同じ志、協力一致、公共、コミュニティ、グループ、交際、志を同じくする人々、仲間意識、サークル活動、団体行動

内卦の離の火の気が上昇していき、外卦の乾の天と和同し、天空と太陽がその志を一つにして外界を照らしている象。単独で行うより、誰かと協力して行う方が良く、協同一致の意味となる卦。序卦伝には物は塞がるばかりではないので否の次に置かれる。

互卦	裏卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变

卦 辞	人に同じうにするに野(や)に于(おい)てす。亨る。大川を涉(わた)るに利あり。君子の貞に利あり。	仲間が公の場で一致団結すれば物事がうまくいく。大きな川を渡っても良い。君子が正しい道を守ることに利益あり。
初 九	人に同じうするに門に于(おい)てす。咎なし。	門(身近なところ)で同じ志を持つ者と結びつく。過ちがなく良い。
六 二	人に同じうするに宗(そう)に于(おい)てす。吝(りん)なり。	同じ志を持つ者が宗族に集まるが、不都合がある。(身近すぎる集団では軋轢や不都合が起きやすい)
九 三	戎(つわもの)を莽(もう)に伏し、その高陵(こうりょう)に升(のぼ)る。三歳まで興(おこ)さず。	軍隊を草むらの中に置き、高い丘に登って形勢を見る。しかし三年経っても兵を起こさない。(慎重さ、敵の強さ)
九 四	その墉(よう)に乗る。攻むる克(あた)わず。吉なり。	敵の城壁に登ったものの、決定的な攻撃ができずにいる。完全に攻めきれないことがかえって良い結果になる。
九 五	人に同じうするに先には号(さけ)び咷(よば)いて後には笑(わら)う。大師(だいし)克(か)ちて相い遇(あ)う。	人と調和するにあたり、最初は悲しみや嘆きがあるが、やがて喜びの笑いが訪れる。強い指導者が困難を克服して良い出会いを果たす。
上 九	人に同じうするに郊(こう)に于(おい)てす。悔(くや)いなし。	同じ志をもつ人々が郊外(田舎や郊外の開けた場所)に集う。後悔しない。

運 勢	私的なことより公的なことを優先すると良い。社会情勢や時流に適応すると吉を得る。 協力者が多いゆえに、良く思われないことあり。人間関係でのトラブルには注意。女性問題も起きやすい時。
願 望	同志と協力すれば大願成就。 ただし、勢いに乗りすぎた時には上手く抑制すること。私利私欲は禁物。
恋愛・関係	地位や力量のある人と結ばれるが、ライバルが多く、争いごとが発生しやすい時。 趣味、好み、考え方が一致して親密度が高い。
結 婚	玉の輿の運気あり。同業者など同類を相手にするのが最も良い。他の場合でも吉。 周囲からも広く祝福され、誰からも羨まれるような縁。婚後は仕事を優先して家庭を省みない可能性も。
性 格	誰にも分け隔てなく接し、交際が上手い。内に才知あり、学識教養のある人。 異性運が豊かであるため、浮気がち。公平さ・公正さがない人物であれば、腹黒く邪悪な性格。
事業・方策	同業・同類と繋がりを作って事業を進める吉。大いに発展するが、勢いに任せて進みすぎないこと。
住 居	陽当たり良好、多くの人が集まるような良い家。 新築や増改築は目上の意見を参考にすべし。
相 場	好材料が多く上昇していく勢い。 ただし、社会情勢や天変地異に大きく左右されるため油断しないこと。
旅 行	団体旅行など複数人数なら吉。一人旅は避けるべし。 単独行動はトラブルを招く。
病 気	脳病、精神病、眼病、胸部の苦しみ、肺病、腰部の疾患、不眠症、大熱、流行性のもの、伝染性のもの。 重病は凶の兆し。

14. 火天大有(かてんたいゆう) 知を以て大いに所有する

キーワード：大きなものを保有する、大いに保有する、大望、名声、豊かさ、富、盛大、豊富

離の火が、乾の天より上にある卦。太陽が天高く万物を照らしている様子を表す。火も天も手に掴むことはできないもの。空想的な理想論を示すこともあり、実在に適さない大きな事も多いため注意が必要。離の文明と乾の剛健さをあわせもつ徳を用いて、しっかりと内容を固めることが重要。人と協同すれば物はそこに帰属するので同人の次に置かれる。

互卦	裏卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
43: 沢天夬	08: 水地比	13 天火同人	50: 火風鼎	30: 離為火	38: 火澤睽	26: 山天大畜	01: 乾為天	34: 雷天大壯

卦 辞	大有は、元(おお)いに亨る。	物質的にも精神的にも豊かで、(その豊かさが正しく用いられて)物事が順調に進む
初 九	害に交(わた)ることなし。咎あるにあらず。艱(なや)むときは咎なし。	害をもたらす交流をしない。これは過ちではない。困難があっても正しい姿勢を保てば咎められることはない。
九 二	大車(だいしゃ)以て載(の)す。往くところあり、咎なし。	大きな車に荷を載せるように、充実した力量がある。車が頑丈であるためどこへ行ってもつぶれる心配はなく、咎めはない。
九 三	公用(もつ)て天子に亨(きょう)す。小人は克(あた)わず。	公明な者はその立場を正しく使い、君主・志を通させられるが、私欲に走る者は、それを成し遂げることはできない。
九 四	その彭(さかん)なるにあらず。咎なし。	自分の(実力以上の)大きさを誇らない。そうすれば咎はない。
六 五	その孚(まこと)あつて交如(こうじょ)たり。威如(いじょ)たるとときは、吉なり。	誠意をもって人々と交わり、威厳を備えていれば、吉である。(誠意だけでは流されるし、威厳だけでも孤立する。両方を備えることで豊かさが安定する。)
上 九	天よりこれを祐(たす)く。吉にして利あらざるなし。	上九は人為の及ばない領域で、人が徳を極めて天意と一致したときに、天の助けによってすべてが順調に運ぶ。

運 勢	運気上昇につき恵まれている時。 力量ある人には吉だが、常人には荷が重いことも。背伸びをせずにしっかりと中身を充実させること。
願 望	達成の時期は早い。 内容が大きすぎるところがある。多くを望みすぎずに、時流に従うべし。
恋愛・関係	異性との交際に恵まれるが、多角関係になりがち。トラブルが起きやすい。節度を守って付き合うか、徹底して秘密裏に交際すること。相手は自分が欲しいと思うものを持ち合わせている人物。
結 婚	互いに知恵あれば大いに恵まれるが、そうでなければ荷が重い。女女性は目下、男性は目上の相手を選ぶと良い。女性優位の家庭。女性は家庭外に生きがいを感じる傾向にあるため、それが原因で家庭内不和を招く恐れあり。
性 格	内には剛健、外には才知あり、大まかで豪快な性格。 大望を空想する傾向がある。名声・名誉・社会的地位を持つ人物が多い。
事業・方策	幸運に恵まれており順風満帆。現在の流れを維持する努力が必要。力の及ばないことからは早めに手を引き、分相応の分野に改める方が良い。これ以上の拡大・拡張は控えると無事。
住 居	陽当たりがよく、安らぎを感じられる家。 新築の場合は予算超過に注意。移転は控えるべし。
相 場	取引活発で、騰勢の時。 ただし、大きな変動がある恐れがあるため、機を見て売り逃げる方が良い。
旅 行	豪勢になりがち。 緊縮・節約の姿勢を忘れないこと。
病 気	大熱を伴う病気、ノイローゼ、体力消耗、肺病、腹部の膨脹など。 他の病気と併発する恐れあり。薬が効きづらく持病化することも。病勢は激しくなるため気を付けること。

15. 地山謙(ちざんけん)



つつましく生きる

キーワード：謙虚、謙遜、へりくだる、謙譲、謙遜の態度、謙虚な態度、謙遜の心、控え目、謙る

本来ならば地を見下ろして高さを誇っている艮(山)が坤(地)より下にある。驕らず、無理に卑下もせず謙虚な美德によって多くの人から信用を集めます。序卦伝には、大いに有する者は満ちて奢るようではいけない。ゆえにこれを受けるに謙をもつて表す。

互卦	裏卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
40: 雷水解	10: 天沢履	16: 雷地豫	36: 地火明夷	46: 地風升	02: 坤為地	62: 雷山小過	39: 水山蹇	52: 艮為山

卦 辞	謙は亨(とお)る。君子は終わりあり。	謙虚であれば、万事順調に通じる。謙遜の道を成し遂げられる者はその終わりを全うできる。
初 六	謙々たる君子。 用(もつ)て大川(たいせん)を渉(わた)る、吉なり。	謙遜に謙遜を重ねる君子のあれば 大川も渡る危険を冒しても乗り切れるため吉。
六 二	鳴謙(めいけん)す。貞にして吉なり。	(陰爻陰位で中に徳があるため)謙遜さによる名声は自然とどろく。 正道を守っていて吉である。
九 三	労謙(ろうけん)たる君子。終わりあり吉。	努力して謙虚さを保つ。 君子は最後まで謙虚さと正しさを貫けば、吉となる。
六 四	利あらざるなし、謙を撫(ふる)え。	何事も不利なく順調である。謙虚さを慎み深く用いよ。
六 五	富まず、その鄰(となり)と以(とも)にす。 用て侵伐(しんばつ)するに利あり、利あらざるなし。	自分の富を誇らず、隣人と分かち合う。必要な時には強硬な措置を起こしても有益であり、すべて順調である。
上 六	鳴謙(めいけん)す。用て師(いくさ)を行(や)り、 邑国(ゆうこく)を征するに利あり。	謙虚さを自然に示すことで、人々の信頼を得る。 必要に応じて軍や組織を動かし、地域や国を正しく治めることは吉。

運 勢	苦労が多いが耐え忍ぶことで信用が倍増する時。私利私欲を抑えて他人から信用されるような働きをすることで、次第に運気も上昇していく。地道な姿勢でチャンスを待つと良い。普段から恵まれている人にとっては停滞。
願 望	何事にも慎ましく控えめにすれば叶う。 辛抱することで最終的に利を得る。人を凌ぐことは不可。
恋愛・関係	目立った進展はない。 これまで不仲だった関係であればわだかまりは解ける。男性にとっては女難の恐れ。
結 婚	意思表示が伝わりづらく、進展が遅い。急いで縁談はまとまらない。着実に進めること。 婚後当分は我慢が必要な生活となるが、先は明るい。初縁の人は少し不満・不足に思うことあり。
性 格	内は篤実、外は柔軟であり、謙虚な性格。積極性には乏しく、社交下手。 縁の下の力持ちのような人で、外に向かうよりは内を守る方が適している。先に苦労するが、後々伸びる。t
事業・方策	苦労があつても堅実なものを選ぶべし。 新規事業には向かない時。人のために尽くす姿勢を忘れないこと。
住 居	現状を受け入れて耐え忍ぶこと。移転はトラブルのもと。
相 場	これまで高値にあったものは下降し安定することが多い。 逆にしばらく動いていないものはやがて上昇する兆しあり。
旅 行	近場であれば無事。遠方の旅行や豪勢な旅行は不可。
病 気	胃腸の腫瘍、中毒、泌尿器科系、腰痛、下痢、経水不順、鬱など。 急変はしないが、症状が停滞し持病となる。重病の場合は凶。

16. 雷地豫(らいちよ)



積極的に進む

キーワード: 悅楽、娯楽、喜び、楽しみ、調和、熱意、安息、満足感、自信、怠り、自己欺瞞、不節制、予め備える、予備

地の下の雷が地上に出て、志を遂げることを表す。春陽の気が地上に出て悦び楽しむように、思い通りで楽しくなる卦。同時に不用意になりがちで最後に痛い目を見てしまうこともあります。すべき事を怠らないように注意。大いに有し、謙遜する者は、必ず悦びを得る。ゆえにこれを受けるに豫をもって表す。

互卦	裏卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
39: 水山蹇	09: 風天小畜	15: 地山謙	51: 震為雷	40: 雷水解	62: 雷山小過	02: 坤為地	45: 沢地萃	35: 火地晉

卦 辞	侯(きみ)を建て師(いくさ)を行(や)るに利あり。	指導者を立てて、軍や組織を適切に行動させることは吉である。
初 六	鳴(めい)豫す。凶なり。	喜んで先に行動することは凶である。 (軽率に動くと災いがある。)
六 二	石に介たり。日に終えず。貞(てい)にして吉なり。	陰爻陰位で中正を守っており、困難に挟まれるような時も石のようにしっかり身を守っている。正道を守っているため吉。
六 三	盱(く)豫す。悔ゆ。遅ければ悔いあり。	ためらいは悔いを生む。 行動が遅れると、なお悔やむことになる。
九 四	由(ゆう)豫す。大いに得るあり。 疑うなかれ、朋(とも)盍簪(あいあつま)る。	楽しみに従えば、大きな利益を得ることができる。 迷わず進め。友人や仲間と共に喜びを分かち合おう。
六 五	貞(てい)にして疾(や)む。恒(つね)に死せず。	君位にあって剛強の臣下である九四に制せられている。 重病人に等しいが正道を守っているため最終的には無事である
上 六	冥(めい)豫す。成るも渝(かわ)ることあり。咎(とが)なし。	目的は達成できるが、慎重さと余裕・楽しみを同時に持つ ているので途中で多少の変化があっても問題はない。

運 勢	新しい目標に向かって活発になる時。これまで塞がってきた運気が開かれ、充実してくる。また、自分の境遇に変化が訪れる時もある。楽しさゆえに、やるべきことを怠りがちになるため、辛抱強さを忘れないようにすること。
願 望	急ぐと失敗する。何事も控えめにすれば叶う。辛抱と用心を心掛けると良い。 新しいことは発展するが、これまで勢いがあったものは後退しがち。
恋愛・関係	滞りが解消されて互いに悦び楽しむ仲に。悦楽を優先させて生活のリズムが乱れがちになる。 とにかく楽しい時だが、多角関係によるトラブルには注意。
結 婚	順調に進めば縁談まとめり、調和して悦びを得る。ただし気を付けないと、婚後に家庭内のが疎かになり落ち着きは得られない。家庭を持ったときを想定して相手を見極めること。
性 格	内はおだやか、外は行動的、遊び好き、怠け癖あり。
事業・方策	発展策を大いに講じると良い。宣伝や広告など、PR活動を積極的に行うと良い。 好調を理由に油断すると不振のもと。
住 居	外見は良いが中身は良くない。チャンスがあれば移転は可。
相 場	上昇する勢いのままに大いに動く時。ただし油断していると元に戻るため、楽観しないこと。
旅 行	楽しい旅行になるが、遊びすぎに注意。
病 気	胃がん、食道がん、内出血など。急変しやすいが回復も早い。

17. 沢雷隨(たくらいすい) 自分の心に従う

キーワード：悦んで従う、服従、執着、フォロー、フォロワー、順応、一致、把握する、作業適合、調整、先人を見習う、転機

随は動きがあることを示している。民が悦べば、皆従うことになる。ゆえにこれを受けるに随をもって表す。雷が沢の中で動けば、沢の水はさざ波となって共に動いて悦ぶ。随は雷の陽気が沢の陰気に従うため、自我を強めずに勢いを収めていれば無事である。性急短慮は悔いのもと。

互卦	裏卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								

卦辞	随は、元いに亨る貞しきに利あり。 咎なし。	従順に進めば、万事うまくいく。 正しい態度を守ることで利益があり、過失はない。
初九	官渝(かわ)ることあり。貞(てい)なれば吉。 門を出でて交わるに功あり。	これまでの役目が変わることがある。正道を守れば吉。 テリトリーから出て外に出て交われば成果をあげられる。
六二	小子(しょうし)係りて、丈夫(じょうふ)を失う。	未熟な者に頼ると、眞の力ある者を失ってしまう。
六三	丈夫(じょうふ)に係りて、小子(しょうし)を失う。 随つて求むるあれば得。貞に居(お)るに利あり。	有能な者を重んじれば、未熟な者には頼らなくなる。流れに従えば望むものを得ることができ、正しい態度を守れば吉となる。
九四	随つて獲(う)るあり。貞(てい)なれども凶。孚(まこと)あって道に在り、以て明らかなれば、何の咎(とが)あらん。	流れに従えば一時的な成果は得られるが、正道を貫くには困難がある。 誠実で道に沿った行動を取れば、最終的に咎はない。 短期的な成果と長期的な正道のバランスがテーマ。
九五	嘉(か)に孚(まこと)あり。吉なり。	内面の誠実さと地位の正しさが相まって、吉運を生む立場が正しいことが、誠実さの効果を最大化する
上六	これを拘(とら)え係(くく)る。乃(すなわ)ち従つてこれを維(つな)ぐ。王用(もつ)て西山(せいざん)に亨(きょう)す。	最上位にあれば権力や責任が重く、無理に押さえつけるような状況になる。 この極限状態を認識しつつ、誠実さと正道に従つて重要な事柄を取り扱う。

運勢	運気が変わる時。時流や事態に従うと吉。自分のことにつかだわるのは止めること。
願望	時間を掛けば叶う。新しい願いは叶ないので、むやみに手を出さないこと。
恋愛・関係	相手の甘い言葉や誘惑に言いなりになりやすい。惑わされないためには堅実な精神を心掛けると良い。
結婚	初めは、相手の答えをもらえないが時間をかけて求めれば成立する。 ただし、相手の異性交遊の状況に注意。トラブルのもととなる。
性格	行動的で愛嬌がある。私利私欲に従つて動く人。異性関係が多く、問題を起こしやすい。
事業・方策	事情があつて移転することは良い。特別な事情がなければあまり動かない方が良い。
住居	陽当たり良く、多くの人が集まるような良い家。 新築や増改築は目上の意見を参考にすべし。
相場	しばらくは低迷気味。ただし、内にエネルギーがあつて上昇する兆しあり。
旅行	旅先での誘惑に注意。楽しい旅行だからと言ってはしゃぎすぎてはいけない。
病気	精力減退、性病、消化不良、嘔吐など。症状は軽いため治療を怠りがち。早めに処置するのが良い。

18. 山風蠱 (さんふうこ)

腐敗を正す

キーワード：腐敗、崩壊、不正、共倒れ、内部改革、失敗を子供が処理する、先代の失敗、虫食い、悩み、壞乱、障害を排除する、腐り始めが一番おいしい、魅力をもって惑わす、腐敗は内部から、腐敗物の処理、新しいものをいれる、速やかな処理、取り返しのつかないこともやり直すことはできる

蠱の字が表すのは皿の上に虫三匹。皿の上の食物が腐って虫が湧いている形。風が山によって遮られて、物が腐ってしまう。蠱には「壊れたら直る」という意味もあり、最後の最後には立ち直ることも表しています。悦んで人に従つていればそのうち調子に乗ってしまい、崩壊に至る。崩壊した後は必ず事を起さなければいけない。ゆえにこれを受けるに蠱をもつて表す。

互卦	裏卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								
54: 雷沢帰妹	17: 沢雷隨	17: 沢雷隨	26: 山天大畜	52: 艮為山	04: 山水蒙	50: 火風鼎	57: 巽為風	46: 地風升

卦 辞	蠱は、元いに享る。大川を渉(わた)るに利あり。 甲に先だつこと三日、甲に後ること三日。	蠱(老いや腐敗、問題)には、根本的な改善のチャンスがある。 困難を乗り越えるには大きな行動が必要である。 準備期間として「先に三日、後に三日」を置くとよい。
初 六	父の蠱(こ)を干(おか)す。子有り。考ふれど咎なし。 厲(あやう)しも終(つい)に吉。	腐敗・古い障害に取り組む。子孫の助けがあり、よく考えれば過失はない。困難や危険があつても、最終的には吉となる。
九 二	母の蠱(こと)に幹(かん)たり。貞(てい)にすべからず。	母(過去・家庭・旧来の因習など)の腐敗や問題に手を出することは、正道を守つても吉ではない。無理に取り除こうとすると失敗する。
九 三	父の蠱(こと)に幹(かん)たり。 小(すこ)しく悔いあり、大なる咎なし。	父(過去や先代)の問題に取り組む。多少の悔いはあるかもしれないが、大きな過失や災いはない。
六 四	父の蠱(こと)を裕(ゆる)うす。往くときは吝(りん)を見る。	父(過去・先代の問題)を改善しようとして努力するが、実際に行動すると不利益や損失が生じる。 (軽率に手を出すと困難に直面することを示す。)
六 五	父の蠱(こと)に幹(かん)たり、用(もつ)て誉あり。	父が壊してしまったものを取り仕切る。応文の九二が継承してくれるため、立派な後ろ盾がある。結果として名声が高まるることは当然である。
上 九	王侯に事(つか)えず、その事を高尚にす。	権力者や地位に従わず、自分の生き方を高潔にする。

運 勢	内部に問題を抱えている。特に醜い争いごとなどがある時。 内部の改革や、新しい風を呼び込むことが必要。
願 望	叶うことなし。新しいことを進めるより、内部改革に着手すべし。 チャンスが来るまで待つのが良い。
恋愛・関係	多角関係によりトラブルが発生する時。和合することなし。 年上の女が年少の男を誘うことが多い。
結 婚	凶。特に年上の女性に警戒すべし。 相手に隠し事がある恐れあり。縁談は取り止めるのが良い。
性 格	他人に言えない隠し事があり、内心に迷いがある人。 色欲に溺れやすい。
事業・方策	新しいことは不可。 内部の問題を解決することが先。
住 居	内部に問題あり。改築すると良い。移転も吉。
相 場	内部に悪い材料が潜んでいる。手を出さずに静観するのが良い。
旅 行	旅先で体や心にダメージを受けることあり。取り止めるのが良い。
病 気	遺伝的な病気、便秘、腫瘍など。病気が根深く完治は難しい。病勢は激しくなる。

19. 地沢臨(ちたくりん)

幸運が近づく

キーワード：臨み見る、相互、希望、欲求、願望、悦んで従う、アプローチ、春が近づく、接近、接触前進と到着、大きくなる、二人が一緒に前進する、近づく

沢の上に地があり、低い場所にある沢を高い地上が見下ろして臨んでいることを表す。こちらから対象の方へ進んでいく、威圧的に迫っていくという意味。陽が下から進んでいくことで、良好な将来があるということも示唆する。蠱は事のことである。崩壊が起り、事を起こした後には、成長し大きくなる。ゆえにこれを受けるに臨をもって表す。

互卦	裏卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
24: 地雷復	33: 天山遯	20: 風地觀	07: 地水師	24: 地雷復	11: 地天泰	54: 雷澤歸妹	60: 水澤節	41: 山澤損

卦 辞	臨は、元いに亨る貞しきに利あり。 八月に至りて凶あり。	物事が順調に進み、大きな吉運に恵まれる。 正しい態度や正道を守ることが有利である。時期や状況によっては凶となる場合がある(八月=慎重を要する時期の象徴として)。
初 九	咸(かん)じて臨む。貞にして吉なり。	感動させることによってすべてのものが自分のもとに集まる。正道を守っている上に吉である。
九 二	咸(かん)じて臨む。吉にして利あらざるなし。	感動させることによってすべてのものが自分のもとに集まる。全てにおいて良い結果が得られる。
六 三	甘んじて臨む。利するところなし。 既にこれを憂うれば、咎なし。	自分の意志で進んで臨むが、利益は得られない。 慎重に対処すれば、咎められることはない
六 四	至りて臨む。咎なし。	最も適切な時期・立場で臨む。 咎められることはなく安全である。
六 五	知あって臨む。大君の宜(ぎ)なり。	自分は動かずして実力ある臣下(九二)に任せる。 これが智慧のある臨み方であり、大君の取るべき態度である。
上 六	臨むに敦(あつ)し。吉にして咎(とが)なし。	上六は卦の最上に位置し、実務の現場からはやや離れた位置。直接動くよりも、誠意と厚徳をもって下を包み込むように臨む。上からの臨み方が温厚で、厳しさよりも慈しみを伴っているため、下の者は反発せず、吉となる。

運 勢	運気が高まっており、何事にも活気がある時。 勢いに乗りすぎてやりすぎにならないよう注意し、柔軟・柔軟に対応すること。
願 望	運気上昇の時で望みごとは次第に叶う。 ただし、大きなことや急なことは成就しない。将来のことを見据えながら、事に当たると良い。
恋愛・関係	互いに和合して順調。これまで春が到来しなかった人にも悦びあり。 自ら進んでいく積極性が大切だが、急すぎるアプローチは慎むこと。
結 婚	進んで求めるといい。相手の態度があいまいではあるが、積極的に進めることが結ばれる。 急いで縁談を取りまとめると破綻するので、性急にならないように注意。
性 格	柔軟でおとなしい。人と親しみ愛される。向上心あって、活動的な人もある。
事業・方策	新規事業が発展する兆しあり。これまで不振だった事業も盛況となる可能性。 柔軟な手段をもって順調に事を進めること。例えば高級志向よりは大衆受けするものが良い。
住 居	居心地が良い。新築・移転に支障はないが、急に決めるることは控えるべし。
相 場	上昇機運あり。ただし、急いで手を出すと失敗することもあるので、落ち着いて見極めると良い。
旅 行	楽しい旅行となる。旅先の交通事故には注意。
病 気	消化不良、嘔吐、便秘、肺の疾患など。これまで病状が悪かった人は良くなる。 ただし、病勢が高まって悪化している人はさらに進行が早くなる。

20. 風地觀(ふうちかん) 自分の心と向き合う

キーワード：観察、静観、教育、信仰、学術・芸術の発展、熟考、見る、立ち向かう、内省

上の二陽は下を見ており、下の四陰は上を伺い見、互いに觀察し合い、自分の行動をどうするかを考えている。観の卦は陰が下から進んできて衰退の時でもある。「どちらを選ぶか」といが生じますが、欲を取り除いた上で良く考えて決める。臨は大きなものである。物事が十分に大きく、整ったときにこそ、観察(観卦のように)して方向を定めるべき。

互卦	裏卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
23: 山地剥	34: 雷天大壯	19: 地澤臨	42: 風雷益	59: 風水渙	53: 風山漸	12: 天地否	23: 山地剥	08: 水地比

卦 辞	観は、盥(かん)して薦せず、孚あって顛若(ぎょうじやく)たり。	丁寧に手を洗って、軽々しく供物を捧げない。 心に誠があり、その姿は敬虔で厳肅。
初 六	童(どう)観す。小人は咎なし。君子は吝(りん)。	子供のように浅はかな見方しかできない。 責任のない庶民にはそれで咎められることはないが、高い立場の人にとってはみっともないことである。
六 二	闕(き)観す。女貞(じよてい)に利あり。	隙間からのぞくように、限られた範囲しか見られない。 軽々しく動かず、女性のように慎みを守るのがよい。
六 三	我が生を観て進退す。	自分の生き方をよく見つめ、 進むべきか退くべきかを判断する。
六 四	国の光を観る。用(もつ)て王に賓(ひん)たるに利あり。	国の盛んさや王の徳を目にする。 王のもとに賓客として赴くのにふさわしい時である。
九 五	我が生を観る。君子なるときは咎(とが)なし。	自分のいつもの行いをよく振り返って見るべきである。 その行いが君主として恥ずかしくないものであれば咎めはない。
上 九	その生を観る。君子なるときは咎(とが)なし。	民から自分の行いを見られている。その行いが君主として恥ずかしくないものであれば咎めはない。

運 勢	精神的なことなどの目に見えない面で吉あり。 逆に物質的なことなど具体的な面では望みは薄い。祭祀や信仰に関わることがある時。
願 望	教育、学問、芸術の望みは叶う。品行を正しくして、私利私欲に走らないこと。
恋愛・関係	お互いに伺い見ているまため、親和は得られない。一度、交友を厚くすると良い。
結 婚	考えすぎてまとまらない。時間を掛けても良いので、停滞しないよう着実に進めること。
性 格	大人しすぎて引っ込みがち。決断力乏しく迷うことが多い。 プライドが高く保守的な人。
事業・方策	外見は良いが、内面の事情が悪い。 他人から見本とされるような体制を整えると良い。
住 居	新築・増改築・移転は見合わせるのが良い。
相 場	動きとしては小幅。 高値圏にあるときは、そのまま維持することが多い。
旅 行	精神的にリフレッシュするような旅が特に吉。 旅先での盗難には注意。
病 気	高血圧、肩こり、背中の痛み、頭痛、食欲不振、流行り病、風邪など。 表面上は軽く見えるが、実際は重症が多い。重病は命の危険あり。

21.  火雷噬嗑(からいぜいごう)
邪惡なものを罰する

キーワード：口の中にある物、口論、闘争、短気、中間に障害、商業、取引、刑罰、障害物、邪魔者、軽度と重度の罰則、識別、噛み碎く、法律の制限、正義を管理、罪と罰

上卦を上あご、下卦を下あごと見立て、大きく開けた口の中に一つの陽爻が挟まっていることを表す卦。邪魔もののせいで困難があるが、程なくかみ碎かれる。早ければ十四日ほどと言われるほど、邪魔ものは早く取り除かれる。まずはよく観察すべきであり、その後に状況がかみ合う時が訪れる。そのため、「噬嗑(噛み碎いて整える卦)」が続く。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								
39: 水山蹇	48: 水風井	22: 山火賁	35: 火地晋	38: 火澤睽	30: 離為火	27: 山雷頤	25: 天雷无妄	51: 震為雷

卦 辞	噬嗑は、亨(とお)る。獄(ごく)を用うるに利あり。	噬嗑は、通る。裁き事や訴訟に携わるのに良い。
初 九	校(かせ)を履いて趾(あし)を滅(やぶ)る。咎(とが)なし。	枷を足に着けて足が傷つく(小さな痛みで済む)。咎めはない。(早まって動くことを戒める意味が含まれる)
六 二	膚(はだえ)を噬(か)んで鼻を滅(つく)す。咎(とが)なし。	(自分より強い立場の者の上に逆らって柔らかい肉(膚)を噛み碎こうとして鼻を傷めてしまう。しかし、咎めはない)。
六 三	腊肉(せきにく)を噬(か)んで、毒に遇(あ)えり。 小(すこ)しく吝(りん)、咎(とが)なし。	干し肉を噛んでいたら、毒にあたってしまう。少し悔いはあるが、大きな咎めはない。本来柔であるべき位置に剛を帯びていて、そのアンバランスさが毒を招く。
九 四	乾肺(かんし)を噬(か)んで、金矢(きんし)を得たり。 艱貞(かんてい)に利あり。吉。	乾いた骨付きの肉を噛んでいるうちに、肉に埋まっていた金の矢を見つけた。金は剛、矢は直を表しており、罪を裁くには剛直でなければいけない。刑罰を困難なものと考え、正道を守った行いをすることで初めて利があり、吉を得る。
六 五	乾肉(ほしにく)を噬(か)んで、黄金を得たり。 貞厲(ていれい)なるときは、咎(とが)なし。	干し肉を噛み碎いたら、中から黄金を得る。 正しい姿勢を保っていれば危うくとも咎めはない。
上 九	校(かせ)を何(にな)いて耳を滅(やぶ)るは、 聰(そう)不明なればなり。	首枷を背負わされて耳がすり潰されるような傷を受ける。それは人の言うことをよく聞き入れなかつたからである。

運 勢	初めは危険であるが、終わりは安穏。当面は障害があって、多大な努力を必要とする。 また、相手との間に食い違いも起きやすい。短慮な思考でいると争いごとが発生するため注意。
願 望	障害物あって叶いづらい。焦らずに邪魔なを取り除くべし。ただし、商工の道は叶う。
恋愛・関係	口論によって破綻しやすい。柔らかい表現を心掛けること。 あるいは直接的に言い争うではなく、仲裁を立てると良い。
結 婚	不和、争論が多い。未解決のまま話を進めると後の支障となる。 仲裁役を頼めば成立しやすい。婚後は女性優位となりやすく、妻は言葉に注意すること。
性 格	内部の障害のせいで上手くいかない。焦らずに取り除くべし。急ぎすぎると損をする。
事業・方策	力量以上の拡大は荷が重い。元の通りにした方が良い。
住 居	売り買いが活発で上昇傾向にあるが、悪材料が発生することあり。 その場合は現状維持が続き、その後高騰する気配。
相 場	低落が続いている場合はいつたん底を打つ。上昇傾向にあるものは天井圏内へ。ただし、性急な判断は控えるよう
旅 行	商業関係は良いが、他は避ける方が無難。事故やトラブルが起きやすい。
病 気	口内の腫物、歯痛、食中毒、暴飲暴食により疾病、胃がん、胃潰瘍など。 病勢は激しく、外科的処置が必要なことも。

22. 山火賁(さんかひ) 飾りたてる

キーワード：装飾、派手、文明、文彩、美術、芸術、芸能、宣伝、広告、エレガンス、外観、表面、贅沢、見栄、虚栄心

この卦は「内に山(艮)、外に火(離)」の構造で、内側では静かに動かず(山)、外側では明るく照らして(火)、外と内の調和が「賁(飾る)」となる。山の下で火を焚けば、光が樹木を照らして彩鮮やかに美しく見え、山が紅葉して飾られている様子でもある。その美しさは一時的なものであるので、派手にしすぎずに質素にすることが大切。美術や学問には良い卦。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								
40:雷水解	47:沢水困	21:火雷噬嗑	52:艮為山	26:山天大畜	27:山雷頤	30:離為火	37:風火家人	36:地火明夷

卦 辞	賁は、亨(とお)る。小(すこ)しく往くところあるに利あり。	賁では思うこと通る。 小さいことに限って乗り出していくべきがある。
初 九	その趾(あし)を賁(かざ)る。車を捨てて徒(かち)よりす。	自分の行く道を美しく飾る。車を捨てて、心やすらかに徒步で行く。
六 二	その須(ひげ)を賁(かざ)る。	六二は柔位(陰爻)で中正を得ており、鬚を整える程度の適切さである。理想的な飾りの状態。
九 三	賁如(ひじよ)たり濡如(じゅじよ)たり。永貞なれば吉。	(艶やかで過剰ではなく)しっとりと潤った自然で柔らかい美しさがある。永く正道を守れば吉である。
六 四	賁如(ひじよ)たるもの皤如(はじよ)たり。白馬翰如(かんじよ)たり。寇(あだ)するにあらず婚媾(こんこう)せんとす。	飾られてはいるが、白く落ち着いて見える。白馬が飛ぶようにやってくる。それは敵として襲ってくるのではなく、婚姻のための訪れである。(派手さよりも、落ち着いた美と誠実な目的が吉をもたらす)
六 五	丘園(きゅうえん)に賁(かざ)る。束帛羨々(そくはくさんさん)たり。吝(りん)なるも終(つい)には吉なり。	質素な場所に飾る。一束の絹が少々積まれているだけであり、これは恥である。しかし質素であることは良いことなので、最後には吉を得るだろう。
上 九	白く賁(かざ)る。咎(とが)なし。	無垢で本質的な美に立ち戻る。咎めはない。

運 勢	表面上は美しく派手に見えるが、内容が乏しい。見栄を張らず、中身の充実を図ること。芸術家や芸能人にとっては運気が盛んとなる時。中間に障害があって、思うように進展させられないこともあります。
願 望	学問、美術、芸術などの願望は叶う。他のことは、外見より中身で勝負すること。
恋 愛 関 係	内面の偽り、あるいは相手との間に支障があり、上手くいかない。長所のみを見るのではなく、短所にも目を向けること。外見を飾らず、中身の誠実さを示すべし。
結 婚	表面にとらわれて内面を見誤る恐れあり。婚後は質素を忘れないこと。見栄を張ることで家庭内の経済が行き詰まる。
性 格	美的センスが良い人。派手好きで、虚栄心が強い。文学、芸術、芸能、美容、装飾に関係すると良い。
事 業・方 策	宣伝や広告を活用すると良い。美に関わる事業は特に吉。店舗や人物などの外見を美しく見せること。
住 居	装飾や照明に工夫すると吉。改築も吉だが新築は不可。移転は見合せられる方が良い。
相 場	好材料があるように見えるが、実際は冴えない。過大な期待はしない方が良い。
旅 行	派手になりがちなので、出費に注意すること。海外旅行は不可。
病 気	過食、消化器の疾病、運動不足による心臓疾患、腹部の腫瘍、腰痛など。持病化する傾向あり。

23. 山地剥(さんちはく) 浸蝕される

キーワード：剥落、剥奪、剥離、転覆、崩壊、崖崩れ、孤立、老衰、敵意多い、上から見下ろす、剥ぎ取ること、身ぐるみ剥される

陰が陽を削りつくそうとしている形。山が徐々に削り落とされて、最後の一陽も山の上から剥落して荒野になろうとしている。運気は衰退し、心配事が多い状態。貴で飾りを極めれば、うわべばかりとなり実質が尽きる。ゆえにこれを受けるに剥をもって表す。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
			27: 山雷頤	04: 山水蒙	52: 艮為山	35: 火地晋	20: 風地觀	02: 坤為地

卦 辞	剥は、往くところあるに利あらず。	力が少しづつ削がれていく状況。前進すれば不利。(外に向けた攻めの行動より、内を固め、身を守るべき時。)
初 六	牀(しよう)を剥(はく)するに足を以(およ)ぶ。 貞(てい)を蔑(ないがし)ろにす、凶。	床(基盤)を剥ぎ、足でかろうじて支えている。正しい態度を維持できなくなり、凶を招く。
六 二	牀(しよう)を剥(はく)するに弁に以(およ)ぶ。 貞(てい)を蔑(ないがし)ろにす、凶。	床(支え)を剥ぎ取り、注意を払おうとするが、正しい態度や節度を維持できなくなり、災いが生じる。
六 三	これを剥(はく)す。咎(とが)なし。	すでに秩序は崩れており、これを剥ぎ取っても災いはない。
六 四	牀(しよう)を剥(はく)して膚(はだえ)に以(およ)ぶ。凶。	床を剥ぐ際、皮膚(自分の身)を手段として行うような行為をする。結果として身を損ない、災いが生じる。
六 五	貴魚(かんぎょ)のごとく、宮人(きゅうじん)を以(ひき)いて寵(ちょう)せらる。利あらざるなし。	行動や努力の結果目的を確実に得る。権威ある人物や支援者の助けを受けて行動するので、すべて順調で災いはない。
上 九	碩(おお)いなる果(このみ)にして食(くら)われず。 君子は輿(よ)を得、小人は廬(ろ)を剥(はく)す。	大きな果実が一つ食べられずに残っている。剥落が極まったとき、最後に残った人物が君子であれば輿(こし)を得て民より担がれるが、一般人のような小人であれば住む小屋も壊れてしまい役に立たない。

運 勢	山崩れが起きたときのように足元が不安定。部下から敵対され、疎外されることから運気が下がる。自分の言動に注意すべし。高所で作業をすることがあれば、同じく注意すること。また老いを感じる時もある。
願 望	散財や苦労は多いが報われず、願望は叶わない。身を隠してチャンスを待つのが良い。
恋愛・関係	女性が強く、男性は心身ともに疲れ果てる。お互いにマイナスとなること多く、別れて再出発する方が吉となる。
結 婚	取り止めるのが良い。縁談がまとまったとしても、別れる可能性あり。婚後は女性優位で男性が苦労する。
性 格	独断的で周りと親和せず孤立する。偉そうに振舞うが中身が伴っていない。短慮で偏屈な性格。
事業・方策	表面上は調子が良いように見えるが、内部では破綻している。人間関係や財務状況など、内部の修復を急ぐ時。
住 居	基礎が十分でない住宅か、老朽化している物件。土台が不安定のため、改築するか新築するのが良い。移転は取り止めるべし。
相 場	高値圏にあるときは暴落する恐れあり。下落していれば、逆に高騰する場合がある。
旅 行	取り止めるのが吉。登山や高所、飛行機などの落下に関係する事故に特に注意すること。
病 気	脳出血、頭痛、頭部の腫物、肩こり、背中の張り、ストレス、鬱、過労など。病状はかなり進んで進んでいることが多い。重病は再起不能となる恐れ。

24. 地雷復(ちらいふく) 春が立ち帰る

キーワード：再来、往復、反復、復元、復活、希望の芽、春の兆し、初心に戻る、ターニングポイント、回復、リニューアル、心機一転、リセット、やり直す

物は尽きることがあってはいけない。剝が上に極まれば、下に復活して帰ってくる。ゆえにこれを受けるに復をもって表す。陰ばかりの中に新しく陽が下から出てきた卦。まだまだ辛いことが多いが、希望が見え始める。地雷復は「復元」を表しているので、着実に一步一歩前進する努力が必要な時。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
			02: 坤為地	44: 天風姤	23: 山地剥	02: 坤為地	19: 地澤臨	36: 地火明夷

卦 辞	復は、亨(とお)る。出入り疾(やまい)なし。朋(とも)来りて咎なし。その道を反復す。七日にして來り復す。往くところに利あり。	復は、願うこと通る。入りや進退に障害もない。集まる仲間に咎めもない。道を繰り返して正しく行けば、七日で再び順調な状態に戻る。行動すれば利がある。
初 九	遠からずして復(かえ)る。悔いに祇(いた)るなし。元(おお)いに吉。	過ちが大きくならぬうちに正しい姿勢に戻れる。悔いに至ることもなく、大いに吉となる。
六 二	休復(きゅうふく)す。吉(きち)なり。	一旦立ち止まり、心身を休めてから回復する。その結果、吉である。
六 三	頻(しばし)ば復(かえ)る。厲(あやう)けれど咎(とが)なし。	たびたび戻る。よく失敗するから危ないが、その都度改めることができれば咎めはない。
六 四	中行(ちゅうこう)独り復(かえ)る。	復の途中で試練を伴う段階。周囲に支えがなくても、自ら正しい道に復帰する
六 五	復(かえ)るに敦(あつ)し。悔いなし。	誠実さと力強さをもって正しい道に復帰する。悔いはない。
上 九	復(かえ)るに迷う。凶なり。災眚(さいせい)あり。用(もつ)て師(いくさ)を行(や)る。終(つい)に大敗することあり。その国君(ごくくん)に以(およ)ぶ凶なり。十年に至るまで征する克(あた)わず。	最後まで迷って正しい姿勢に戻らない。凶である。災害や過失があるだろう。これまで軍隊を動かせば、最後には大敗することもあるだろう。そうするとその大敗が国君に及び、凶である。十年たっても敵を征伐することはできない。

運 勢	これまで運気は衰退していたが、これからは徐々に上昇する。新しいことが始まる兆しあり。悪いことがあれば良いことがあり、何事も反復するということ。
願 望	堅実に努力を重ねれば、徐々に達成する。逆に油断すると初めからやり直しなど注意。
恋愛・関係	これまで恋愛に恵まれなかつた人には出会いの兆し。別れた相手と関係が戻ることもあり得る。
結 婚	一度諦めた縁談がまとまる。婚期を逃していた人は良い相手と出会い。また再婚にも良い時。逆に、順風満帆な人の結婚はまとまらない。
性 格	コツコツと積み上げていく努力家。一度挫折を味わって復活した人。
事業・方策	以前の事業が再興する。足らない部分を見つめなおし、古さを修復してアレンジすること。
住 居	住み続ければ次第に居心地が良くなる。改築、修復は吉。移転は取り止めるべし。
相 場	これまで安値であれば、新たな材料が生まれて徐々に上昇する。高値の場合は、元の安値まで下がる。
旅 行	以前に行つたことのある旅先に行くと良い。
病 気	腹痛、肝臓病、リュウマチなど。再発の恐れあり。長く患っていた病気は回復傾向にある。

25. 天雷无妄(てんらいむぼう) 偽りなき道を行く

キーワード：偽りのないこと、シンプル、無邪気、天真爛漫、なりゆきに任せる、無実、予想外の不幸、至誠至実、無為無心、正道を外れると災いがある、天災、人災、思わぬ災い

无妄はいつわりのないことを意味する。「天公雷行」は、天に公（正しい秩序）があり、雷が行動するというイメージで、天の正義に従った行動や自然の法則に沿った活動を示唆している。ただし自然の動きは人間社会にとって天災や災害にもなるため、无妄の時は、私利私欲を捨てて誠実さを持ち、時が過ぎるのを待つ方が良い。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变

53: 風山漸

46: 地風升

26: 山天大畜

12: 天地否

10: 天沢履

13: 天火同人

42: 風雷益

21: 火雷噬嗑

17: 沢雷隨

卦 辞	无妄は、元いに亨る貞しきに利あり。それ正にあらざれば眚(わざわい)あり。往くところあるに利あらず。	无妄では、願い事は大いに叶い、正道を守れば利がある。正しくない時には災いがあり、行動を起こしても利はない。
初 九	无妄なり。往けば吉なり。	偽りなく純粋な心であり、行動しても吉である。
六 二	耕さずして穫(え)、菑(し)せずして畜(よ)するときは、往くところに利あり。	耕さないのに収穫があり、開墾の努力を積み重ねなくても畠が豊かになる。前進する先に利がある。
六 三	无妄の災あり。或いはこれが牛を繋ぐ。行人(こうじん)の得ものは、邑人(ゆうじん)の災い。	思わぬ災いに遭遇する。例えば、繋いでいた牛を通りがかりの人が黙って持って行き近くの村人が牛泥棒と疑われてひどい目に遭う。
九 四	貞(てい)にすべし。咎(とが)なし。	正しい態度を守れば問題はない。誠実に行動すれば災いは避けられる。
九 五	无妄の疾(やまい)あり。薬(くすり)することなくして喜びあり。	無妄の病(不調)は、薬に頼らなくても快方に向かい、喜ばしい結果がある。
上 九	无妄にして行けば、眚(わざわい)あり。利するところなし。	外部の状況で災いに巻き込まれているので今は行動しても災いに遭いやすく、無理に進んでも利益は得られない。

運 勢	天災、人災に注意。 私利私欲に走ると凶。物欲は控えること。
願 望	あえて何も期待せずに、自分の役割を果たしていれば叶う。 社会的マナー、約束事を守ること。実力者や目上の人に従うこと。そうすれば物事が順調に進む。
恋愛・関係	運命的な出会いを経験する時。ただし、無理やり推し進めようすると悪い結果となる。 成り行きに任せるのが良い。隠し事など、不義理な関係作りをすれば思わぬ災害が起こるため注意。
結 婚	独断的に決めれば災いあり。 婚後は争いごとが起きやすいため、温和であることを心掛けるべし。
性 格	気性の激しい人。厳格な人。社会的に活躍、貢献している人。
事業・方策	公共事業は吉。利益中心で事業を考えると失敗が多い。
住 居	災害を受けやすいため、移転する吉。
相 場	社会情勢に応じて急激に上ることがあり。ただし、高値圏から暴落する危険もあるため注意。
旅 行	天災や人災が起こる可能性が高い。 どうしても行かななければいけない場合以外は、取り止める方が良い。
病 気	頭痛、ノイローゼ、てんかん、胸部の激痛、心臓病、怪我、打撲など。 病勢が激しくなるため、大きな病院で治療すべし。自然治癒や民間療法に頼るのは危険。

26. 山天大畜(さんてんたいしく) 力をたくわえる

キーワード：大いに蓄える、大志を抱いてチャンスを待つ、初めは困難だが後に吉、忍耐、持久力、抑止、制止、偉大な力の飼いならし、抑制された力、

山が立ちはだかって、進もうとする天の剛健さを止めている。大成するために休養する時であり、蓄える時。停滞の時でもあり物事の進展は望めない。権力者や富裕層の宮廷の繁栄・豪華な生活、鐘鳴鼎食(しようめいていしょく)を表す。偽りがなくなり誠となつたあとにこそ物を蓄えるべし。ゆえにこれを受けるに大畜をもって表す。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
			18: 山風蠱	22: 山火賁	41: 山澤損	14: 火天大有	09: 風天小畜	11: 地天泰

卦 辞	大畜は、貞(ただ)しきに利あり。家食(かしょく)せずして、吉なり。大川(たいせん)を渉(わた)るに利あり。	大きな力や徳を蓄えている。正しい道を守のがよい。自分の家に閉じこもって安楽を貪るのではなく、外に出て蓄えた力を世のために用いれば吉。困難や大事業に立ち向かうのにも適している。
初 九	厲(あやう)きことあり、已(や)むに利あり。	危うい状況にある。ここでやめるのがよい。
九 二	輿(くるま)轍(とこしばり)を説く。	車が自ら車軸を外すように、自然に動きを止めるのが良い。(無理をせず、中心を保って安定させることが吉。)
九 三	良馬逐(お)えり。艱貞(かんてい)に利あり。曰(ここ)に輿衛(よえい)を閑(なら)えば、往くところあるに利あり。	優れた馬を駆り使うように、困難な状況でも正しい態度を保てば利益がある。車や守りが整って落ち着いていれば、進むべき場所に行くことも吉である。
六 四	童牛(どうぎゅう)の牿(さえ)。元吉なり。	六四是、若い牛をしっかりと手なずけるように、力を制御すれば大いに吉である。この大吉は、喜びが伴うことを示している。
六 五	豶豕(ふんし)の牙。吉なり。	野生の豚の牙を扱うように、荒々しい力や扱いににくいものを正しく制御すれば吉である。
上 九	天の衢(みち)を何(にな)う。亨(とお)る。	自然の巡りや天命に従って物事は順調に運ぶ。

運 勢	来る飛躍に備えて、研鑽に努めるべき時。 無理に前進すれば失敗する。順調と思うときこそ小休止すべし。
願 望	今は運気が抑えられているが、我慢して好機を待てば望み事叶う。 知識、技術、金銭を蓄積すると吉。
恋愛・関係	焦りは禁物。積極的な行動は逆効果。じっくりと親睦を深めるべし。 障害がありお互いに思い通りに行かない時だが、将来性はある仲である。
結 婚	思いのほか遅い。支障あってなかなか進まないが、時が経てばまとまる。
性 格	大志を抱いてコツコツ積み上げる人。寡黙で頑固者。
事 業・方 策	新規開拓より内部の拡充を図ること。社員研修は効果あり。
住 居	新增築は不可。改築は吉、移転は見合わせる方が良い。
相 場	将来的に有望であるが、当分は伸び悩む。長期的な保持は吉。
旅 行	かねてから準備していた旅行であれば無事。それ以外は取り止める方が良い。
病 気	頭痛、頭の打撲、腹部の張り、不食、便秘、血行障害など。 病勢は急に悪化するわけではないが、持病化しないよう注意すべし。

27. 山雷頤(さんらいい) 自分を養う

キーワード：養う、養われる、口を大きく開く、飲食、言語、論争、誇張、喧嘩、協力、言葉の重要性、肉体的栄養、精神的栄養、欲望の問題、消化する

山が上あご、雷が下あごで、口を開けている形。言語や飲食を表し、日常の生活を意味する。口は食物を取り込んで体を育てるため、養うという意味もあり、生活のなかで口論を慎み食事に気を使うことで、どう自分を養っていくかに注意を払うべき卦。物が蓄えられれば、それを使ってどう養うかを考える必要がある。ゆえにこれを受けるに頤をもって表す。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
			23: 山地剥	41: 山澤損	22: 山火賁	21: 火雷噬嗑	42: 風雷益	24: 地雷復
02: 坤為地	28: 沢風大過	27: 山雷頤						

卦 辞	頤(い)は、貞(ただ)しければ吉。頤を觀る。自ら口実を求む。	自分の言動や生活態度、都合のよい言い訳や方便を使っていないかを注意深く確認し、正しければ吉である。
初 九	爾(なんじ)の靈亀(れいき)を舍(す)てて、我を觀て頤(い)を朶(た)る。凶。	靈亀による吉凶を軽んじ、自己の養い(言動や資源の管理)ばかりを気にしている。そのため、災いがある。
六 二	顛(さかしま)に頤(やしな)わる、経(つね)に扱(もと)れり。丘に于(おい)て頤(やしな)わる、往けば凶。	自己の位置や基盤に見合わない養いを受けることは、正しい道に反する。はるか上の者に無理に養われようとしても凶となる。
六 三	頤(やしな)うに扱(もと)る。貞(てい)なれども凶。十年用うるなかれ。利するところなし。	養う道理に反している。養うという行いは正しくても、道理に反していれば凶である。十年間動いてはいけない。何の利もない。
六 四	顛(さかしま)に頤(やしな)わるるも吉なり。虎視眈々たり。その欲逐々(ちくちく)たり。咎(とが)なし。	養いの基盤が一時的に傾いても吉となる。虎がじっと狙うように、機会をしっかりと見極め、欲しいものを適切に手に入れれば、災いはない。
六 五	経(けい)に扱(はら)る。貞に居(お)れば吉なり。大川を涉(わた)るべからず。	正しい筋道・秩序を整え、正しい態度を守れば吉である。しかし、大きな困難や危険(大川)には手を出してはいけない。
上 九	由(よ)つて頤(やしな)わる。厲(あやう)くして吉。大川(たいせん)を涉(わた)るに利あり。	養いの道に従い、正しい方法で行えば、危うさはあるが吉である。大きな困難や挑戦(大川)にも進むことが利益となる。

運 勢	人間関係の対立が起きやすい。 生活に支障や不足がある時。食事や口論に注意。
願 望	短期の望みは難しい。 飲食や言語を慎んで、節度あればゆくゆくは叶う。
恋愛・関係	お互いに惹かれるところがあるものの、考え方の違いにより口論が発生する。相手に一步譲る気持ちで接すると親和する。職業や経済状況など、生活面の障害から関係に亀裂が入りやすい。
結 婚	双方望んでおりまとまるように見えるが、素性に関する隠し事あり。 すぐに縁談をまとめることではなく、じっくりと見極める時間が必要。
性 格	よく喋る、負けず嫌いで口論、議論が好きな人。 おおげさなことを言うが、中身が伴っていないことが多い。
事業・方策	外見を整えるより、内部の充実を図ること。飲食関係の事業は吉。
住 居	改築するには良い。移転の気運は高まるが障害あって果たせず。
相 場	高値圏で上限に達したらすぐに急落する。乱高下の動きあり。
旅 行	遠距離旅行はトラブルが起きやすい。十分に準備をして出発すること。
病 気	口腔の疾患、歯痛、消化器の疾患、食欲不振など。 外見が良く見えて、中身が傷んでいる。一進一退を繰り返して治療が長引く傾向にある。

28. 沢風大過(たくふうたいか) 大きな重荷を背負う

キーワード:やり過ぎ、行き過ぎ、過剰、不安、重荷、互いに背く、沈没の恐れ、失敗の恐れ、本末が弱いので難儀な時。本末顛倒の卦

頤とは養うことである。養うことができなければ物を動かすことはできない。養いは過度であってもいいため、これを受けるに大過をもって表す。大過の両端は陰であり、中の四爻は陽。柱が細いのに屋根が重すぎて、つぶれてしまう心配がある様子を表す。「超乎尋常」尋常を超える出来事に「淡然処之」淡々とそれに対処することが説かれている。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
1: 乾為天	27: 山雷頤	28: 澤風大過	43: 澤天夬	31: 沢山咸	47: 沢水困	48: 水風井	32: 雷風恒	44: 天風姤

卦 辞	大過は、棟撓(むなぎたわ)めり。 往くところあるに利あり。亨(とお)る。	棟木がたわむように、重さに耐えかねる。しかし大過は中心が剛健であるため、徳があれば進んでも利があり、願いごと叶う。(ただし、常人であれば身の程を過ぎたことであることが多い。)
初 六	藉(し)くに白茅(はくぼう)を用(もつ)てす。咎(とが)なし。	白く清潔な茅(ちがや)を敷いて足場を作る。災いはない。
九 二	枯楊(こよう)梯(ひこばえ)を生ず。老夫その女妻を得たり。 利あらざるなし。	枯れた木にも新しい芽が出るように、年を重ねた男性にも縁があつて若い女性を妻として迎えることができる。よくないことはない。
九 三	棟撓(むなぎたわ)めり。凶なり。	棟木がたわんでいる(それほどの負荷がかかる)。凶である。
九 四	棟隆(むなぎたか)し。吉なり。它(た)あれば吝(りん)。	棟木が立派に隆起して屋根の重さに耐えており、吉である。ただし、他の助けを借りようと恥をかく。
九 五	枯楊(こよう)華を生ず。老婦その士夫を得たり。 咎(とが)もなく誉れもなし。	枯れかけの柳が花を咲かせた。老いた独り身の婦人が若い夫と結ばれるようなものである。咎はないが、誉れも得られない。
上 六	過ぎて渉(わた)る、頂きを滅(つく)す。凶なり。 咎(とが)なし。	限界を超えた行動や挑戦は災いを招く。行き過ぎた行為は危険。ただし、状況そのものの責任ではなく、罪はない

運 勢	何事もやり過ぎや行き過ぎに注意。失敗や挫折のもととなる。実力不足にも関わらず、大きな責任を背負うこととなる。身動きが取れずに大きな過ちあり。人間関係が上手くいかず、お互いに背き合うことになる。
願 望	望みが大きすぎて叶わず。願い事は現実的な内容にすること。また、人間関係が上手くいかず叶いづらい。
恋愛・関係	高望みのために関係が重荷になる。お互いに意見が合わず、離別となる恐れあり。
結 婚	避けるのが良い。縁談はまとまりづらく、強行しても結局は不和となる。婚後の生活は苦難の道となり、凶。
性 格	見た目は頼りなく見えるが、性格は自信過剰。
事業・方策	実力以上の新規事業や拡大策は失敗のもと。身内との意見も折り合いが合わない。背反に注意。
住 居	新築、増築、移転は不可。改築は土台強化に重きを置けば、場合によって吉。
相 場	想定以上に高騰となることがあるが、確実な材料ではないため急落する恐れあり。油断や安心はしないこと。
旅 行	無理な計画とならないように、現実的に検討すること。分相応な旅行でなければトラブルを招く。
病 気	肺結核、内臓疾患、腹部のがん、アルコール中毒、暴飲暴食など。命の危険がある時。すぐに治療する必要がある。

29. 坎為水(かんいすい) 落とし穴におちる

キーワード：苦しみ、悩み、陥る、下る、衰運、信念、誠実、真心、複数の危険、困難が重なる、二重の苦しみ、非常に困難、底知れぬもの、穴

水雷屯、水山蹇、沢水困と並べられる四難卦の一つ。坎が一つだけでも苦しむのに、さらに坎が重なり、非常な苦しみとなる。物事の度が過ぎれば平穡に終わらず、陰難に陥る。ゆえにこれを受けるに坎をもって表す。時には「行陰用陰」危険を危険で制する、いわば「毒をもって毒を制す」に近い発想も。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变

卦 辞	習坎(しゅうかん)は、孚(まこと)あり。 維(こ)れ心亨(とお)る。行けば尚(たつと)ぶことあり。	危険や困難を学びながら、誠実に心を保てば物事は順調に進む。ただし、行動するときには節度や礼儀を重んじることが必要である。
初 六	坎を習(かさ)ねて、坎蕷(かんたん)に入る。凶なり。	穴の中にさらに穴があり、その底にいるようなもの。凶である。
九 二	坎に陰あり。求めて小(すこ)しく得(う)。	穴に危険がある。小さな目的であれば得られる。(大事を望むと失敗しやすい戒め)
六 三	来(きた)るも之(ゆ)くも、坎々(かんかん)たり。陰にして且(か)つ探し。坎蕷(かんたん)に入る。用うるなかれ。	どちらに行っても落とし穴がある。危険な上に深い。穴の中にさらに穴があり、その底にいるようなものである。行動してはいけない。
六 四	樽酒簋(そんしゅぎ)あり。弌(ま)すに缶(ほとぎ)を用(もつ)てす。約を納(い)るる牖(まど)よりす。終(つい)に咎(とが)なし。	神を祀るために、ひと樽の酒とひと皿の穀物がある。そして飾り気のない甕(おひこ)を用意する。さらに寢からそつとさやかな供物を差し入れる。困難の中でもこのような飾りのない誠意を尽くせば、最後には咎めはない。
九 五	坎(かん)盈(み)たず。 既に平らかなるに祇(いた)る。咎(とが)なし。	穴に水が溜まっているが、まだ溢れるほどではない。 しかし、穴の口まで水面は来ている。 困難は間もなく取り除かれるため、咎めはない。
上 六	係(しば)るに微纏(きぼく)を用(もつ)てし、叢棘(そうきょく)に寘(お)く。三歳まで得(え)ず。凶。	細い縄でがんじがらめにされ、茨の茂みにおかれる。 三年動けない。凶。

運 勢	困難や悩みが長く続く時。無理に困難から脱出しようとすると、かえって事態が悪化する。 信念を持って耐え忍ぶこと。病難、水難、色難、詐欺などに注意。
願 望	努力した割には成果を得られない。新規や拡大に関係することは控える方が良い。 しっかりと現状維持することに集中し、困難を耐え抜けば最後に願望叶う。
恋愛・関係	困難や悩みが多く、恋人がいるなら一旦距離を置く方が良い。独り身の場合は、甘い言葉に誘惑されて悦楽に溺れたり、結婚詐欺に遭ったりすることがある。質素な姿勢を心掛けること。
結 婚	お互いに望みが合わず、凶である。取り止めることが逆に幸福につながる。 仮に結婚したとしても、健康や経済に問題があって苦労が絶えない。
性 格	苦労が多い人。人当たりは冷たいところがある。執念深い。
事業・方策	赤字に見舞われる。悪条件が重なる時。新規事業は延期するのが良い。 就職活動、転職活動は慎重に進めるべし。
住 居	新築、増築は先送りにすることで無事。改築が必要な場合は最小限にとどめること。 移転はかえって悪化するので取り止めるべし。
相 場	大いに下落する。底値であれば上がり目もあるが、当分は停滞傾向。
旅 行	取り止めるべし。決行した場合は、旅先で不慮の災害に見舞われやすい。 盗難、水難、食中毒などに注意。
病 気	泌尿器科系の疾患、肝臓や脾臓の疾患、下痢、血便、血液の病、月経不順など。 体内の液体に関わる病気が発症する恐れ。長期に悩む病気となり得る。



離為火(りいか)

正しいものにつく

キーワード：付く、離れる、離別、変化、上昇、明るい、目立つ、顕著、美しい、知恵、何かにしがみつく、知覚する、理解

火には形が無く、他の物にくつついで離れたりして燃えることで形を表す。ゆえに、「火」「明るい」の他、「付く」「離れる」という意味も。移り気があり、目まぐるしく変化することがある。「附麗于天」混乱の中で自分の感情や行動を天の道理・秩序に合わせ、正しい結果に導かれる。「輝映成光」内外の明るさ・知恵が互いに映し合って大きな成果や吉運となる。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
28: 沢風大過	29: 坎為水	30: 離為火	56: 火山旅	14: 火天大有	21: 火雷噬嗑	22: 山火賁	13: 天火同人	55: 雷火豐

卦 辞	離は、貞(ただ)しきに利あり。亨(とお)る。 牝牛を畜(やしな)う、吉なり。	離は、正道を守れば利益があり、望み事は叶う。 穏やかな牝牛のように、柔順の徳を養えば吉を得るだろう。
初 九	履(ふ)むこと錯然(さくぜん)たり。 これを敬(つし)むときは咎(とが)なし。	混乱し入り組んだ状況に踏み込む。 慎重に対応すれば問題は起きない。
六 二	黄離(こうり)。元吉(げんきつ)なり。	中庸(黄)の徳をもって明らか(離)に従う。 内外の調和により大吉。
九 三	日昃(にっぽく)の離なり。缶(ほとぎ)を鼓(う)ちて歌わばば、 大耋(だいてつ)の嗟(なげ)きあらん。凶。	日が西に傾いており、今にも沈もうとしている。 このような終わりの時に酒宴を叩いて歌えるくらい楽しむ心境でなければ、老いて朽ちる嘆きがあるだけである。凶である。
九 四	突如それ来如(らいじよ)。焚如(はんじよ)、 死如(しじよ)、棄如(きじよ)。	思わぬ出来事が次々に訪れ、全てを焼き尽くし、 死と廃棄のような状況となる。大変危険。
六 五	涕(なみだ)を出(いた)すこと沱若(たじやく)たり。 戚(うれ)いて嗟若(さじやく)たり。吉なり。	深く悲しみ涙するほどに心からの反省と誠意を示せば、 やがて吉に転じる。
上 九	王用(もつ)て出でて征(せい)す。嘉(よ)きことあり首(かしら)を 折(くじ)く。獲(う)ることその醜(たぐ)いにあらず。咎(とが)なし。	王が出征に用いる。善きこととして善きこととして敵の頭の首を取る。仲間以外を捕らえても、意図的でなければ、非常時の戦略判断として咎められない。

運 勢	運気は上昇傾向にあるが、移り気が多く安定性に欠ける。 外見は華やかだが、内面が充実していない。また、人との離別ある時。
願 望	学問、芸術、芸能に関する事は叶う。 その他のことは、正当性のあることであれば上手くいく。
恋愛・関係	熱中しやすい関係だが、気持ちが移りやすい。熱しやすく冷めやすい気質。 これまで親しかった相手とは離別の気配あり、新しい相手との出会いが生まれる時。
結 婚	縁談の選択肢が他にもあり、選択に迷う。表面上は良く見えるが、内面に隠し事あり。結婚の前によく調べること。婚後も、見た目は華やかな生活に見えるが内面充実せずに崩壊する恐れあり。離別の可能性もある。再婚には良い。
性 格	知恵やセンスがある人。芸術や芸能の才能あり。熱しやすく冷めやすい。むら氣がある。情熱的な性格。
事業・方策	見た目は盛大に見えて、実情は不安定。その事業を良く知る人物に素直に相談すると良い。
住 居	移転の気配あり。よい物件があれば移転すると良い。
相 場	上昇を繰り返すが、安定性なく何度も乱高下する。進退の決定を迅速に。
旅 行	調子にのって赤字にならないように注意。旅先では、争いごとや火難に気を付けること。
病 気	眼病、ヒステリー、心臓病、乳房の疾患、ウイルス性・流行性の疾病、高熱の出る疾病。 病勢は変化が著しい。原因を慎重に見極めるべし。

31. 沢山咸(たくさんかん) 感じ合う喜び

キーワード：感応、通じる、恋愛、結婚、速やか、提携・結合・経験・接する・感覚・感応・感受、

沢の水が上から下に流れていき、山は上へと伸びていき、お互いの気が交わっています。上に多感な時期の少女、下にやはり多感な少年がいて、二者相互の感受性が頂点に達し「咸」という。澤山咸は易經下巻の最初の卦であり、下巻最初の卦として人間世界の始まりである男女を表す澤山咸が置かれている。「交相感応（こうそうかんのう）」物事や人の動きが相互に作用することと、「一念情起」内面の動きが、外界との交互作用（交相感応）を生む契機を示す。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
44: 天風姤	41 山沢損	32: 雷風恒	49: 沢火革	28: 沢風大過	45: 沢地萃	39: 水山蹇	62: 雷山小過	33: 天山遯

卦 辞	咸は、亨(とお)る。貞(ただ)しきに利あり。 女(じょ)を取(めど)るときは吉なり。	咸は、願い事叶う。正道を守れ利もある。 婚姻や協力関係の成立は吉となる。
初 六	その拇(おやゆび)に咸(かん)す。	互いに足の親指(拇)に感応する。(そのように小さな接点や最初の関わりが重要。初めの段階では控えめが吉)
六 二	その腓(こむら)を咸(かん)す、凶なり。居れば吉。	何かに感応してふくらはぎが動こうとしている。 自制せず動けば凶となる。動かなければ吉。
九 三	その股(もも)に咸(かん)す、 執ることそれ隨(したが)う。往けば吝(りん)。	関係や影響力が強まるが、自分自身はまだ不安定、行動や意思が定まらない。 執着の対象が下位や基礎的なものにあり、志が他人に従っているため進めば恥をかくことになる。
九 四	貞(ただ)しければ吉にして悔い亡(ほろ)ぶ。憧々(しようしよ う)として往来すれば、朋(とも)爾(なんじ)の思いに従う。	成長途中で完全な安定や徳の完成には至らないが、 正道を守っていれば吉となり悔いも消滅する。 活発な交流によって仲間や周囲が自然と従ってくれる。
九 五	そのせじしに咸(かん)す。悔いなし。	背中の肉に感応する。深い関係が成立し、信頼と協力が安定して内面的に結びついている。後悔することはない。
上 六	その輔頬舌(ほきょうぜつ)に咸(かん)す。	何かに感応して、上あご、頬、舌が動こうとしている。 輔頬舌に感応するとは、口で書き導くことを示す。

運 勢	意外な吉事がある時。速やかに願いが叶うので、早めに行動を起こすこと。 ただし大切なことを疎かにしないように、慎重さも必要。
願 望	チャンスを感じやすい時なので、迅速に行動する。予期していないタイミングで願望が叶うこともある。
恋愛・関係	意気投合して親密度が高まる時。良い出会い、または結婚に恵まれる。 感情に流され過ぎないように注意は忘れないこと。
結 婚	お互いに好感を持ちあって良い縁談となる。 いつまでも恋人のような関係が続く。婿や養子を取るのも吉。
性 格	気遣いができ、行動力がある人。感受性が豊かで、芸術のセンスがある。 恋愛に溺れて異性問題を起こしやすい人。
事業・方策	心が通うような姿勢を大切にすべし。理論的ではなく、感情に訴えかけるアイデアが吉。
住 居	現状で十分に平穏。チャンスがあれば移転も吉。
相 場	大きな動きはなく、小刻みに上下する。大きな利益は望めない。
旅 行	平穏な旅行となる。新婚旅行など、男女で行く旅行が特に吉。旅先での女難に注意。
病 気	季節の変化による気鬱、感染症、伝染病、性病など。初めの症状は軽いが、油断していると重くなる。

32. 雷風恒(らいふうこう) 変わらぬ安定

キーワード：恒久、恒常、安定、平穏、結婚、結婚、夫婦、永遠の道、変わらぬ目的、一貫性、永久、安心して努力ができる、定着性、持続、連續性、建設する、

太陽も月も日々変化しているように見えて、大きく見れば常に変わらずに運行している。これを恒久と言う。「相隨相依」互いに従い、支え合うことで関係や秩序を保ち安定すること、「但求恒久」一時的な利益や短期的な快楽にとらわれず、長期的な安定・調和を目指す姿勢が示される。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								

卦 辞	恒は、亨(とお)る。咎(とが)なし。貞(ただ)しきに利あり。往くところあるに利あり。	恒久・安定の徳を守れば願いは通る。咎めもない。正道を守れば利があり、前進しても利がある。
初 六	浚(ふか)く恒にす。貞(ただ)しけれども凶なり。利するところなし。	(まだ時機が熟していないのに)恒久性を過度に追求する。正しかったとしても、凶。どこにも利益はない。
九 二	悔(くい)亡(ぼろ)ぶ。	九二は中位であり、中心的立場。悔いが消え、安心して恒久性を保てる。
九 三	その徳を恒(つね)にせざれば、或いはこれが羞(はじ)を承(う)く。貞(ただ)しけれど吝(りん)。	中爻で、不安定・試練の位置にあって恒久の徳を維持できず恥を受ける。正しいことを守っても、利益は少なく、窮する。
九 四	田(かり)して禽(えもの)なし。	狩をしても獲物がない。位や立場が本来の徳・役割に合っていないため、努力しても実りがない。
六 五	その徳を恒にす。貞(ただ)し。婦人は吉。夫子(ふうし)は凶なり。	徳を恒久に保ち、正しさを守る。内向的な安定(婦)は吉だが、外向的行動(夫)は注意。陰陽の序が乱れると凶であるため、各自の本分を守ることが核心。
上 九	振(うご)くこと恒なり。凶。	高位の立場で軽率に行動すると、恒久の基盤を損ない凶。

運 勢	今まで不安定だったことが安定する。 安定していることに関しては、欲を出さずに現状維持に努めること。
願 望	新規のことや野望は叶わないが、分相応の願いは叶う。 親しい人と協力すると良い。
恋愛・関係	付き合いが長く、安定した関係。 現状の安定に油断していると、倦怠が起こる可能性あり。
結 婚	恒久の愛が誓われるため、結婚に吉。婚後も概ね安定する。 ただし、急いで縁談をまとめようとする失敗する。
性 格	人情に厚く、温厚な性格。変化に対応する常識人。
事業・方策	従来のことは順調に進行する。 新規事業や方針転換に着手すると失敗する。
住 居	何かと小さな変化があるときだが、その都度対応することで結果的に平穏を得る。 移転するほどではない。
相 場	小刻みに上下はあるが、基本的に安定している。 安定期が長い場合は、変化の可能性あり。
旅 行	恒例の旅行は無事。予定の途中変更は控える方が良い。
病 気	肺の疾患、胃腸や肝臓の疾患など、不摂生が長く続けば持病となる。 急に治すのは不可能があるので、我慢強く治療すべし。

33. 天山遯(てんざんとん) あえて退く

キーワード：逃れる、退く、隠遁、不調和、撤退、退却、逃避、戦略的後退、引退、遁走、難を避ける、大切なものを守る、身を引く、逃げるが勝ち

遯は、逃げる、退く、避けるという意味。物事は恒久的にその場所にいることはできないので、のがれる必要がある。ゆえにこれを受けた時に遯をもつて表す。避其鋒芒（」鋭い刃先を避けて相手の勢いに直接ぶつからないこと、「遯隱事外」退いて身を隠し、世事の外に身を置くことを示す。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								
44: 天風姤	19: 地沢臨	34: 雷天大壯	13: 天火同人	44: 天風姤	12: 天地否	53: 風山漸	56: 火山旅	31: 沢山咸

卦 辞	遯は、亨(とお)る。小(しよう)貞(ただ)しきに利あり。	状況を読み取り、時を得て退くことで、かえって道が通じる。この「退き」の意義は単なる保身ではなく、大局を保つ戦略的撤退。小事における貞(正しさ)を守れば、後に力が伸びる。
初 六	遯尾(とんび)、厲(あやう)し。 用(もつ)て往くところあるなかれ。	逃げ遅れて一番後になってしまい、危険である。 積極的に行動してはいけない。
六 二	これを執(とら)うるに黄牛(こうぎゅう)の革(つくりかわ)を用(もつ)て。これを説(と)くに勝(た)うる莫(な)し。	適切に退くための志の固さは、まるで黄牛の革で縛ったように固い。誰もこれをほどくことはできない。
九 三	係遯(けいとん)す。疾(やまい)あり厲(あやう)し。 臣妾(しんしょう)を畜(やしな)うときは吉。	退避がつながれて退けない。病があり危うい。 家臣や妾を養うように、小さな雑務や人材を養うことに専念するのが吉。大きな事業には適さない。
九 四	好遯(こうとん)す。君子は吉。小人はしからず。	退くことを好む。時をわきまえて退くのは君子の知恵で吉。 小人は執着や欲で退けないため凶。
九 五	嘉遯(かとん)す。貞(ただ)しければ吉。	時を見て潔く退くのは高徳の君子の行い。 道義を守って退くのは吉。
上 九	肥遯(ひとつん)す。利あらざるなし。	余裕を持って退くことができる。利益しかない。

運 勢	運気の上昇時期が過ぎて、衰運となる時。人間関係に不調和が生まれて孤立しがち。 思い切って現状を捨てて、しがらみから離脱することも必要。
願 望	新しいことや拡大することに関連する願いは叶わない。むしろ退くことや休むことで安泰を得る。
恋愛・関係	盛り上がった気持ちが失われていき、不調和となる時。 しばらくは関係や連絡を絶って、相手から遠ざかるのが良い。
結 婚	縁談はまとまらない。あえてまとめようとせずに解消する方が良い。 仮に結婚を進めた場合は不調和となる。
性 格	人嫌いな性格のため、内向的で消極的。周囲と適合せずに孤立しがち。
事 業・方 策	新規、拡大に関係することは不可。上手く行っていないことには早く見切りをつけて、撤退策を考えるべし。
住 居	立ち退きの時が来ている。タイミングを見計らって移転するのが良い。
相 場	高値圏から次第に下落していく。
旅 行	旅行の実施は思いどまるのが吉。おすすめのバケーションパッケージ引退旅行に限っては問題ない。
病 気	顔のむくみ、虚脱感、便秘など。重病以外はすぐに治る。重病の場合は凶の兆し。

34. 雷天大壯(らいてんたいそう) 悪を越える

キーワード: 大壯、盛大、勇猛、発展、勢い、猪突猛進、やり過ぎ、活性化、抑制された決意、素晴らしい爽快感、偉大な知恵、偉大な活力、進み過ぎて失敗、偉大な成熟、強大な力、正義の力、過度の力

物事は退いたまま終わらせてはいけない。勢いよく盛んになる必要があり、これを受けるに大壯をもって表す。大壯は、盛んになって運気が上昇し発展する時期。ただし、勢い余って進みすぎると思わぬ過失が生じる。「雷厉風行」雷のように厳しく、風のように素早く行動すること、「謹防冒動」軽挙妄動を慎むべしと示されている。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变

43: 沢天夬 20: 風地觀 33: 天山遯 32: 雷風恒 55: 雷火豐 54: 雷澤歸妹 11: 地天泰 43: 沢天夬 14: 火天大有

卦 辞	大壯は、貞(ただ)しきに利あり。	勢いを増す時期であり、正しい行動を貫けば利益がある。
初 九	趾(あし)に壯(さかん)なり。 征(ゆ)けば凶。孚(まこと)有り。	誠意のあまり初九が勇み足となり、足首が盛んに進み動こうとしている。動けば必ず凶。
九 二	貞(ただ)しければ吉なり。	盛んな勢いの中で、中庸を心掛けて正道を守れば吉である。
九 三	小人は壯を用い、君子は罔(あやま)る。 貞しけれども厲(あやう)し。羝羊(ていよう)、藩(まがき)に触れて、その角を羸(くるし)ましむ。	小人は分別なく勢いを用い、君子は間違える。正しくても厳しい。雄羊が柵に角をぶつけるように努力の方向が誤っている。
九 四	貞しければ吉にして悔(くい)亡(ぼろ)ぶ。藩(まがき)決(ひら)けて、羸(くるし)まず。大輿(だいよ)の輶(とこしばり)に壯(さか)んなり。	正道を守るのであれば吉になり、悔いも事前に無くなるだろう。牡の羊が走り出しても生け垣は開けて、角にいはらが絡まることもない。大きな車の輪受けが頑丈があるので、大いに前進することができる。
六 五	羊を易(えき)に喪(うしな)う。悔(くわい)なし。	羊を易(取引や管理)で失う。悔いなし。
上 六	羝羊(ていよう)、藩(まがき)に触る。退く能わず、遂(すす)む能わず。利するところなし。艱(くる)しめば吉。	牡羊が暴走して生け垣に突っ込み、退くことも進むこともできない。何の利益もない。無理に動かず困難を堪えることが吉

運 勢	気力や体力が満ち溢れ、前進する勢いに乗っている時。 自制が効かず猛進すると、挫折や人間関係の不和を引き起こしやすい。交通事故に注意。
願 望	分相応のことは大いに叶う。 調子に乗って多くのことを望みすぎると凶となるので気を付けること。
恋愛・関係	こちらの勢いが強すぎて相手が退く。あるいは争論やけんかに発展する。 気を落ち着けて、柔軟な姿勢で相手と接すること。
結 婚	大壯の卦は下記のように大きな兎とも見なせる。基本的には和となりおめでたい縁談ではあるが、勢いに乗って一気にまとめようとしないこと。猛進すると後悔する。
性 格	積極的で自信家。落ち着きがなく、騒がしく、行動的。少々やり過ぎなところもある。
事業・方策	大壯の卦は下記のように大きな兎とも見なせる。基本的には和となり、内外を充実させれば大吉となる。 ただし、猛進しては失敗してしまうため、落ち着いて徐々に商談を進めいくこと。
住 居	すぐには動かず静観すること。 新築や移転を思い立つ時期だが、好機を待つ方が良い。
相 場	現在が安値にあれば、大きく高騰する。 しかし勢いがいつまでも続くわけではないので先行きには警戒すること。
旅 行	準備と慎重さを忘れないこと。おすすめのバケーションパッケージ 特に交通事故に注意。未開の地に行くような冒険旅行は吉。
病 気	鋭い痛みの頭痛、口中・咽喉の疾患、怪我、大熱など。 症状の勢いが強く、悪化も早い。怠慢や油断をせずに節制すること。

35. 火地晉(かちしん) 明るい夜明け

キーワード：日の出、進む、明るい、人気、出世、名誉、名声、繁栄、前進する、急速で容易な進歩、進捗状況、意識の前進、夜明けを迎える

太陽が地上に出て、だんだんと昇り進んでいく様子を表しています。物事が盛んになってそのまま終わっていくべきではない。そこから進む必要がある。ゆえにこれを受けるに晉をもつて表す。「紅日初升」新しい始まりの日の出と、「其道大光」道が正しく、明るい未来や成功の兆しがあることを示す。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								
39: 水山蹇	5: 水天需	36: 地火明夷	21: 火雷噬嗑	64: 火水未濟	56: 火山旅	23: 山地剥	12: 天地否	16: 雷地豫

卦 辞	晋は、康侯(こうこう)用て馬を錫(たも)うこと蕃庶(はんしょ)たり。昼日(ちゅうじつ)に三たび接(まじ)わる。	理想的な君主は軍事や権威を整えて民を豊かにする。太陽が三度照らすように恩恵や吉兆が多層的に届く。
初 六	晋如(しんじよ)たり摧如(さいじよ)たり。貞しければ吉。孚とせらるる罔(な)きも、裕(ゆたか)なるときは咎なし。	力を出して進むが、まだ未熟で、信頼や支持が十分ではない。慎重に行動すれば吉。資源や恩恵があるため、大きな失敗には至らない。
六 二	晋如(しんじよ)たり愁如(しゅうじよ)たり。貞しければ吉。茲(こ)の介(おお)いなる福をその王母に受く。	進もうとするも前途の困難さに憂いを抱かずにはいられない。しかし、自分の正道を守り続ける態度があれば最後には吉となる。祖母から大きな福を授かるだろう。
六 三	衆(しゅう)允(まこと)とす。悔(くい)亡(ほろ)ぶ。	周囲の支持・協力を得る。迷いや悔いはない。
九 四	晋如(しんじよ)たる鼫鼠(せきそ)。貞しけれど厲(あやう)し。	小さなネズミのように警戒して行動する。たとえ行いが正直でも、前途は危うい。正しさを保てば吉、油断は禁物。
六 五	悔い亡ぶ。失得(しっとく)恤(うれ)ふるなかれ。往(ゆく)ときは吉にして利あらざるなし。	悔いはなくなる。損得を気に掛ける必要もない。前進すれば吉であり、何をしても利益があるだろう。
上 九	その角(つの)に晋(すす)む。維(こ)れ用(もつ)て邑(ゆう)を伐(う)つ。厲(あやう)けれど吉にして咎なし。貞しけれど吝(りん)。	権威行使し、城を攻める。危険はあるが吉、罪はない。正直でも恥である。

運 勢	苦労が去って、ようやく運気が上昇していく時。 これまでの努力が認められて、目上の人間からの恩恵を受ける。
願 望	堅実な努力を積み重ねることで、これまで願ってきたことがようやく叶う。
恋愛・関係	これまで出会いに恵まれなかった人に新しい出会いがある時。内面も外見も明るく振る舞うと吉。ただし、調子に乗って浮気がちになると、身近な人と別れることになりかねないので注意すること。
結 婚	積極的に縁談をまとめるのが良い。ただし相手の内面もしっかりと確認すること。外見だけで選ぶと後悔する。
性 格	しっかりと前進していく性格。秀才で明るく、人に好かれる人。
事業・方策	新規事業を始めるチャンス。 ただし、足を地に着けて内部を充実した上で動くこと。さもないと苦労ばかり多く利益は薄い。
住 居	新築、改築、移転、どれも良い。朗報が舞い込む時。
相 場	これまで停滞していた場合はこれから上昇傾向。 しかし飛躍的に高くなるわけではないので、高望みはしないこと。
旅 行	楽しい旅行となる。
病 気	頭痛、発狂、日射病、風邪などによる熱、心臓疾患、伝染病など。 落ち着いていた病勢が急に悪化することがあるので注意すること。

36. 地火明夷(ちかめいい) 陽が沈む

キーワード：傷、破れる、暗い、夜、心配、苦労、詐欺、逆境、無知、正論を唱える人が傷つく、光が消える

太陽が地の下に入り、暗闇となるという意味。暗闇が続く間は物がよく見えないため、大したことではないことも心配になります。「黎明未至」夜はまだ明けず、光が完全に差していない状態。状況や物事がまだ整っておらず、希望や解決の兆しが見えていないことと、「壯士断腕」勇気をもって重大な犠牲を払う決断や行動を示す。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
			15: 地山謙	11: 地天泰	24: 地雷復	55: 雷火豐	63: 水火既濟	22: 山火賁

卦 辞	明夷は、艱貞(かんてい)に利あり。	光や徳が損なわれる困難な時期。苦しみながらも正道を守っていれば利益がある。
初 九	明夷(めいい)于(ゆ)き飛んで、その翼を垂(た)る。君子于(ゆ)き行(ゆく)、三日食(くら)わず。往(ゆ)くところあれば、主人言(ものい)うことあり。	本来の能力が制限され、自由に振る舞えない。力を発揮できず、控えめにする。君子は行動する際三日食を絶つほど、自己の利益や欲を抑えて正義に従う。行動するならば指導・助言を仰ぐ。
六 二	明夷(めいい)、左の股(もも)を夷(やぶ)る。用(もつ)て拯(すく)うに馬壯(さか)んなれば吉なり。	左の腿が傷ついた。歩くのに支障があるが、強壮な馬に救ってもらえば、逃げ延びることができる吉である。正しい順序と規範に従うことで、危機を乗り越えられる。
九 三	明夷(めいい)、南に于(ゆ)きて狩(かり)し、その大首(だいしゆ)を得(う)。疾(と)く貞(ただ)すべからず。	南で狩をし、大首(成果や重要な手柄)を得る。焦って正しい行動を怠ると危険。慎重さが求められる。計画的かつ慎重な行動により、大きな成果を得られる。
六 四	左の腹に入る。明夷(めいい)の心を獲(え)たり。于(ゆ)きて門庭(もんてい)を出(い)づ。	内側に入り込み困難の本質や状況を深く状況を理解し、正しく判断する。明夷の意味を知り、門から外に出る。
六 五	箕子(きし)の明(めい)夷(やぶ)る。貞(ただ)しきに利あり。	箕子のように明が傷ついても、正しさを守れば吉。正しい行動は、光(正義)を絶やさない。
上 六	不明にして晦(くら)し。初めには天に登り、後には地に入る。	明るいものも必ず暗くなる。最初は天に昇るが、のちに地中に入る。

運 勢	妨害や中傷を受けるような困難が多い時。耐え忍んで好機が来るのを待つのが良い。積極的に進もうとするより、現状を守ることを優先すべし。
願 望	願望叶わず。怒りや苦しみなどをじっとこらえて、軽々しい行いをせずに時が来るのを待つこと。大切なことや新しい挑戦などは、別のタイミングに延期するのが良い。
恋愛・関係	人目を忍んで育むような恋。あるいは相手に隠し事がある時。お互いのことを理解できていないために、争いごとが起きやすい。
結 婚	成立しない。事前にしっかりと調査をしておかないと、後になって誤解による大きなトラブルが生じる。
性 格	内には才能や力量がありながら、時運に恵まれない人。内向的で、発展性に乏しい性格。誤解などから災難に遭いやすい人。
事業・方策	時運に恵まれず、あらゆる計画が無駄になる可能性あり。今は智恵を蓄えて勝機が来るのを待つべし。機密情報の漏洩には注意すること。
住 居	住み心地が良くない。改築するのは良いが、新築や移転は延期する方が無難。
相 場	冴えない時期となる。高値圏にあるときは、下落の一途をたどる。
旅 行	取り止めるべし。おすすめのパッケージパッケージ誤解や行き違いによりトラブルが発生する恐れあり。
病 気	神經衰弱、ノイローゼ、心臓病、肺病、眼病、胃がん、胃腸がんなど。外見では分からないが、内部で悪化している場合が多く、治療するのが困難。

37. 風火家人(ふうかかじん) 家庭を治める

キーワード：家庭、家族、平和、結婚、家族、家族を整える、家庭の喜び、アットホームな関係の人、コミュニティー、家庭円満、内側を治める

家人では、家庭内の女性が正しければ、それがもととなり家の外のことでも正しくなることを示す。ゆえに女性として正道を守れば良いことがあるだろう。「炊煙繞繞」日常が穏やかに営まれ、暮らしが安定しているさま、「家庭和睦」家族が互いに理解し合い、平和で穏やかな関係にあるさまを示す。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
64: 火水未済	40: 雷水解	38: 火沢睽	53: 風山漸	09: 風天小畜	42: 風雷益	13: 天火同人	22: 山火賁	63: 水火既濟

卦 辞	家人は、女(じよ)の貞(ただ)しきに利あり。	家庭や組織の秩序は、女性(妻・家族)が正しい行動、節度によって安定する。女性として正道を守れば良いことがあるだろう。
初 九	有家(ゆうか)に閑(ふせ)ぐ。悔(くい)亡(ほろ)ぶ。	慎ましく家庭を守れば、悔いはない。 慎むとは、志がまだ変わらないことを示す
六 二	遂(と)ぐるところなし。中饋(ちゅうき)に在るときは、貞(ただ)しくして吉。	家庭の中で自分の役割をきちんと果たせば、外に出る必要はなく、平穏で吉となる。
九 三	家人(かじん)嗚嗚(かくかく)たり。厲(はげ)しきに悔(くい)あれど吉。婦子(ふし)嘻嘻(きき)たり。終に吝(りん)。	家族が協力的に動く。悔いはあるが危くても吉。 妻や子どもが自由すぎると、家庭の秩序に乱れが生じる。
六 四	家を富ます。大吉なり。	家族の生活を充実させれば大吉。
九 五	王有家(ゆうか)に仮(いた)る。恤(うれ)ふる勿(なか)れ。吉。	王が家庭や組織に適切に関わるのは愛情や信頼を交わす象徴であり、何も心配しなくとも結果は吉である。
上 六	孚(まこと)あり威如(いじよ)たり。終(つい)に吉なり。	自分自身を省み、誠意をもって 権威や影響力を行使すれば、結果的に吉となる。

運 勢	外に向かうよりも、内を大切にする時。まず現状を維持し、分相応なことに注力すること。 分不相応なことに手を出すと不利となる。また、家庭的な温もりが必要となる時もある。
願 望	大望は叶いづらい。円滑な人間関係を心掛け、自ら人に働きかけることで、願望が叶いやすい環境を作るべし。
恋愛・関係	地味ではあるが、堅実に進展する。自由奔放に振舞うのではなく、相手への思いやりが必要。
結 婚	平凡ではあるが、平穏な家庭を築くことができる。良縁。 自己過信をせずに、謙虚な姿勢をもって縁をまとめるのが良い。
性 格	家庭的で従順。男性の場合は決断力が乏しく優柔不断に感じることあり。 自力で大事をなすには力不足。
事業・方策	小規模で手堅く進められる事業に注力すべし。 新規や大型の事業は不可。家庭的な人間関係を構築すると良い。
住 居	現状維持が良い。新築、増改築は不可。移転も先に延ばすべし。
相 場	大きな上下の動きなく、平静となる。高利益は望めない。
旅 行	小規模の家族旅行であれば吉。それ以外は見合わせて延期する方が良い。
病 気	発熱、寒気、心臓病、眼病、腫物、精力減退、経水不順など。 風邪から悪化する場合が多い。病勢は次第に激しくなる。余病に注意。

38. 火澤睽(かたくけい) 内輪揉め

キーワード:そむき合う、にらみ合う、かみ合わない、背反、不信、反対、障害、対立、分離、不一致、利害の相違、敵意、倒錯、不調和、内輪もめ、仲違い、確執、真逆の価値観、女同士の争い

火は上に昇っていき、沢の流れは下に行こうとする。つまり火澤睽では、向かっていく先が異なることを意味する。また、一家に中女と小女がいても、いずれは異なる嫁ぎ先に出向いていく。「本是同源」一見違うものでも、その根源や本質は同じであること、「所求殊途」求めるものの道が異なるとき、各自の方法を正しく選ぶことが望ましいことを示す。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								

卦 辞	睽は小事には吉なり。	睽では、大きなことは不可であるが、小さなことには吉である。
初 九	悔亡ぶ。馬を喪(うしな)う。逐(お)う勿(な)くして自ら復(かえ)る。悪人を見れば咎なし。	小さな損失や対立があっても、失った馬が自ら戻るように自然に解決する。問題のある人物に出会っても、害はない。
九 二	主に巷(ちまた)に遇(あ)う。咎なし。	道中で主に出会っても、正しい行動をしているので問題にならない。
六 三	輿(くるま)を曳(ひ)かる。その牛掣(とど)めらる。その人天(てん)せられ且(か)つ劓(はなぎ)らる。初めなくして終りあり。	後ろからは自分の車を引き戻され、前からは車を引いていた牛を制止される。車に乗っている人は額に入れ墨を入れられ、鼻を切られる刑罰に処せられる。初めは無実の罪に問われてしまうが、最後には会いたい人に会えるだろう。
九 四	睽(そむ)いて孤(ひとり)なり。元夫(げんぶ)に遇(あ)う。交々(こもごも)孚(ふ)あり。厲(あやう)けれど咎なし。	孤立するが、正しい人物に出会い互いに誠意を持つ。危険はあるが、問題にはならない。
六 五	悔(くい)亡(ほろ)ぶ。その宗(そう)膚(はだえ)を噬(か)む。往(ゆ)くとして何の咎かあらん。	悔いはなくなる。困難や対立があっても、前進できる。仲間との小さな争いは、最終的に喜びや良い結果をもたらす。
上 九	睽(そむ)いて孤(ひとり)なり。豕(いのこ)の塗(ひじりこ)を負えるを見る。鬼を載(の)ること一車(いつしゃ)。先にはこれが弧(ゆみ)を張り、後にはこれが弧を説(はず)す。寇(あだ)するにあらず婚媾(こんきゆ)せんとす。往いて雨に遇えば吉なり。	孤立して疑心暗鬼に陥る。目の前には恐ろしいものが現れるように見え、敵だと勘違いして武器を構える。やがて誤解とわかり、武器を収める。相手は敵ではなく、協力をもたらす存在であった。前進して調和し、吉運となる。

運 勢	思い通りに物事が進展せずに、手違いや行き違いが発生する。 特に人関係での思い違いによるトラブルに注意すべき時。
願 望	小さな願望は達成できる。 大望は、計画や予定に食い違いがあり挫折するため叶わず。
恋愛・関係	お互いの意見が背き合って、円滑に進まぬ時。 喧嘩や不和が起こるが、そのうちに誤解がとけて親密を取り戻す。
結 婚	見合やすべし。 誤解や錯覚などの手違いが多く発生するため、性急に結論を出そうとしないこと。
性 格	ひねくれもの。人と調和するのが苦手。
事業・方策	本業や小事のこと以外には心を動かさないこと。 他のことに手を出そうとすると、計画や予定に手違いが発生して失敗する。
住 居	改築、移転は良い。ただし、日時や方位をしっかりと検討すること。
相 場	現実は見通しの逆を行く。
旅 行	とにかく手違いが多く発生する。おすすめのバケーションパッケージ延期をするのが良い。
病 気	発熱、嘔吐、頭痛、咳など。誤診や薬が合わない場合あり。

39. 水山蹇 (すいざんけん) 進退極まる

キーワード：悩み、痛み、苦労、障害、目上に従う、座礁、麻痺、行き悩む、進退窮まる、困難と障害、妨害、閉塞、大きな危険

坎(水)は悩み、艮(山)は停止。水と山に挟まれ、困難の中で止まってしまい、進むことも退くことも出でることもできない状態を表す。「山重水複」障害が連続しているが、水の流れや道が複雑でも、進むべき道を見極めれば突破できる、という含みもある。「進退両難」進んでも退いても難しい、板挟みの状況を示す。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								
64: 火水未済	38: 火沢睽	40: 雷水解	63: 水火既濟	48: 水風井	08: 水地比	31: 沢山咸	15: 地山謙	53: 風山漸

卦 辞	蹇は、西南に利あり、東北に利あらず。 大人を見るに利あり、貞しくして吉。	難に阻まれ進みにくい。柔順に従えば正しい立場を得られ、無理に逆行すれば行き詰まる。徳のある指導者に会うのがよく、正しい志を守れば吉。外に打開策を求めるより、自分を省みて内面を修める。
初 六	往(ゆ)くときは蹇(なや)みあり、 来(きた)るときは誉(ほま)れあり。	進めば困難に遭う。退いて待てば名誉を得る。
六 二	王臣(おうしん)蹇々(けんけん)たり。 躬(みの)の故(ごと)にあらず。	王の臣下が難に苦しむ。だがそれは自分のためではなく、公のためであり、咎められることはない。
九 三	往(ゆ)くときは蹇(なや)みあり、 来(きた)るときは反(かえ)る。	強引に進めば危険だが、 退けば元の秩序に戻って内の人には喜ばれる。
六 四	往(ゆ)くときは蹇(なや)みあり、 来(きた)るときは連(つら)なる。	進めばかえって悩むことになる。戻ることで同志を得る。
九 五	大蹇(たいけん)朋(とも)来(きた)る。	大変な困難や苦労の中にあっても、仲間が助けに来る。大難にあっても朋が来るのは、中正の徳ゆえである。
上 六	往くときは蹇(なや)みあり、來(きた)るときは 碩(おおい)なり。吉。大人を見るに利あり。	軽率に進めば苦難に陥るが、退けば大いなる実りを得て吉。 賢者の助けを仰げば良い結果となる。

運 勢	障害あって進展できない。進むより現状維持に努めることで無事を得る。 目上に従って吉。
願 望	困難や苦労が多く、願望は叶わない。 人間関係を整えながら、好機を待つののが良い。
恋愛・関係	不和や争いごと多く、親和は得られず。あるいは離別することもある。 憂鬱ではあるが、好機が来るまで忍耐する時。
結 婚	条件が揃わず、なかなかまとまらない。無理に進めても、結婚後に不和や苦労を伴う。 急いでまとめる必要はないため、事情が好転するまで待つののが良い。
性 格	環境が悪く、なかなか成果を上げられない人。いろいろと悩みが多い人。
事業・方策	予期しない障害が続出する。しばらくの間は無理に進まずに、退くことも重要。
住 居	住環境が良くない。ただし、改築・移転は円滑に進まない。
相 場	短期的な取引であれば、思うように上昇せず損失を招く時。 長期保有であれば、そのまま持続するのが良い。
旅 行	旅先で困難や苦労あり。おすすめのパッケージ取り止めるのが良い。
病 気	消化不良、冷えによる諸病、足のけが、歩行困難など。治療は長引くが、命の危険に至ることはない。

40. 雷水解(らいすいかい)

問題が解決する

キーワード：解け散る、解決、解消、解散、解放、緩む、雪解け、春、問題解決、緊張緩和、障害の除去、救済、困難が解ける

これまで抱えていた苦難が解け始めることを表す。可能な限り早く行動して、すべて解決するように心掛けると良い。「解散」といった「散る」というような意味もあり、まとまらないことを表していることもあります。「豁然开朗」心の迷いが晴れて、急に道理がはっきり理解できること、「化險為夷」困難や障害を乗り越えて順調にすることを示す。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
63: 水火既濟	37: 風火家人	水山蹇	54: 雷澤歸妹	16: 雷地豫	32: 雷風恒	07: 地水師	47: 淚水困	64: 火水未濟

卦 辞	解は、西南に利あり、往くところなれば其(そ)れ来(きた)り復(かえ)って吉なり。往くところあれば、夙(はや)くして吉なり。	西南に行けばよい。とくに行く先がなければ、戻ってくることが吉。もし行くところがあれば、早く行動すれば吉。
初 六	咎(とが)なし。	柔と剛の境目にあたり、調和しているため過ちは生じない。
九 二	田(かり)して三狐(さんこ)を獲(え)、黃矢(こうし)を得(う)。貞(ただ)しければ吉なり。	狩りをして三匹の狐を得、黄色い矢を得るように正しい行動によって小人を退け、正道(黄矢)を得る。正しければ吉。
六 三	負い且(か)つ乗る、寇(こう)の至るを致す。貞しくとも吝。	欲張って自分の立場をわきまえずに、荷を負って車に乗るようなみっともないことをして自ら敵を招き寄せてしまう。正しくしても恥である。
九 四	而(なんじ)の拇(おやゆび)を解く。朋至りて斯(ここ)に孚(ふ)あり。	足の親指を解き放つように小さな束縛を解けば、仲間が集まり信頼が生まれる。
六 五	君子維(こ)れ解(と)くことあれば吉なり。小人に孚(ふ)すことあり。	君子は君子と親交を深めるべきであって、小人物との交わりは断ち切らねばならない。交友関係の改善状況は、周囲に小人物がいなくなったかどうかが証拠となる。
上 六	公(こう)用(もつ)て隼(はやぶさ)を高墉(こうよう)の上に射る。これを獲(え)て、利あらざるなし。	為政者が高い所にいる隼(道に背く者)を取り除く。何も不利はなく、すべてに利益がある。

運 勢	これまでの困難が解決して状況が好転する時。 そのため、気の緩みやすんな行動が生じるので注意が必要。散財の恐れあり。
願 望	素早く行動すれば叶う。 願望を達成できそうな時に油断をしないこと。油断から大きな失敗が引き起こされる。
恋愛・関係	出会いがなかったことに悩んでいた人には良い運気が到来する。 親しい関係の相手とは、気の緩みから不仲となる恐れあり。
結 婚	婚期を逃していた人には縁談が舞い込む。速やかに取り決めるのが良い。 気が緩んでいると、縁談が解消となってしまうことがあるので注意すること。
性 格	外見はゆったりと構えているように見えるが、内心には知力を抱えている人。 あるいは、方向性がまとまらないまま放浪しがちな人。
事業・方策	これまでの困難から脱出して、好機がある時。何事も迅速に行動すると良い。
住 居	不具合のあるところは改築すると吉。また、住居に欠陥があれば移転するのも良い。
相 場	これまで低値圏にあったのなら上昇する傾向にある。 ただし、高騰した後に予期せぬ材料からまた下落する。
旅 行	西南の方向に行くと吉。おすすめのパッケージ/旅行中は気を緩めないこと。盗難や事故に遭う恐れあり。
病 気	胃腸や肺など内臓の疾患。内部の病根が表面化して悪化していく傾向がある。 長く患っている病気は回復に向かう。

41. 山沢損(さんたくそん) 正しい損の仕方

キーワード：損失、減退、損して得取る、他人のために苦労をする、公共事業、感情のコントロールを楽しむ。反省する。

山沢損は地天泰の一番下の陽爻が一番上に移動した形。沢は己を削って山を高くするように、自分が損をして、相手に利益をもたらす。また、沢の水が水蒸気となり上昇し山を潤して山を益する。兌の性質は「悦ぶ」ことであり、艮の性質は「止まる」ことである。惜しむのではなく、必然的な意義を見出して損を惜しまない、誠の心が問われている。また、誠意があれば、あえて物の多寡にこだわる必要はなくなる。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								

卦 辞	損は、孚(まこと)あれば、元吉にして、咎なし。 貞(てい)にすべくして、往くところあるに利あり。 曷(なに)をかこれ用いん。二簋(にき)用て享(まつ)るべし。	損では、信念をもって行動すれば、最後には大吉となる。咎めもない。 自分の正しさを継続すれば、前進しても有利である。 誠意があれば神への供物が二皿しか用意できなくても、神を祭るに足りる。
初 九	事(こと)を已(や)めて遙(すみや)かに往(ゆ)く。 咎なし。酌(く)みてこれを損す。	自分の仕事を止めて、速やかに相手を助けに行く。 咎めはない。必要性を測ってそれを与える。 速やかにいくことで誠意を表すことが重要である。
九 二	貞しきに利あり。征(ゆ)けば凶。 損せずして之これを益(ま)す。	自分が正しいと思うことをするのが良いが、この正しさとは中庸を表す。 助けば凶となる。自分が損をせずに、援助するのが良い。
六 三	三人行けば一人を損(そん)す。 一人行けばその友を得(う)。	三人で行動すると一人を失う。一人で行動すると友を得る。 三人で行くと疑惑が生じるで混乱するので一人で行く。
六 四	その疾(やまい)を損(そん)す。使(も)し 遙(すみや)かなければ喜びあり。咎なし。	速やかに病や問題を取り除き、喜びがあり問題もない。 初爻が助けにきてくれる所以速やかに受け入れると良い。
六 五	或(ある)いはこれを益(ま)す。十朋(じっぽう)の龜(き)も 違(たが)う克(あた)わず。元吉。	周りのものが益してくれる。高価な龜で占っても 間違いがないほどに大吉である。
上 九	損せずしてこれを益(ま)す。咎なし。貞(ただ)しければ 吉にして、往(ゆ)くところ有るに利あり。臣(しん)を得るに家なし。	自分は損をせず、益をもたらす。正しい道を守っているので吉であり、進んで物事を行うのが良い。臣を得るが、自身のことは顧みずに打ち込んでいる。

運 勢	今は何かと世話苦労が多く、損することも多いため気分が滅入る時だが、次第に自分にとっての利益を得る。ただし、私利私欲を捨てなければ、いずれ大損する。誠意をもって行うことは全て吉となる。
願 望	義理のために損をすることははあるが、長い目で見れば望むことは叶う。 誰かのために尽くすことで、後に利を得る。
恋愛・関係	こちらが損をして相手の気持ちを潤す時。 献身的な誠意によってお互いが和合して悦ぶ。
結 婚	世話苦労が多いが、耐え忍んでまとめる良縁。 初めは何かと円滑に進まないが、後になって親和する。
性 格	人のために尽くす人。そのため世話苦労が多い人。 慈善事業に縁がある人。
事業・方策	人のために財を減らすことがあっても、それが悦びとなるような損をすると良い。 後に発展して利益を生む。
住 居	現状に不満あるため、改築するには良い。移転は見合せると無事。
相 場	一時の損失で取り止めないこと。正しい姿勢をもって継続していれば報われる。 ただし、現在が順調である場合は損失する恐れあり。
旅 行	可能であれば延期するのが良い。公益や慈善のための旅行であれば吉。
病 気	過労、体力衰弱、血行不順、月経不順、便秘など。 栄養や気力不足により引き起こされる症状が多い。養生して体力をつければ次第に回復する。

42. 風雷益(ふうらいえき) 人のために尽くす

キーワード：増益、増加、上下和合、共同事業、商売熱心、自由、代行、富の増加、負債の増加、調和の増加、不調和の増加、博愛、民主、委任、不調和

風雷益は天地否の上にある陽爻が下に移動した象で、豊かな上の者が貧しい下の者を益させた象。民衆が豊かになれば国全体が安定し、最終的に上の者にも利益がもたらされる。大地が発する活発なエネルギーである雷が轟きわたり、万物を振り動かす風が吹き荒れ流ことで草木は発育・繁茂して、天地万物の造化作用が活発になる。大地が天の働きによって利益を得ると云う物語でもある。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
23: 山地剥	32: 雷風恒	41: 山澤損	20: 風地觀	61: 風澤中孚	37: 風火家人	25: 天雷无妄	27: 山雷頤	03: 水雷屯

卦 辞	益は、往くところあるに利あり。大川を渉(わた)るに利あり。	物事を成すとき、正しい目的地があれば行動は吉。大きな困難(大川)に挑むことも吉。
初 九	用て大作(たいさく)を為すに利あり。元吉にして、咎なし。	大きな仕事をする際には利がある。ただし、それはその仕事が完全に善のものである場合にのみである。そうすれば咎はない。
六 二	或(あるいは)これを益(ま)す。十朋(じっぽう)の龜も 違(たが)う克(あた)わず。永貞なれば吉なり。 王用(もつ)て帝に享(きょう)す、吉。	助力を受ける。高価な龜ト占っても、その吉兆は否定できない。 永く正しい道を守れば吉。王がこの者を通じて天帝を祭るほどに信頼あつく、吉である。
六 三	これを益すに凶事(きょうじ)を用(も)ってすれば咎なし。 中行に孚あり。公に告ぐるに圭(けい)を用てす。	益するために苦難を用いる。過ちはない、誠実さがあり、中正に行動する。公に報告するときには圭(謁見に使用する玉器)を用いて誠意を示す。
六 四	中行(ちゆうこう)あれば、公に告げて従われん。 用て依(よ)ることを為(な)し國を遷(うつ)すに利あり。	中正であれば君主に報告して強い志を支持される。 君主の恩徳を頼り、国を移す(大改革を行う)のに有利である。
九 五	孚有りて惠心あり。問うこと勿くして元吉なり。 孚有りて我が徳を恵とす。	誠実さと慈愛の心を持っている。問うまでもなく大吉である。 徳は人々に行き渡り、人民も真心で応える。
上 九	これを益すことなし。或(あるいは)はこれを擊つ。 心を立つこと恆(つね)なし。凶。	益してくれる者がいないばかりか、攻撃する者がいる。 己の利益ばかりを考え志に偏りがって一貫しないため、凶である。

運 勢	これまで停滞していた場合、今後は何事においても順調となる。ただし、現在すでに順調であれば、運気下降の始まりを表す。気の緩みから失敗や損害を被るため、注意を怠らないこと。
願 望	自信があることに対しては、大胆に前進すると望みは叶う。 分不相応で運任せの願望は全く叶わない。
恋愛・関係	お互いの気が合って親和する。 ただし、表面上での付き合いとなりがち。中身が充実した関係性は構築しづらい。
結 婚	お互いが不足を補う姿勢であれば、調和してまとまる。 予算以上の出費には注意が必要。
性 格	商売の上手い人。ビジネスの才能がある人。 表面上はしっかりしており人付き合いも良いが、内面は空虚な人。
事 業・方 策	盛運の時ではあるが、調子に乗って分不相応な事業に手を出すと失敗する。 新規の事業や企画は控えること。
住 居	分相応な増改築であれば問題ない。移転も同じく、高望みしなければ無事。
相 場	上昇傾向にあるが安定はしない。臨機応変に対応ができるれば利益が得られる。 あるいは、現在すでに利益が得られていれば、下落場面を避けられるよう売り逃げるのが良い。
旅 行	平穏無事な旅行となる。特に長旅が良い。
病 気	大熱、激しい動機、結核、健忘症、季節的な伝染病など。 病勢は激しく悪化の一途。長い病の場合は一旦の安定を得る。

43. 沢天夬(たくてんかい) 小人との決別

キーワード：決意、決定、決断、決行、決着、解決、決壊、ブレイクスルー、腐敗の除去、撲滅、切り開く

沢は大地が窪んでいる所だが、この卦では天の上に沢が在る。その沢が決壊して水が地上に溢れ出ようとしている状態を示している。太陽の熱によって水が蒸発し、雲となって雨を降らせようとしている形である。夬という字は、決壊の決の字の根幹となる字である。それゆえ、彖伝、雜卦伝には決の字を用いており、序卦伝には夬は決することであると書いてある。五陽の君子が一陰の小人を決し去り、頂点である乾為天に達しようとしている時である。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								
01: 乾為天	23: 山地剥	44: 天風姤	28: 沢風大過	49: 沢火革	58: 兌為沢	05: 水天需	34: 雷天大壯	01: 乾為天

卦 辞	夬は、王庭(おうてい)に揚(あ)ぐ。孚あって号(さけ)ぶ、厲(あやう)きことあり。告ぐること邑よりす。 戎(じゅう)に即(つ)くに利あらず。往くところあるに利あり。	王の朝廷にて罪を明かす。誠意を尽くして、危険を顧みず訴える。訴えの声は遠く村からも上がる。むやみに武力に訴えても何も利はない。進めば、利を得る。
初 六	趾(あし)を前(すす)むるに壯(さかん)なり。 往いて勝たざるを咎となす。	勢い込んで前に出るが、まだ力不足で勝てず、咎となる。 勝てる力がないのに突き進むことは過ちである。
六 二	惕(おそ)れて号(さけ)ぶ。莫夜(ぼや)に戎(つわもの)あれども、恤(うれ)うるなかれ。	恐れて叫ぶ。夜に戦いがあつても、中道の徳があるので心配することはない。
六 三	墮(つらばね)に壮(さか)んなり。凶あり。君子は夬々(かいかい)。 独り行きて雨に遇う。満るるが若(ごと)く懼(いか)らることあり。咎なし。	顔に力みが出ていてよくない、君子は決然としていて、独り歩んで雨に遭い、濡れて人に怒られるような困難があつても咎はない。
六 四	臀(いさらい)に膚(はだえ)なし。その行くこと次且(しょ)たり。 羊を牽(ひ)けば悔(くい)亡ぶ。言(こと)を聞くとも信ぜず。	居場所が不安定で落ち着かず、行動が滞る。しかし柔順に従えば悔いは消える。聞く耳を持たない頑迷さがある。位が正しくなく、聰明でないからである。
六 五	莧陸(けんりく)なり、夬夬(かいかい)たり。 中行なれば咎なし。	莧陸のように堅実な立場にあり、断固として進む。 中道を行けば咎なし。中道はまだ完全に貫かれていない。
上 九	號(さけ)ぶことなかれ。終(つい)に凶有り。	無理に行動や主張をせず静観することが求められる。積極的に動けば災いを招く可能性がある。無理に動かず慎重であれば、凶は長く続かず過ぎ去る。

運 勢	勢いのままに押し切ろうとすると、不運や危険に見舞われる。 また、不慮の事故や災害にも注意すること。何事も油断せずに、慎重に行動するのが良い。
願 望	一気に達成しようとすると失敗する。心を落ち着かせて、穩便に進めるのが賢明。
恋愛・関係	性急短慮の姿勢だと破綻を招く。意見が衝突して離別する恐れあり。 あと一息の段階だと感じっていても、落ち着きと寛容さが重要。争論を起こさないよう慎重に事を進めるべし。
結 婚	よほどの準備を整えていなければ、断るのが良い。周囲の事情から強引に縁談をまとめられる場合がある。 たとえ縁談がまとまつても、婚後に争論起きやすく平穏な家庭は築きにくい。
性 格	独斷獨行。争いごとを起こしやすい人。初めは勢いがあるが、継続できない人。 言葉の不配慮から人間関係の断絶を招く人。
事業・方策	争論が起きやすい運気のため、なるべく穩便に事を運ぶよう努めること。 落ち着きと寛大さを心掛けるべし。
住 居	一部に欠陥がある恐れあり。しっかりと点検し、欠陥を見つけたら修理すること。 環境が悪いと感じた場合は、移転するのが良い。
相 場	上限到達が近く、間もなく急落の兆しあり。退避の準備を整えておくこと。
旅 行	取り止めて無事。止むを得ない事情の場合は、旅先での障害に注意すること。
病 気	頭部に関連する怪我、痛み、病気など。精神的なものも含む。 病勢は激しく、急激に悪化する。

44. 天風姤(てんふうこう) 増大する陰

キーワード：新たな出会い、遭遇、契約、結婚、約束、思いがけず遇う、偶然、奇遇、意外の事態、突然の災い、衰運の始まり、女性はいい出会いがある、女性は寵愛を得る

天の下に風が吹いている形。風が吹き渡ると万物を揺さぶって、その生命力を奮い立たせ、万物の生育を促進する。姤には出逢うという意味があり、思ってもいなかった人に出逢ったり、予想もしていなかったことが、何の前触れもなくぐく自然にすっと入り込む。一陰は天風姤の主人公で、家屋の下に入り込み、終には家屋を我が物にしようとする。五陽の下にすっと入り込んだ一陰が微力を装って徐々にその影響力を上に及ぼしていく。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
			01: 乾為天	24: 地雷復	43: 沢天夬	01: 乾為天	33: 天山遯	06: 天水訟

卦 辞	姤は、女壯(さか)んなり。女を取(めとる)に用いる勿れ。	一人の不貞の女が多数の男に遇う卦。女として盛んであることを意味する。このような女を娶ってはならない。
初 九	金柅(きんじ)に繫ぐ。貞(ただ)しくして吉なり。往く攸(ところ)有れば、凶を見る。羸豕(るいし)、孚に蹢躅(きょく)たり。	金柅に繫がれ行動が制限されている。柔軟に対応し正しくあれば吉である。状況が十分でなく進むと危険がある。弱った猪にも注意深くためらう。
六 二	包(つと)に魚有り、咎无し。賓(ひん)に利ろしからず。	包に魚がある。咎なし。客には有益ではない。資源や幸運を内にとどめ、無理に他者に分ける必要はない。
六 三	臀(しり)に膚(はだえ)无(なし)し、其の行くこと次且(しょたり)、厲(あやう)けれども大いなる咎は无し。	尻に皮膚がない。弱点があるが段階的に慎重に行動する。危険はあるが大きな災いはない。
六 四	包(つと)に魚无(さかなな)し。起(た)てば凶なり。	包に魚がない。内に恵みがなく、恵みが欠けることで、民や人々との関係が疎遠になる。無理に行動すると災難に遭う。
六 五	杞(き)を以って瓜を包み、章(あや)を含めば、天より隕つること有り。	自分の才徳や美点を大切にし慎重に包み込むが、その行動や存在が注目されることで、天の撰理により予期せぬ出来事や警告(試練)が起こることがある。しかし、志は天命を捨てず正しく保つべきである。
上 九	其の角(つの)に姤(あ)う。吝なれども咎无し。	上爻にて頂点にいる強く活発な女と出会う危険がある。制御困難な状態に陥り恥や損失につながる可能性がある。窮地だが災いはない。

運 勢	運気衰退の兆し。思いがけない事態から次第に運が悪くなる。 特に女性問題には注意が必要。
願 望	急に事態が悪化するため、願望が叶うことはない。 女性問題は挫折のもととなる。
恋愛・関係	奇遇から生じた関係。 女性は、目上の男性から寵愛を受ける。男性にとっては、将来大きな損失を被るような恋愛となる。
結 婚	まとまらないことが吉。断つ方が無事となる。内縁関係のようなもの。 女性側の積極的な姿勢によって結ばれることがあるが、婚後は女性の不貞行為が生じやすい。
性 格	女性は、目上からの寵愛を受けやすい情熱的な人。 男性は、女性にもてあそばれて騙されやすい人。
事業・方策	予期せず発生した小さな問題から、迷いが生じて事態が悪化する。 女性問題に溺れると本業に支障を来たす。
住 居	改築、修理を考えるきっかけが起こる。あるいは移転に関しても、気にし始める時。 運気に任せて検討を進めるのが良い。
相 場	予期しない材料が生じて下降傾向となる。
旅 行	旅先で女難や盗難などの意外な障害に遇う恐れ。 可能であれば取り止めるのが良い。
病 気	下半身の冷えや痛み、脚・膝の麻痺、脱肛、痔など。 初めは軽症に見えるが、次第に悪化する。

45. 沢地萃(たくちすい) 人も物も集まる

キーワード：集まる、群衆、祭祀、集合、集会の力、団結の塊、組合の状態

地の上に水が集まって沢になる。萃は群生する草をいい、集まるという意味。また雨が降って大地に溜まっている象で、大地が潤沢であれば、人も物も心も集まる。季節は秋で、収穫が多く物も豊かで、人が集まって賑やかになる。天子が祭祀を行つて民衆が集まる象である。母が少女を支えて慈しみ、少女は母を慕い、親子の情が通じ合つているさまでもある。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变

卦 辞	萃は、亨る。王有廟(ゆうびょう)に假(いた)る。大人を見(み)るに利ろし。亨る。貞しきに利ろし。大牲(たいせい)を用いて吉なり。往く攸(ところ)有るに利ろし。	人や物が集まる時は順調である。王は先祖の廟に参拝して敬意を示す。集まったものを見極めるために徳のある人に会うと良い。正しい行いに従えば吉である。大きな生贋を用いて祭祀を行つても良い。積極的に事をとげて良い。
初 九	孚(有)あるも終らず。乃(すなわ)ち乱れ乃ち萃(あつ)まる。若(もし)號(さけ)べば一握(いちあく)して笑いを為さん。恤(うれ)うる勿(なか)れ。往(ゆ)けば咎(ことごとく)なし。	誠意を全うすることができない。取り乱したり、集うべきではない相手と集い、態度が定まらない。もし助けを求めて叫べば、助けが得られてたちまち笑えるようになる。心配せずに進めば問題はない。
六 二	引けば吉にして咎(ことごとく)なし。 孚あれば乃(すなわ)ち禡(やく)を用うるに利ろし。	お互に引き合つて集うのは吉であり、問題はない。 真心があれば簡素な祭祀を行つても良い。
六 三	萃如(すいじよ)たり、嗟如(さじよ)たり。利ろしき攸(ところ)なし。往(ゆ)けば咎(ことごとく)なれど小しく吝(にん)なり。	人と集まろうとしても叶わずに嘆き悲しむ。いいこともない。 近しい友人が力強い支援者に見えても、得る者はなく何も楽しめない。
九 四	大吉(だいきち)にして、咎(ことごとく)なし。	自分に大した才能や力量がなくても、良いめぐり合わせを掴むことができれば大吉を得ることができ、問題ない。
九 五	萃(あつ)めて位を有(たも)つ。咎(ことごとく)なし。 孚とせらることあらざるも、元永貞なれば、悔い亡ぶ。	人々を集めて統治する地位を保つ。信任されないことがあっても、他人を本気で思いやる善行を永久的に行うような正しい徳を積むよう心掛けることで悔いは消える。
上 九	齎咨(せいし)、涕洟(ていし)す。咎(ことごとく)なし。	上の地位で孤立して、嘆き悲しんで涙と鼻水を流す。 孤独を憂い、人が集まって来てくれるよう反省すれば、咎めはない。

運 勢	物や人が集まり、活気がある時。運気盛大のため、積極的に物事を行うのが良い。 ただし行動の際は、神仏に関する祭祀参加や参拝を欠かしてはならない。
願 望	人として正しい行いをしていれば、目上からの援助を得て願望叶う。 ただし、競争相手が多いので覚悟すること。
恋愛・関係	相手は悦び、こちらは柔順となるので、和合して悦びあり。 多角関係となる恐れもあるので、人間関係のトラブルには注意。
結 婚	互いに親和する良縁。 婚後の運勢も良い。家運・子運に恵まれて楽しい家庭となる。
性 格	人に愛され親しみやすい性格。 芸能人、実業家、政治家など、人を集め職業に向く人。
事業・方策	大衆向きの商売を積極的に行うことで吉。 人を差別することなく集めて交友を厚くすると良い。
住 居	近所との関係も良好で楽しい生活ができる住宅。 移転はしない方が良い。
相 場	人気が集まり一時的に騰勢となる。 ただ長くは続かず、そのあとでは安値となるため、大きな利益は望めない。
旅 行	団体旅行が吉。 神仏参拝を旅行に含めるとさらに良い。
病 気	胸部疾患、咳や痰、動悸、飲食物滞留など。 病勢は次第に悪化していく回復困難となる兆し。他の病との併発に注意。

46. 地風升(ちふうしょう) 昇り進む

キーワード：昇順、上昇、押し上げる、有機的成長、昇る、伸び上がる、進み昇る、コツコツ積み上げる、次第に上昇する

大地(坤)の中にある木(巽)がスクスクと成長して立派な樹木になる象。上へ上へと昇り進んでいくエネルギー。上昇気運となるため、積極的に物事を行うと良い。地中の養分や太陽の光などの育ててくれるものがあってこそ昇る。人で例えるなら、小人が大人の徳によって才能を発揮する場を与えられるような事である。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
			54: 雷沢帰妹	天雷无妄	沢地萃	11: 地天泰	15: 地山謙	07: 地水師

卦 辞	升(しよう)は、元(おお)いに亨る。用て大人を見る。 恤(うれ)うるなかれ。南征して吉。	大人物に用いられて願いが大いに叶う。 心配することはない。南へ進み、吉を得る。
初 九	允(まこと)に升(のぼ)る。大吉なり。	自分だけでは昇れないが、目上の人に従っていれば本当に昇ることができる。大吉である。
九 二	孚あつて乃(すなわ)ち論(やく)を用うるに利ろし。咎なし。	真心があれば、質素な祭祀でも良い。咎めはない。
九 三	虛邑(きょゆう)に升(のぼ)る。	無人の村を進む。(その良し悪しは?)
六 四	王用(もつ)て岐山(ぎざん)に享(きょう)す。 吉にして咎なし。	王や諸侯が山祭りを行うことで吉を招く。咎めはない。
六 五	貞吉(ていきつ)階(きざはし)に升(のぼ)るは、 大いに志しを得るなり。	正道を守ることができれば、吉を得ることができ、王座への階段を昇ることができる。昇進も容易い。
上 九	升(のぼ)るに冥(くら)し。不息(ふそく)の貞に利あり。	昇ることばかりに心が捉われて、目がぐらんでいる。 焦って上を目指しても得られるものはない。ただしその欲を捨て、正義を貫く姿勢に変えることができれば、ようやく利益が得られるだろう。

運 勢	上昇気運の時。我慢強く地道に努力することで、吉を招く。 力量ある目上の引き立てを得て、積極的に前進すると良い。
願 望	小さなことをコツコツと積み上げていけば、大きな成功を収めることができる。 途中で心変わりをしたり、功を焦ったりしてしまうと、挫折や失敗を招く。
恋愛・関係	少し意見が食い違うことがあるため、気を付けながら堅実に交流すれば吉。 優柔不断な態度は取らず、意思表示は明確にするのが良い。
結 婚	急にはまとめられないが、少しづつ障害を取り除きながら進めていけば調う。 婚後の生活は悪くないが、夫婦不和となることが多い。
性 格	コツコツ積み上げていく努力の人。普段は大人しいが、たまに激高する。
事業・方策	迷う心を捨てて、一つのことを少しづつ積み重ねていくのが良い。 すぐに成功することはないが、長期継続すれば必ず上昇傾向となる。
住 居	新築や増改築を推し進めて良い時。 現在の住居に不満があれば移転も可。
相 場	徐々に上昇傾向となる。 高望みせずに、継続的に保有することで利を得る。
旅 行	しっかりと事前に準備を行うことで、良い旅行となる。 急に決まったような旅行であれば、旅先での障害に注意。
病 気	胃腸の疾患、腹痛、嘔吐、下痢、腹部のしこり、腰痛など。 風邪などの日常的な病が原因となり、次第に悪化していく。

47. 沢水困(たくすいこん) 困難な道

キーワード：困窮する、苦しむ、困難、欠乏、忍耐、抑圧、忍耐、消耗、困難な状況、逆境、もつれ、枯渇、苦しむ、困惑、孤独、圧迫感、恐怖心、窮状

沢水困は、沢の水が溢れ出て干からびてしまった象。何も潤すことができずその役目を果たせず、周りの草木も枯れる。陰難の上に無力な少女が座って困窮している象である。「困」の字は中の「木」が囲われ封じ込められて、成長することができない。困難を耐え忍び正しく対処する事で、成長し囲いを破って出て来るように困難を脱して物事を成し遂げられる。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								
37: 風火家人	22: 山火賁	48: 水風井	58: 兌為沢	45: 沢地萃	28: 沢風大過	29: 坎為水	40: 雷水解	06: 天水訟

卦 辞	困(こん)は、亨る。貞し。大人は吉にして咎なし。 言ことあれど信ぜられず。	困窮して苦しみながらも正しい道を貫き通すような大人物であれば吉であり咎めはない。人徳を磨くことを怠り困難に陥て言い訳をしているのなら何を言っても信じてもらえない。
初 九	臀(いさらい)株木(しゅぼく)に困(くる)しむ。幽谷(ゆうこく)に入(はい)る。三歳、観ず。	木の切り株に座り尻を擦りむいて苦しむ。暗く奥深い谷に入り込んだように三年間は日の目を見ることはない。
六 二	酒食(しゅし)に困しむ。朱紱(しゅふつ)方(まさ)に来る。用て亨祀(きょうし)するに利あり。征(ゆ)けば凶。咎なし。	日々の生活にも事欠くほどに苦しむ。神仏を祀るように信じていれば王によって救われる。みだりに動いても凶運を招くだけだが、その行動自体を咎められることはない。
六 三	石に困(くる)しみ、蒺藜(しつり)に拋(よ)る。 その宮(きゅう)に入りて、その妻を見ず。凶なり。	石にはばまれて苦しみ、もたれようとしたものは棘だらけの草である。我が家に帰っても妻もおらず、凶である。
六 四	来ること徐々(じょじょ)たり。 金車(きんしゃ)に困しむ。吝なれど終りあり。	苦しむ仲間(初六)を助けに行こうとするが、遅れてしまう。金の車(九二)が邪魔をするからである。遅ることは恥すべきことであるが、最後には救い出すことを全うできる。
六 五	劓(はなぎ)られ剮(あした)たる。赤紱(せきふつ)に困しむ。乃(すなわ)ち徐(ようや)くにして説(よろこび)あり。用て祭祀するに利あり。	上のり間からは鼻を切られ、下のり間からは足を切られる。志が低い人間ばかりの環境で、高位を与えられても志が異なり苦しむ。時間をかけければ徐々に喜ばしい結果を得られるだろう。また、神仏を祀ることで福を招く。
上 九	葛(かつ)藟(るい)に艱ごとに困(くる)しむ。曰(いわ) く動けば悔(く)ゆと。悔ゆる有りて往けば吉。	葛のつるに絡みつかれ不安で動揺している。迂闊に動くと後悔することになるが、結果的に自戒して行動することになるので吉運を招き寄せる。

運 勢	支障や障害があるため進展は望めない。金銭は不足し、人間関係にも円滑さを欠く。 今は忍耐の時。耐え抜いた先に運気が上がる時機が来る。
願 望	今は何事も叶い難い。困窮する時のため進展を得られない。 しかし、自分の内に知恵を蓄え、他人と接する時には柔順さを心掛けて維持すれば、最後に願望は叶う。
恋愛・関係	出会いに恵まれない時。相手がいる場合は、お互いに苦労が絶えない。 ただ、この苦労を乗り越えることができれば、将来的には和合する
結 婚	縁談はまとまらない。結婚しても、何かと障害が発生して苦労が多い。 苦労は永遠に続くわけではないので、共に苦労を耐えられる相手であれば和合する。
性 格	金銭や人間関係に悩みが多い人。忍耐強い人。 内に誠実さと外に柔軟さを持つ人であれば、将来性に期待できる。
事業・方策	経営困難の時。資金面や人材面を工夫して、忍耐して切り抜ける覚悟が必要。 不足を当然と思い、信用を表に表すことができれば、将来に運気上昇の兆しあり。
住 居	水回りの設備が悪い。あるいは湿地に建てられている。 住環境が悪いため、移転するのが良い。
相 場	下降傾向となる。 底値となるのは近く、その後は次第に上昇する。
旅 行	旅先で水難事故が発生する。取り止めるべし。
病 気	食欲減退、精力減退、過労を原因とする症状、腎臓病など。慢性的に悩まされる病気や症状が多い。 軽い症状でも手当を怠れば持病化する。すでに重病の場合はさらに悪化する。

48. ䷯ 水風井(すいふうせい) 大きな重荷を背負う

キーワード：必要な分だけ得る、少ない量で満足する、過不足なし、生活、養い、扶養、井戸、潜在力の充実

水風井は井戸を表す。井戸で水を汲んでも、水が尽きることはない。水を汲まなくても、井戸から水が溢れることはない。上卦坎は「信=孚」であり、下卦巽は「入る」である。井(井戸)は静か(信=孚)で、「入る」という性質なので通ずる。「静か(信=孚)に入る」ように通じる人間関係を示す。基盤がしっかりとおり静かなので、安定し、疲れることがない社会である。君子は井の徳によって己を修めてから人を治めることで心と心が通じ合う人間社会を構築することができる。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								
38: 火沢睽	21: 火雷噬嗑	47: 沢水困	05: 水天需	39: 水山蹇	29: 坎為水	28: 沢風大過	46: 地風升	57: 巽為風

卦 辞	井は、邑を改めて井を改めず。喪うなく得るなし。 往くも来るも井々(せいせい)たり。汔(ほと)んど至らんとして、亦(また)いたまだ井を縕(つりいと)せず、その瓶(つるべ)を贏(やぶ)る。凶なり。	井戸のために村を移することがあっても村のために井戸を移すことはできない。失うことでも得ることもなく井戸の水は常に同じ。人々は往来して井戸を利用する。水に届きそうであっても、繩の長さが足りなければ瓶を壊してしまうため凶。
初 六	井(せい)泥(ひじりこ)にして食(くら)われず。旧井(きゅうせいい)禽(とり)たなし。	井戸の水がなくなってしまい、底にある泥水では飲めない。こんな古井戸には鳥さえもやって来ない。
九 二	井谷(せいごく)鲋(ふ)に射(そそ)ぐ。甕(もたい)敝(やぶ)れ漏る。	井戸の底に住むフナに水が注がれている。井戸を汲む瓶が壊れて水が漏れる。適切に用いられず、仲間もいない。
九 三	井渫(くよ)くして食(くら)われず、我が心の惻(いた)みを為す。用て汲(く)むべし。王明(めい)あらば、並びにの福を受けん。	井戸の水は澄んでいるが、飲んでもらえない。それと同様に、才能や力量ある者が適切に用いられない。それは心からの嘆きである。王に人を見る目があれば、王もその貧人もともに福を受けることができるだろう。
九 四	井(せい)鼈(おさ)まる。咎(とが)なし。	井戸の内壁を修繕する。咎めはない。 (修繕によって水が泥に汚染されるのを防ぐことができる)
九 五	井冽(いさぎ)よくして寒泉(かんせん)食(くら)わる。	井戸の水は綺麗で、冷たい地下水をたくさん飲むことができる。
上 九	井收(くみと)って幕(おお)うことなし。孚あれば元吉。	何の問題もなく井戸から水を汲み取り、汲み取っても蓋をしない。誠意があれば大いに吉を得る。

運 勢	現状に満足を感じ、維持しようとする姿勢が平安を招く。 挑戦などの新しいことは分不相応であり、上手く行かない。
願 望	小規模の願いは叶う。分不相応の大きな願望が叶わない。 多少は不足している方がちょうど良い。
恋愛・関係	地味に見えるかもしれないが、堅実に分相応な行動を取ること。 多くを望めば関係悪化の原因となる。刺激がなくても平穏な関係に満足することで喜びあり。
結 婚	地味だが平穏な生活を望むなら、まとめる良い縁談。自分の理想を相手に押し付けないよう気を付けること。 高望みは厳禁。婚後は可もなく不可もなく、平凡な家庭となる。
性 格	向上心がなく、縁の下の力持ちとなって目立たない人。生活のために忙しく働き、心に余裕がない人。 新しいことを行うには向かず、堅実さを心掛けると良い人。
事 業・方 策	事業継続に必要な分だけの利益を得ようとするのは良い。 事業拡大や新規事業に手を出すと失敗する。
住 居	移転は控えること。 生活維持に必要な改築や修理は良い。
相 場	安値圏内にあれば、少しづつ上昇していく。 逆に、それまで高騰していた場合は、本来あるべき価値に戻っていく。
旅 行	地味な小旅行なら大きな問題はない。 それ以外は取り止めるべし。特に水害には注意。
病 気	血行不順、気管支の疾患、腫物、神経衰弱など。 深刻な病気にはならないが、回復しても再発する恐れ。完治が難しい。

49. 沢火革(たくかかく) 革命を起こす

キーワード：苦しみ、悩み、陥る、下る、衰運、
信念、誠実、変革、改革、革命、一新、古いもの
のを捨てる

火が燃えれば水を乾かし、水が溢れれば火を消す。上卦澤で、下卦は火と云う相反する関係にあるが、上卦の水と下卦の火の間に金である互体乾が在り、水と火を分断する。火は土を生じて水に剋(こく)されるので水は喜ぶのである。水と火が接近するだけでは、火が消えて変革は成立しないが、間に金があることで水は金に生かされて変革が成立するのである。離の夏から兌の秋に至る象でもあり、秋は食物が成熟する時だから、変易という意味がある。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
44: 天風姤	04: 山水蒙	50: 火風鼎	31: 沢山咸	43: 沢天夬	17: 沢雷隨	3: 水火既濟	55: 雷火豐	13: 天火同人

卦 辞	革(かく)は、己日(きじつ)にして乃(すなわ)ち孚あり。 元いに亨る貞しきに利あり。悔亡(ほろ)ぶ。	変革というのは変わるべき日が訪れて初めて、人々から信用を得られるものだ。 動機が正しく人々に利をもたらすなら、 変革は極めて順調に行われる。悔いもない。
初 六	鞏(かた)むるに黄牛(こうぎゅう)の 革(つくりかわ)を用てす。	黄色い牛の革で身を固める。 中庸と従順の徳をもって身を固めるのが良い。
九 二	己日(きじつ)にして乃(すなわ)ちこれを革(あらた)む。 征(ゆ)きて吉、咎なし。	変わるべき日が訪れてから初めて、変革するのが良い。 前進して吉を招き、咎めもない。
六 三	征(ゆ)けば凶。貞しけれども厲(あやう)し。 革(かく)の言(こと)三たび就(な)りて、孚あり。	前進すれば凶。正しいことを行っていても危うい。 人々から度々改革を求める声が上がるようになれば変革は成功するだろう。
六 四	悔亡(ほろ)ぶ。孚ありて命を改むれば、吉。	革命者にふさわしい人物であれば、変革を行っても後悔することはない。 ただし、先に人々から信用を得ることが重要である。 その後に革命することで吉を得る。
九 五	大人虎のごとく変ず。いまだ占わずして孚あり。	時が経つと虎の毛皮が美しく変化するように、大人物は自己を改革して、天下を革命させる。占う前から人々に信用されている人物であることが条件である。
上 六	君子は豹のごとく変ず。小人は面を革(あらた)む。 征(ゆ)けば凶、居(お)れば貞しくして吉。	時が経つと豹の毛皮も美しく変化する。革命が完成すれば君子は新しい文化を作れる。庶民は顔つきを改めて君子に従いその変化を受け入れるのが良い。積極的に行動すれば凶。じつとしていることが正しく吉である。

運 勢	今までの姿勢や態度を改正して、方向転換が必要な時。古い習慣を捨てて、新しいことに挑戦するのが良い。 人間関係、金銭、書類など、変わることで問題が起るようなことには慎重に変更を行うべし。
願 望	新しい願望に改めると叶う。 古い願望を持ち続けているなら、たとえ努力をしても叶わない。
恋愛・関係	離別、食い違い、争いごとが起きやすい時。 今までの態度を改めて、自分の振る舞いを慎むと良い。
結 婚	お互いに望みが合わず、凶である。取り止めすることが逆に幸福につながる。 仮に結婚したとしても、健康や経済に問題があって苦労が絶えない。
性 格	革新的な人。斬新なアイデアを生み出すことができる。 移り気な性格のため、熱しやすく冷めやすい人。
事業・方策	古いものを改めるべき時。方針や設備など、新しいものに変えるための好機。 新規事業に着手するのも吉。
住 居	改築すると吉。また、移転するのも良い。
相 場	安値圏内にあれば、一変して高騰していく。 逆に、それまで高騰していた場合は、急に下落するため警戒すること。これまでの方針を一新すると良い。
旅 行	これまでに行ったことのない新しい旅先を選ぶのが良い。 ただし、日時や行先の変更が起きやすい。
病 気	口腔内の疾患、胸部の疾患、貧血など。 病状が変わる時。多くの場合は悪化する傾向にある。

50. 火風鼎(かふうてい) 正しいものにつく

キーワード：熟する、成熟、内面を新しくする、新しいものを得る、大釜、船、人の完全な変容、状況の完全な変容、安定、三者協力

鼎(かなえ)は古代中国で使われた三本足の釜。下卦の木を上卦の火の中に入れて食物を煮炊きする。生ものや硬いものを鼎で煮ると、美味しく柔らかいものに変わる。物事は徐々に熟成されて良くなるので、焦る必要はない、機が熟すのを待つのが良い。沢火革の変革で真っ白になった社会を火風鼎の器に入れ、新しい社会制度を構築する。鼎の中に残った調理のできない古い食材を捨て、新しい食材で料理を作り、提供された人々は大いに喜ぶ。故に「鼎は元いに亨る」と言う。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								
43: 沢天夬	03: 水雷屯	49: 沢火革	14: 火天大有	56: 火山旅	64: 火水未済	18: 山風蠱	44: 天風姤	32: 雷風恒

卦 辞	鼎(てい)は、元いに亨る。	鼎(てい)において、願い事は大いに叶う。
初 九	鼎趾(あし)を顛(さか)しまにす。否を出だすに利あり。妾(しょう)を得てその子に以(およ)ぶ。咎なし。	鼎の足が逆さまになる。鼎がひっくり返ることで悪いものを中から出すことができる。妾は嬉しい存在だが、妾によって世継ぎとなる子を得る。咎めはない。
六 二	鼎に実(じつ)あり。我が仇(あだ)疾(やまい)あり、我に即(つ)く能(あた)わず。吉なり。	鼎に中身が充実している。自分を病に染まらせようとする者がいるが、自分に取りつくことはできない。吉である。
九 三	鼎の耳革(あらた)まる。その行(みち)塞(ふさ)がる。雉(きじ)の膏(あぶら)あれども食(くら)われず。方(まさ)に雨ふらんとして悔いを虧(か)く。終に吉。	鼎の取っ手が取れてしまい、鼎を動かすことができない。最も美味しい雉の脂身を食べることができない。しかし正しい態度を維持していれば、雨が降って物事が親和する。そうすれば後悔をすることもなく、最後には吉を得るだろう。
九 四	鼎足を折る。公の餗(こながき)を覆(こぼ)す。その形渥(あく)たり。凶。	鼎の足が折れて、中に入っている御馳走がひっくり返ってこぼれてしまう。鼎自身もびしょ濡れになる。凶である。
六 五	鼎黄耳(こうじ)あり金鉢(きんげん)あり。貞しきに利あり。	鼎の耳に金輪が通される。正道を守ることで利がある。
上 九	鼎玉鉢(ぎょくげん)あり。大吉。利あらざるなし。	鼎に宝石で作った輪が通っている。大吉である。何事においても利がある。

運 勢	内面を新しくする時。 新しく始めたことが既にあるなら、それを成熟させるべし。焦らずにゆっくり変えていくのが良い。
願 望	今は未熟だが、時間を掛けて成熟させることで叶う。 物事を進める場合は、慎重に検討すること。また、一人で進めるより三人で進める方が良い。
恋愛・関係	安定しているように見えるが内面に問題を抱えており、心変わりがある時。第三者が介入して関係が崩壊しやすい。 お互いにじっくりと話し合って調和を図ること。
結 婚	急にはまとまらないが、徐々に調和して吉。 婚後は経済的にも恵まれて楽しい生活ができる。ただし、異性問題の発生に注意。
性 格	柔軟で人に従つて行動する性格。 ゆっくりだが着実に物事を変えられる人。調理が得意な人。
事業・方策	社内整備を進める好機。 労働環境の改善や人材の登用を行うと効果的。三人で共同事業を始めるのも良い。
住 居	改装や改築など、内部を改善するのが良い。移転は凶。
相 場	上下しながらも高値圏で安定する。 内在していた好材料が表面化すると更に上昇する。
旅 行	心身ともに一新できる良い旅行となる。念入りに計画を立てると良い。
病 気	目の感染症、伝染性熱病、心臓・胸部の疾患など。病勢は徐々に悪化していく。

51. 震為雷(しんいらい) 衝撃と覚醒

キーワード：動く、進む、働く、震動、雷鳴、努力、勉強、長男、ショック、地震、雷、火事、オヤジ、衝撃、恐怖、有事、戒め、省みる、修める、覚醒

上卦と下卦共に震雷で六十四卦の中で一番勢いがある。震雷は動く性質を有して、万物の生育を鼓舞して支援する。雷が轟き渡れば天下の万物が震えて動く。震は動き、働き、勉める。その勢いは力強く、振り子のような威力がある。雷は春に発生して、夏には激しくなる。秋には勢いが衰え、冬になると大地の下に潜み、春には雷が発生して草木が萌芽する。よって震を木の形とする。天下のあらゆる事業は動くことによって成り立っている。よって「震は亨る」と言う。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								
39: 水山蹇	57: 巽為風	52: 艮為山	16: 雷地豫	54: 雷沢歸妹	55: 雷火豐	24: 地雷復	17: 沢雷噬嗑	21: 火雷噬嗑

卦 辞	震は、享る。震の来るとき唬々(げきげき)たり。笑言啞々(しようげんあくあく)たり。震は百里を驚かす。ヒ鬯(ひちょう)を喪(うしな)わず。	震において、願い事は叶う。地震が来た瞬間は、人は恐れて周りを見回し、過ぎれば笑い声が起るくらい平穏になるだろう。雷は百里離れていても人を驚かすが、神を祭る人は雷を恐れない。祭りに使う匙と酒を損なうこともないだろう。
初 六	震(しん)の来(きた)るときに唬々(げきげき)たり。後に笑言(しようげん)啞々(あくあく)たり。吉。	地震が来た瞬間は、人は恐れて周りを見回す。それが過ぎれば笑い声が起るくらい平穏になるだろう。吉である。
六 二	震来る厲(あやう)し。億(おお)いに貞(たから)を喪(うしなつ)つて、九陵(きゅうりょう)に躋(のぼ)る。逐(お)うなされ七日にして得ん。	地震が起こつて危険である。資産を大いに失い、高い丘に登つて避難しなければいけないほどである。しかし失った資産を追わなくとも、七日経てば戻つて来るだろう。
九 三	震(ふる)いて蘇々(そそ)たり。 震いて行くときは眚(わざわい)なし。	地震が起こつて、恐怖のあまり立ち尽くしてしまう。前進するなら、過ちを犯さないよう気をつけなければ災いはないだろう。
九 四	震(ふる)いて遂(つい)に泥(なず)む。	身を奮い立たせようとするが、最後には泥の中に落ちてしまう。
九 五	震(ふる)いて往くも來(きた)るも厲(あやう)し。 億(おお)いに有事を喪うことなし。	地震が起こつて、どこに行つても危険である。しかし中庸を維持していれば、大きな損失を被ることはないだろう。
上 六	震(ふる)いて索々(さくさく)たり。視ること累々(かくかく)たり。征けば凶。 震ことその躬(み)に于(おい)てせず、その鄰(となり)に于(おい)てするときは、咎(とが)なし。婚媾(こんこう)言(ものい)うあり。	地震が起こつて、気力を失い元気がなくなる。落ち着かずあたりを見まわす。進もうすると凶である。自分の身に被害が及ぶ前に、隣の被害を自分のものと捉えて、事前に準備をすることでできれば咎めはない。縁談には反対される。

運 勢	運気が急変する兆しがあり、気持ちが落ち着かない時。しかし現時点では、幸運も凶運も実態を感じられるほどではない。準備を怠つて、反射的に動き出してしまうと損をする。
願 望	願望成就に向けて動きはあるが、まだ叶う時ではない。成就に近づくには努力を重ねることが必要。
恋愛・関係	積極的な気持ちが生じる時だが、そのまま進むと争いごとが起こる。急がずに落ち着いて、お互いを配慮する気持ちを得てから進むのが良い。そうすれば良い関係が続く。
結 婚	まとめるのが難しく、不安定な縁談。たとえまとめることができても、婚後も不安定な生活となる。
性 格	活発で行動力がある。運動神経が良い人。性急で思慮不足な人。騒がしい人。
事業・方策	勢いが生まれて、複数の事業に着手したくなる時。ただし、行動力が伴わず上手く行かない。一つの事業に打ち込むのが良い。必ず栄える。
住 居	現状の住まいでは落ち着かない。移転するのが良い。
相 場	上下の変化が激しい時。突然に高値圏まで上昇したり、あるいは逆に暴落したりすることもある。
旅 行	準備不足により障害が多い。交通事故に注意。
病 気	発狂、ヒステリー、肝臓の疾患、足の疾患、外傷など。病状は変動することが多いが、見た目ほどは悪くならない。

52. ䷷ 艮為山(ごんいざん) 動きを止める

キーワード：静寂、瞑想、静止、立ち止まる、止める、止められる、内側の声と接続、静けさの感覚、立場、社会生活から離れる、ストップ、停止、休息、曲がり角、継承、方向転換の契機、我が道を行く

二つの山が対峙している姿であり、互いに見つめ合うだけで、近付くことも遠ざかるかもしれない。小人の上に君子が止まって国を治めている象。目先の出来事に右往左往しがちな小人と比べ、君子は他人の意見に左右されず、山のように揺るがない。各爻はいずれも応じる関係ではなく、表面的には親しんでも内心から親しんではない時である。自分の思いや望みを棄てて達観することを目指すしかない。何事にも動じないように修行する必要がある。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
40: 雷水解	58: 兑為沢	51: 震為雷	22: 山火賁	18: 山風蠱	23: 山地剥	56: 火山旅	53: 風山漸	15: 地山謙

卦 辞	その背に艮(とど)まりて、その身を獲(え)ず。その庭に行きて、その人を見ず。咎なし。	背は身体のなかで最も動かない箇所であり、止まるべくして止まっている。そのため、身体があっても無いのと同じである。外の庭に行つても人の目が気になることはない。こうして心が止まるべきところに止まつていれば、咎めはない。
初 六	其(そ)の趾(あし)に艮(とど)まる。咎なし。永貞に利あり。	足が動く時に最初に動くはずの趾が止まっている。動きがないため咎めもない。ただし、永く正道を守るよう心掛けのこと。
九 二	其(そ)の腓(こむら)に艮(とど)まる。拯(すぐ)わすして其(そ)れ隨(したが)う。其の心、快(かい)ならず。	ふくらはぎが止まっている。上有る腰を救いたいのだが、力不足のためやむを得ず悪い腰の言うことに従っている。そのため、心は不快となる。
九 三	其(そ)の限(こし)に艮(とど)まる。其(そ)の夤(せじし)を列(さ)く。厲(あやう)きこと心を薰(ふす)ぶ。	腰が止まっている。動くべきものが動かないことで、背筋は引き裂かれるようだ。動かない頑固さにより上下左右の人たちに憎まれ、そうなると心が火で焼かれているように感じるくらい危険である
九 四	其(そ)の身(み)に艮(とど)まる。咎(とが)なし。	胴が止まっている。足や腰と違い、胴は止まるべくして止まっている。咎めはない。
六 五	其(そ)の輔(つら)に艮(とど)まる。言序(ことついで)あり。悔(くい)亡(はろ)ぶ。	口が止まっている。しかし、発言するときは秩序がある。秩序があれば心配された悔いも事前に消える。
上 九	艮(とど)まるに敦(あつ)し。吉なり。	最後に優れた止まり方をする。吉である。

運 勢	運気が停滞し、何事も順調に進めることはできない。 無理に進むのは良くない。止まることが良いこととなる時。
願 望	トラブルが多く、思い通りに進むことができない。 願望は叶え難い。
恋愛・関係	消極的な姿勢により孤立しがちな時。 閉鎖的なため、人と親和することができない。
結 婚	何かと支障が生じて、縁談はまとまらない。 婚後は、お互いが自分の言い分を譲らないため、不和になりがち。
性 格	保守的で頑固な人。口数は少ないが、愚直で真面目。 努力はしているものの、なかなか利益を得られない人。
事業・方策	最も信頼のおける事業に集中すること。新規事業や拡大計画は上手く進まない。
住 居	階層を増やして、上に増築するのが良い。 移転は思いとどまるのが無難。
相 場	高値圏で動きが止まる。利益は少ない。
旅 行	旅先で、トラブルや怪我が起きやすい。見合せるのが良い。
病 気	脳内出血、背中の痛み、脊髄の病気、腰痛、打撲など。 病勢に変化はないが、病がとどまって持病となりやすい。

53. 風山漸(ふうざんぜん) 順序を踏んで進む

キーワード：徐々に前進、順序正しく進む、結婚、漸進的進歩、慣習改善、浸潤、段階的開発、前進、成長、ゆっくりとした成熟、正しい順序、一步一步、千里の道も一步から、手順を踏む

翼の木が、艮の山の上で、段々と成長し茂っていく卦です。木を急に伸ばそうとしても伸びないように、物事には正しい手順があることを説く。社会の中で漸次に昇進していく姿は、女性がお嫁に行き新しい家庭を築く様子に似ているため、それに例えられている。女性がお嫁に行けば、少しずつ相手の家庭に溶け込んでいく。社会においても家庭においても、漸次に進めていくことが肝要で、拙速過ぎれば節度を欠き、大義を忘れ、問題を起こし、凶運を招き寄せる。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								
64: 火水未済	54: 雷沢帰妹	54: 雷沢帰妹	37: 風火家人	57: 翼為風	20: 風地觀	33: 天山遯	52: 艮為山	39: 水山蹇

卦 辞	漸は、女(じょ)帰(とつ)ぐに吉。貞(ただ)しきに利あり。	漸では、女性は嫁ぐと吉。ただし、正しい道を守り続けて初めて利益を得られる。
初 六	鴻(こう)干(みぎわ)に漸(すす)む。小子(しょうし)厲(あやう)し。言(ものい)うことあれど、咎なし。	水鳥が水際に進む。子どもであれば危険である。しかし、進むことに躊躇していれば周りから文句を言われることがあるが、咎めはない。
六 二	鴻(こう)磐(いわ)に漸(すす)む。 飲食衎々(かんかん)たり。吉。	水鳥が大岩まで進む。その岩は固く平らなので安定している。楽しく飲食ができるため吉である。
九 三	鴻(こう)陸(くが)に漸(すす)む。夫征(ゆ)きて復(かえ)らず。婦(つま)孕(よ)んで育(やしな)われず。凶。寇(あだ)を禦(ふせ)ぐに利あり。	水鳥が陸地まで進む。夫は家を出たあと帰って来ない。 妻は妊娠してもその子どもは育たない。凶である。 ただし、外敵の侵攻に対しては砦を作つて守ることで防げる。
九 四	鴻(こう)木に漸(すす)む。或(ある)いは 其の桷(たるき)を得(う)。咎(とが)なし。	水鳥が木まで進む。木の上では不安定だが、平らな木材の上では安定を得る。咎めはない。
九 五	鴻(こう)陵(おか)に漸(すす)む。婦(つま) 三歳まで孕(はら)まず。終にこれに勝つことなし。吉なり。	水鳥が高い丘に進む。いろいろな支障があり、妻は三年間妊娠することができないが、最後には支障に打ち勝ち、吉を得る。
上 九	鴻(こう)達(き)に漸(すす)む。 その羽用(もつ)て儀(ぎ)となすべし。吉。	水鳥が雲路に進む。鳥は空に羽ばたき帰つて来ないが、落とした羽を儀式の飾りに用いる。吉である。

運 勢	徐々に運気は向上していく。 ただし、軽率な行動をしたり、急いでいると運気は下降するため注意。順を追つて進むようにすること。
願 望	順序を追つて確実に進めることで、願望は叶う。焦らずにコツコツ努力するのが良い。
恋愛・関係	相手側はこちらに好意を寄せているが、こちら側が背を向けている。 相手を受け入れる気持ちがあれば、相手に応じた方が良い。
結 婚	相手側より望まれている。こちらが進んで求めれば吉。 ただし、急いで縁談をまとめようとすると意見の食い違いが起こる。
性 格	おとなしく従順な性格だが、内面は頑固。 現在は下積みの期間だが、将来性がある。
事業・方策	性急に進めるのではなく、焦らずじっくりと進めれば徐々に栄える。 また、他人より相談を持ち掛けられたら、進んで応じて協力すると吉。
住 居	現時点で問題はない。気になる部分は改築するのが良い。 移転をしたい場合は、焦らずに好機を待つこと。
相 場	将来成長の期待が持てる。徐々に高値に向かっていく。 ただし、性急短慮は損失のもととなるため注意。
旅 行	急ぐことなく余裕を持つよう計画すると良い。 楽しい旅となる。
病 気	頭痛、めまい、胃腸機能の低下など。 風邪が原因となって、次第に悪化する症状が多い。症状が軽いからといって油断しないこと。

54. 雷沢帰妹(らいいたくまい) 不適切な進歩

キーワード：嫁ぐ、乙女の結婚のイメージ、不適切な進歩、慎重な愛情、不正な情事、道ならぬ恋、副妻、妾、愛人、男には凶、女には吉、手違い、思惑違い、契約違反、一方的行動、小手先のテクニック

沢の上に雷がある形。兎の少女が震の長男を慕って、まだ婚約もしていないのにお嫁に行くとする象。「妹」は「曖昧」の「昧」であり、妹が帰るところは「昧(くら)い」と云うことである。長女はお嫁入りの声がかかるのを待っているのに対し、妹はお嫁に行くタイミングではないのに、長男(年配の男)の動きに悦んで付いて行く。はしたなく常識がなく、婚姻の正しい形ではないから正式にお嫁には行けない。喜悦して動く人は、色欲と物欲を貪る人であり、凶運を招き寄せる。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
			40: 雷水解	51: 震為雷	34: 雷天大壯	19: 地沢臨	58: 兌為沢	38: 火沢睽

卦 辞	帰妹(きまい)は、征(ゆ)けば凶。利するところなし。	帰妹では、進めば凶。何の利益もない。
初 九	帰妹(きまい)娣(てい)を以てす。跛(あしなえ)にして履(ふ)む。征(ゆ)くときは吉なり。	姉の嫁ぎ先に、自分も付き添いとして嫁ぐ。足が不自由なのに踏もうとするようなもので、遠くまでは行けない。ただし、前進する分には吉である。
九 二	眇(すがめ)にして視(み)る。幽人(ゆうじん)の貞に利あり。	片目なのに見ようとしても、物事がよく見えないのは当然である。隠者として自分の正義を守り通すのが良い。
九 三	帰妹(きまい)以て須(ま)つ。 反(かえ)り帰りて娣(てい)を以てす。	嫁ごうとしても長く待たなければならない。実家に戻って、誰かの付き添いとして嫁ぐのであれば可能だろう。
九 四	帰妹(きまい)期を愆(すご)す。遅く帰(とつ)ぐに時あらん。	嫁ごうとしていたが適齢期を過ぎてしまった。しかし、嫁ぐのが遅くなつてもいいなら必ず嫁げるだろう。
六 五	帝乙(ていいつ)妹を帰(とつ)がしむ。其(そ)の君の袂(そ)では、 其(そ)の娣(てい)の袂(そ)での良きに如(しかず)。 月、望(もち)に幾(ちか)し。吉なり。	天子が末娘を下の有力者に嫁がせる。この娘の着物の袖は、付き添いで嫁ぐような女性の着物ほど美しくない。着物は地味だが、満月に近い月が明るく光るように、この娘が輝く時は近い。吉である。
上 六	女(じよ)筐(かたみ)を承(ささ)ぐるに実(み)なし。士(し)羊を剗(さ)ぐに血なし。利するところなし。	女性が嫁ぐ時に持参する手箱には中身がない。夫となる男性が婚礼の儀式のために羊を剗くと、不吉にも血が出ない。何の利益もない。

運 勢	軽率に行動することで、手違いや間違いが生じる時。色情や欲望が仇となって凶運を招く。 目の前の喜びに囚われずに、末路を考えること。
願 望	願望は叶い難い。 思い通りにならず、無理に進めようとして失敗する。
恋愛・関係	色情などによって一時的に結ばれるが、不釣り合いな関係。 お互いに誠実さをもって付き合わなければ、争いごとやトラブルが多く生じる。
結 婚	急げば凶。まとまらない方が良い場合が多い。正式な結婚ではなく、同棲や内縁関係となりがち。 成立させたい場合は、お互い十分に話し尽くすこと。
性 格	内面は柔軟で平凡な人。ただし、性急短慮などころがある。 欲望に忠実な人。女性は愛嬌がある。
事業・方策	遅くなろうとも時間を掛ける方が良い。 焦らずに、相手に対して自分の誠意を示すこと。
住 居	二軒目以降の別宅であれば問題ない。また、しっかりと考えた上で行う増改築は良い。 移転は見送るべし。
相 場	波乱が多く、思い通りに動かない。 少々の損害は覚悟するくらい慎重になるのが良い。
旅 行	延期するのが良い。旅先で事故や女性関係のトラブルが起きやすい。
病 気	精神病、外傷、性病など。色情や男女トラブルが原因のものが多い。 思い通りに治すことはできず、長期化する。

55. 雷火豊(らいかほう) 豊かさが極まる

キーワード：盛大、豊か、盛衰、現状維持に努力する、油断大敵、飽和、豊富、意識の拡大、盛大、意識の拡がり、繁栄の象徴、満ち足りる、偉大、充実感

雷が鳴り響いて、閃光が大地を照らし、轟き渡り、影響力は遠くに及ぶ。また東の方角（震）から太陽（離）が昇ろうとする象である。太陽はグングンと勢いよく昇る様を豊という。山の上まで田畠を開拓して五穀を収穫すると云う意味であり、これ以上なく満足でき、世運隆盛で、神仏に感謝する時。離の知恵と、震の俊敏な動きを合わせることで、物事を成し遂げる。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变			
			28: 沢風大過	59: 風水渙	56: 火山旅	62: 雷山小過	34: 雷天大壯	51: 震為雷	36: 地火明夷	49: 沢火革	30: 離為火

卦 辞	豊は、亨(とお)る。王これに仮(いた)る。憂うるなけれ、日中に宜(よろ)し。	豊では、願いが叶う。最も豊かで盛大な状態には、王者のみが到達することができる。難しいことはあるが、太陽が中天で輝き続けるような状態を維持できるのであれば、心配することはない。
初 六	其(そ)の配主(はいしゆ)に遇(あ)う。旬(じゅん)といえども咎(とが)なし。往けば尚(たつと)ぶことあり。	自分の配偶となる主人に会う。会う日数が 10 日を超えて咎めはない。なぜならその主人のところに行けば大切にされるからである。
六 二	其の蔀(しとみ)を豊(おお)いにす。日中に斗(と)を見る。往けば疑疾(ぎしつ)を得ん。孚(ふ)りて發若(はつじやく)たれば、吉(よし)なり。	日よけのすだれを大きくする。日中に北斗七星が見えるほどに暗くなる。この暗い中で、進んで人に会おうとするなら疑われ憎まれるだろう。しかし、誠意を尽くして相手の心を開くことができれば吉である。
六 三	其の沛(はい)を豊(おお)いにす。日中に沫(まい)を見る。其の右の肱(ひじ)を折る。咎(とが)なし。	長い幕をさらに大きくする。日中に小さい星が見えるほどに暗くなる。大事な右ひじが折れたようなもので、自分の力を発揮できない。しかし、この暗い中で努力をしたのだから、咎めはない。
九 四	其の蔀(しとみ)を豊(おお)いにす。日中に斗(と)を見る。其の夷主(いしゆ)に遇(あ)えば、吉(よし)なり。	日よけのすだれを大きくする。日中に北斗七星が見えるほどに暗くなる。自分と同等の徳を持つ主人に会い、協力することで吉を得る。
六 五	章(しょう)を來(きた)せば、慶誉(けいよ)あって、吉(よし)なり。	美德を持つ下位の賢人を自分のところに招くことができれば、慶福と名誉によって吉を得る。
上 九	其の屋(おく)を豊(おお)いにす。其の家を蔀(しとみ)す。其の戸(戸)を開(うかが)うに、闇(げき)として其れなし。三歳まで覗(み)ず。凶(ゆう)。	屋根を大きくする。その家の日よけのすだれを使ってさらに覆う。扉から中を窺うと、静まって人の気配を感じられない。三年経っても家の中から出てこない。人に会うことなく孤立している。凶である。

運 勢	運気盛大な時。しかし、今がその頂上であるため、次第に運気は下降していく。謙遜・僕約の姿勢を保つて、現状を維持することに努めること。そうすればいずれ来る衰運に対応することができる。
願 望	誠実さを保ち、知恵と行動力を駆使すれば叶う。油断や邪心は失敗のもと。
恋愛・関係	熱し過ぎないよう注意すること。熱中することで、相手が現実より良く見えたり、金銭不足に陥ったりしてしまう。今が絶頂期であり、この先不和となる可能性あり。
結 婚	恵まれた縁談のように見えるが、お互いに疑惑や隠し事あり、調和に時間が掛かる。衰運のきっかけとなるような喧嘩やトラブルに注意すること。
性 格	才知あって行動力もある。見栄張りで浪費癖のある人。豊かな家に育つて傲慢な人。
事業・方策	大きな利益を追うことを止めて、現状維持に努めるべし。事業拡大や新規事業は控えること。
住 居	必要に応じて、改装や改築するのは良い。移転は見送るべし。
相 場	勢いよく高騰するが、間もなく最高値となつたあと大きく下落する。注意を怠らないようにすること。
旅 行	しっかりと計画を立てた上で旅行するのが良い。思いつきで旅に出ると凶。旅先での争いごとや浪費に注意すること。
病 気	目の疾患、大熱、心臓・血の諸病、精神異常、神経系統の疾患など。突然的に悪化するなど急変あり。危険が伴う。

56. 火山旅(かざんりょ) 異邦を旅する

キーワード：放浪者、さまよう、探索、見聞を広める、旅行、見知らぬ人、旅行者、トラベル、旅人、危険、心細い、親しみ薄い、不安定、家を失う、移転、旅に出る、見知らぬ土地、失意、孤独、気苦労

火山旅は、旅人が山の上で火を焚いて野宿している様子とも山火事とも言う。旅人の寝床は毎晩定まらず、その火も移っていく。落ち着かず、不安や寂しさを象徴する卦。安定しないため大きな事を成し遂げることは難しい。また、下卦艮は篤実に人に接しても、上卦離は明智の知恵で対応して情実では応えてくれないため情のある人間関係が成立しない。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变			
			28: 沢風大過	60: 水沢節	55: 雷火豊	30: 離為火	50: 火風鼎	35: 火地晉	52: 艮為山	33: 天山遯	62: 雷山小過

卦 辞	旅(りよ)は、小(すこ)し亨(とお)る。 旅の貞(てい)あれば吉なり。	旅では、小さい願いは叶う。旅に出たからといって騒いだりはしゃいだりせず、謙虚に正道を守る姿勢を心掛ければ吉となる。
初 九	旅(りよ)のとき瑣々(ささ)たり。 斯(この)れその災いを取るところなり。	旅をしている時は気持ちにゆとりがなくなることがある。身分の低い小人物が旅に出れば、一層けち臭くなる。そのことが更なる災難を招くのである。
六 二	旅(りよ)のとき次(やどり)に即(つ)く。其(そ)の資(たから)を懷(いだ)く。童僕(どうぱく)の貞を得たり。	旅をしている時に最も心安らぐのは、宿に着いた時である。 最も心が豊かになるのは、十分な資金が懷にある場合である。 最も心に余裕が生まれるのは、忠実なしもへを得た時である。
九 三	喪(うしな)う。貞しけれど厲(あやう)し。	旅をしている時に泊まった宿が火事になってしまう。連れていたしもべにも逃げられてしまう。たとえ旅の目的が正しくても、この度は危険である。
六 四	旅(りよ)のとき于(ここ)に処(お)る。其(そ)の資斧(しふ)を得たり。我が心、快(こころよ)からず。	旅をしている時に、落ち着く場所と野営に必要な良い斧を得る。しかしそれでも居心地は悪く、愉快には感じない。
六 五	雉(きじ)を射て一矢(いっし)亡(うしな)ふ。 終に以て誉命(よめい)あり。	キジを射ようとするも、最初の矢は外れて失くしてしまう。しかし最後にはキジを射止めて名誉と爵位を得るだろう。
上 六	鳥その巣を焚(や)く。旅人(りょじん)先には笑い後には号(さけ)び咲(よば)う。牛を易に喪(うしな)う。凶なり。	高い所から人を見下すような鳥はその巣を焼かれる。旅人も謙虚さがなければ、笑っていられるのは初めのうちだけで、後には自分の居場所を失い泣きわめくことになる。牽いていた牛を国境で失ってしまう。凶である。

運 勢	運気が安定せず、落ち着くことが難しい時。安らげる場所をなかなか見つけられず、不安や心配を感じる。 焦っても仕方がないので、慎重に行動し、謙虚に振舞う姿勢が吉を招く。
願 望	小さな願いは叶う。 謙虚な精神と知恵ある行動を心掛ければ、確実に叶えられる。
恋愛・関係	お互いに相手への信頼や誠実さが足らず、不安により別れる。 心変わりしやすい時。
結 婚	偶然による出会いなどがきっかけとなるような縁談。 安定した関係が築けず、たとえ成立しても長く保つことができない。ゆくゆくは離別する。
性 格	人との交流を好まない単独行動型。 一つの場所にじっとしていられない人。外出、旅行が好きな人。
事業・方策	人間関係の円滑さを欠き、統制を取るのが難しい。 親交を厚くし、結束を強めること。
住 居	落ち着くことができない住居。外観を改めるのは良い。 移転の気運が高まるが、移転をしても安定はできない。
相 場	上昇の兆しが見ても、なかなか動かない。 動き出しても小刻みに上下するのみで冴えない。
旅 行	旅行は運気が上がるで良い。 気持ちが安らぐような旅行は特に吉。
病 気	躁鬱病、熱病、肩や腰などの関節痛など。浮き沈みするような症状のもの。 初めは軽症であっても、次第に重くなる。小康状態となつた場合は油断しないこと。

57. 翼為風(そんいふう) 浸透する

キーワード：従う、伏する、侵入する、迷う、命令、号令、伝達、浸透、へりくだる、陰がとおる、温和、どちらどころがない、決断力が乏しい、ふわふわしている、入る、指導者の教えを受ける、リラックス

上卦・下卦共に巽、空気が宇宙に流通している形。巽は風であり木である。風は見えないが、樹木が風で揺れているのを見れば風が吹いていることが分かる。人の心の微妙な兆しを察して、隠れた思いを推測する時である。国家に当て嵌めると、佞人を除去して弊害を刷新する時である。風のようにスッと相手に入り込み、従い、伏せることにより成立する。相手に柔順であり恭しく帰服すると云う意味もある。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								

卦 辞	巽(そん)は、小(すこ)し亨(とお)る。往くところあるに利あり。大人(たいじん)を見るに利あり。	巽では、小さな願いは叶う。人に従って進むのが良い。従うべき相手を選ぶ必要があるため、偉大な人物に会って従うのが良い。
初 九	進み退く。武人(ぶじん)の貞(てい)に利あり。	進んだり退いたりして、決断ができない。もし武人のような勇ましい態度を持って決断することができれば、利を得るだろう。
六 二	巽(したが)って牀下(しようか)にあり。史巫(しふ)を用(もち)うこと紛若(ふんじやく)たれば、吉にして咎なし。	神の前でへりくだり、寝台の下で伏している。神官や巫女を多く用いて、神への誠意を言葉で表すことができれば、吉であり咎めはない。
九 三	頻(しき)りに巽(したが)う。吝なり。	高い位にあるため、表面上だけしきりにへりくだる真似をしている。恥ずべきことである。
六 四	悔(くい)亡(ぼろ)ぶ。 田(かり)して三品(さんびん)を獲(え)たり。	後悔は消える。狩りをすればたくさん獲物を得られるように、何かしら行動すれば良い結果を得られるだろう。
九 五	貞しければ吉にして悔(くい)亡(ぼろ)ぶ。利あらざるなし。初めなくして終りあり。庚(こう)に先だつこと三日、庚に後ること三日。吉なり。	正道を守れば吉であり後悔も消える。何事にも利益がある。初めのうちは後悔が消えることはないが、終わりには消える。物事を変更する場合は、その前後三日に慎重になれば吉である。
上 六	巽(したが)って牀下(しようか)にあり。其(そ)の資斧(しふ)を喪(うしな)う。貞(まさ)に凶。	高い位にありながら寝台に伏し、過度にへりくだっている。高位の徳の象徴である鋭利な斧を失ったようである。まさしく凶。

運 勢	迷いが生じて決断ができず、心が定まらない時。おすすめのバケーションパッケージ 心が不安定な時には、良くも悪くも物事が変わりやすい。自分自身や身辺に変化が多い。
願 望	柔軟な姿勢で臨機応変に行動ができれば、小さな願いは叶う。
恋愛・関係	お互いに迷いが多く、不安定な関係。 相手から好かれことが多いが、相互に決断力がないため具体化しない。
結 婚	相手からは望まれるため、こちらが応じればまとまる。 ただし、縁談がまとまるまでに優柔不断になりやすい。また、婚後も何かと波乱が多く落ち着かない
性 格	人に従い、目上に逆らわない人。 商人に向いている。決断力は乏しい。
事業・方策	下請けなど、相手が主導の事業は順調に進む。偉大な人や尊敬できる人を応援するのも良い。 事業を新しく始めたり、人に逆らったりすることは凶。
住 居	商売として利用するなら可。 住居としては心が落ち着かず、改築や移転をするのが良い。
相 場	上下の浮動が多く、安定しない。売り買いのタイミングを掴むのが困難な時。
旅 行	計画を立てない小旅行をするのが良い。おすすめの商売に関連するなら遠出も可。
病 気	風邪、鬱、神経痛、伝染病、感染症、腸の疾病、性病、痔など。 治療が一進一退となり安定せず、悪化や長病の恐れあり。

58. 兑為沢(だいたく) 喜び学ぶ

キーワード：喜び、愛嬌、娛樂、ユーモア、おしゃべり、笑顔、議論に参加、練習、知識、学習、研究、勉強、話し合い、考えと感情を共有統合、友人間の交流、苦労を忘れる

上下共に兌(沢)が重なった卦。沢からは水が流れ出て行かないから、沢山の生物が水の中に生息することができ、説ぶ性質がある。大きな凹みに水を貯めているので清濁併せ飲み、万物が喜ぶと云う意味もある。下爻・中爻に安定した陽爻があり、その上にある陰爻が安心して楽しむことができるところも説びの象徴とされる。言葉にできないほどの喜びをいう。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
								
37: 風火家人	52: 艮為山	57: 巽為風	47: 澤水困	17: 沢雷隨	43: 沢天夬	60: 水澤節	54: 雷澤歸妹	10: 天澤履

卦 辞	兌(だ)は、亨(とお)る。貞(ただ)しきに利あり。	兌では、願いことが叶う。ただし、正道を守ることができる場合にのみ利益がある。
初 九	和して兌(よろこ)ぶ。吉なり。	上下関係に関心がないため、純粋に人にを悦ばせることができる。吉である。
九 二	孚(まこと)もて兌(よろこ)ぶ。吉にして悔(くい)亡(ほろ)ぶ。	信念をもって人を悦ばせる。そうすれば吉であり、悔いはなくなる。
六 三	来(きた)りて兌(よろこ)ぶ。凶なり。	自分より地位が低い者を悦ばせようとする。凶である。
九 四	商(はかつ)て兌(よろこ)ぶ。いまだ寧(やす)からず。介疾(かいしつ)あれども喜びあり。	悦ぶべきかどうか天秤にかけている。そのため、気持ちが休まらない。軽い病気にかかったようなものだが、毅然としていれば最後には喜びがある。
六 五	剥(はく)に孚(まこと)あれば、厲(あやう)きことあり。	自分の剛毅さをはぎ取ろうとする小人物を信じることがあれば、危いことがある。
上 九	引いて兌(よろこ)ぶ。	地位の高い者が目下の者の機嫌を取ろうとする。しかし相手が悦んでいるかどうか分からぬので、一歩引いている。

運 勢	喜ぶことが多く、楽しい時。ただし、油断や慢心をすると運気が下がる原因となるため、謙虚さを維持すること。口論や批判にも注意すべし。
願 望	謙虚な姿勢を維持していれば、願いごとは叶い、心が悦ぶ。失言などで信頼を失わないよう気を付けること。
恋愛・関係	こちらは相手に好意を寄せているが、相手はこちらを向いていない。口論が起つて関係が損なわれることあり。
結 婚	相手が結婚を望んでいない。ただし、こちらがまごころを示せば、やがてまとまる。
性 格	愛嬌があつて明るい性格。話がうまく、よく喋る人。少し小心者。
事業・方策	言い争いを控えて、油断や慢心をせず、何事にも柔順な姿勢を取ること。その上で、自分が望む事業に携わるのが良い。
住 居	移転は控えること。現状に不満があれば、修繕や改築で補うのが良い。
相 場	基本的には安値圏内で落ち着く。上昇する場面もあるが一時的なもの。
旅 行	慰安旅行には良い時。旅先で口論が発生しないよう注意すること。
病 気	口腔内の疾患、肺の疾患、消化器系統の疾患、腎臓・膀胱の疾患、性病、怪我・外傷など。軽症の場合を除けば、病気が体内に留まることとなり早い回復は望めない。

59. 風水渙(ふうすいかん) 再編成

キーワード：分散、溶解、解散、離散、統合されてない、コース修正、散乱、再編成、個と全体、契約の解消、渙散、悩みが散る、冒険への出発、遠方への船出

風が吹き、水がまき散らされる象。密雲の下に凝縮した水分を風が拡散する。巽は春や木と云う意味もあり、冬に凍った水が、春風によって解けて拡散する象である。今の時期は平常に戻りつつあるものの、それ以前には憂苦があったことを察せられる。また、巽という木の舟が坎という水の上を進むという意味もあり、遠方・海外との往来を示すこともある。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
27: 山雷頤	55: 雷火豊	60: 水沢節	61: 風澤中孚	20: 風地觀	57: 巽為風	06: 天水訟	04: 山水蒙	29: 坎為水

卦 辞	渙(かん)は、亨る。王有廟(ゆうびょう)に仮(いた)る。大川を涉(わた)るに利あり。貞(ただ)しきに利あり。	渙では、願いことが叶う。王が廟に至ることで、渙散していた先祖の靈魂が再び集結するだろう。大きな川を渡るような冒険をしても利益がある。ただし、正道を守ることができるとの利益がある。
初 六	用て拯(すく)う馬壯(さか)んなれば、吉。	強壮な馬に救ってもらえれば離散する者を連れ戻すことができるので、吉である。
六 二	渙(かん)のとき其(そ)の机(おしま)に奔(はし)る。悔(くい)亡(ほろ)ぶ。	離散する状況の時に、落ち着ける場所に走り着いた。悔いはない。
九 三	其(そ)の躬(み)を渙(かん)す。悔(くい)なし。	己の私利私欲を散じて、天下のために働く。悔いはない。
六 四	其(そ)の羣(むれ)を渙(かん)す。元吉なり。渙(かん)して丘あり、夷(い)の思う所にあらず。	私党を解散させる。大いに吉である。私党を解散させたことで、さらに大きな団結ができる。人々が集まって丘のようになるほどである。これは常人が考えが及ぶものではない。
九 五	渙(かん)のとき其(そ)の大号(たいごう)を汗(かん)ぐとくにす。王居(おうきよ)を渙(かん)すれば、咎(とが)なし。	天下が離散するときに、王が的確な命令を発す。王の私財を民に散するならば天下離散を回避できるため、咎めはないだろう。
上 六	其(そ)の血(いたみ)を渙(かん)す。去りて逖(とお)く出ず。咎(とが)なし。	障害となるものを離散させる。被害を受ける場所から去って遠く外に出していくことで、咎めはない。

運 勢	これまで困難や苦労を抱えていた人は、苦しい状況から解放されて運気が上昇する時。遠出をするか、遠くに住む人と交流すると良い。
願 望	先祖の靈を祭り、憂苦を散らすことができれば叶う。選択肢が複数あると気が散ってしまうので、一つのこと集中すべし。
恋愛・関係	離散の意味があるため、相手との関係を解消することがある。これまで関係がなかった人には、良い出会いあり。
結 婚	離散の意味があるため、縁談はまとまらず解消する。これまで機会に恵まれなかつた人には、縁談が舞い込むことあり。
性 格	一つのこと集中できず、気持ちの移り変わりが激しい人。物事に執着しないさっぱりとした性格の人。生まれ故郷から離れて遠方に向かうのが好きな人。
事業・方策	今あるものを一新すべし。古いものを捨て去ることで、新しい経路を開拓するのが良い。
住 居	新築は吉。現状の環境が悪い場合は、移転も良い。
相 場	人気が離散することにより下落する傾向。これまで人気がなく安値にあったものに関しては、上昇の動きあり。
旅 行	遠方への旅行が吉。飛行機や船を使う旅だとさらに良い。
病 気	風邪、腎臓・膀胱・尿道などの疾病、腸の疾病、血液の病、生殖器の疾病、痔、食中毒、下痢、耳・鼻の疾病など。多くの場合は快方に向かうが、根が強い重病は治療が長引く。

60. ䷕ 水沢節(すいたくせつ) 節度と限界

キーワード：制限、限られたスペース、限定、制約、接続、制限的規制、拘束、封じ込め、抑制、節度、節制、しめくくり、節約、節操、限度、限界、貞節

沢の上に、水がある形。沢に水なくなれば草木は枯れてしまうが、溢れれば水害に至ることもあるように、節度を失うと亂れが起きる。沢は自分の大きさに応じて水を貯める。これが節の時であり、物事に適切に対処することを「節」と言う。すなわち、節は何事も「ほどよい程度」に保つこと、物事が過不足ない状態を保つことである。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
27: 山雷頤	56: 火山旅	59: 風水渙	29: 坎為水	03: 水雷屯	05: 水天需	58: 兌為沢	19: 地澤臨	61: 風澤中孚

卦 辞	節(せつ)は亨る。苦節貞(てい)にすべからず。	節では、願いことが叶う。節度を守っているからである。ただし、度を過ぎた苦しい節制を正道であると勘違いしてはいけない。
初 六	戸庭(こてい)を出でず。咎なし。	中庭から出でていかない。 そのように慎重であれば咎めはない。
九 二	門庭(もんてい)を出でず。凶なり。	門の内側の庭から出でていかない。 出るべき時であったのに時機を逸してしまい、凶である。
六 三	節若(せつじやく)たらざれば、 嗟若(さじやく)たり。咎むことなし。	節度を守れないのであれば、嘆くしかない。 自分が招いた禍なので、誰を責めることもできない。
九 四	安節(あんせつ)す。亨る。	無理なく心安らかに節することができる。願いは叶う。
六 五	甘節(かんせつ)す。吉なり。 往けば尚(たつと)ばるることあり。	自己の欲を真摯に節しているため、他人を節しても受け入れられる。 吉である。前進すれば万人に敬われるような手柄があるだろう。
上 六	苦節(くせつ)す。貞なるときは凶。 悔(く)ゆるときは亡(ほろ)ぶ。	度を過ぎた苦しい節制をする。これが正道であると勘違いしていると凶である。後悔して改めれば、凶は消える。

運 勢	一つずつ着実に前進していく時。順調さや円滑さを期待してはいけない。 また、現在の行動に区切りをつけるべき時もある。
願 望	着実に前進し続けていれば、やがて叶う時機が来る。 ただし大きな願望は難しいため、慎ましさを心掛けるべし。
恋愛・関係	相手に悩みや隠し事があり、関係が進展するには時間が掛かる。 手堅く慎重に距離を詰めるのであれば良い。
結 婚	節度ある交際のあとにまとまる良縁。まとまるまでに時間は掛かる。 婚後も堅実さがあれば平穏無事な家庭を築くことができる。
性 格	節度を守る人。質素儉約な生活をする人。 分相応の安定に満足している人。
事業・方策	大きなことをやるべき時ではない。 手堅く慎重に、少しづつ前進するのが良い。
住 居	小規模な改築であれば良い。 大規模な改築や移転は取り止めること。
相 場	安値圏内に留まり、大きな動きはない。 節度をわきまえた売買を心掛けられ無事。
旅 行	近場の小旅行であれば良いが、遠出するのは取り止めること。 旅先では水難に注意。
病 気	口腔内の疾患、肺の疾患、消化器系統の疾患、腎臓・膀胱・尿道の疾患など。 病気が根付いており、早い回復は難しい。気長に治療することで効果あり。

61. 風澤中孚(ふうたくちゅうふ) 私心のない大いなる愛

キーワード：親和、和合、調和、親睦、誠心、誠実、理解、真心、誠意、愛情、恋慕、内なる真実、信頼

沢の上に風が吹いている象。沢の水は風に従い風が吹くままに動く。風は沢の水気を含んで雲となり、雲からは雨が降って空気を清浄にする。沢の働きは風を助け、風の働きは沢を助け、互いに助け合っている。互いの性質を尊重して、性質を損ねることなく、親しみ合い、信じ合って、互いに従う。上は下の意思を尊重し、下は悦んで上に従い、上下が和合して互いの信念や誠実さが通じ合う。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
27: 山雷頤	62: 雷山小過	61: 風澤中孚	59: 風水渙	42: 風雷益	09: 風天小畜	10: 天澤履	41: 山澤損	60: 水澤節

卦 辞	中孚(ちゅうふ)は、豚魚(とんぎょ)にして吉なり。 大川を涉るに利あり。貞しきに利あり。	中孚では、心中に誠心があれば、貧しいお供え物である豚や魚を神に供えても吉である。大きな川を渡るような冒険をしても利益がある。ただし、正道を守ることができる場合にのみ利益がある。
初 九	虞(はか)れば吉なり。他あれば燕(やす)からず。	相手が信じるに値する人物かどうか、しっかりと推し測ることができれば吉である。一度信じたのであれば相手に対して徹底的に誠実であるべきである。もし他人に心を移すのであれば、安らげる場所を失うこととなるだろう。
九 二	鳴鶴(めいかく)陰(いん)に在り。其(そ)の子これに和す。 我に好爵(こうしゃく)あり。吾(われ)爾(なんじ)とこれを靡(とも)にせん。	鶴が暗い陰の中で鳴く姿は見えずとも、その子どもが親鶴の声に合わせて鳴く。それは心が通い合っているからである。今、私は望んでいた爵位を手に入れたが、独り占めしたくない。信頼するあなたとの爵位を分かち合おう。
六 三	敵を得たり。或いは鼓(こ)し或いは罷(や)め、或いは泣き或いは歌う。	敵が現れる。この敵を攻めようと鼓を鳴らしながら進むこともあれば、退くこともある。進軍できないことを嘆き泣くこともあれば、敵と和睦して喜び歌うこともある。
六 四	月望(ぼう)に幾(ちか)し。 馬の匹(たぐい)亡(うしな)う。咎なし。	月が満月に近づいている。 対の馬を失う。咎めはない。
九 五	孚あり攀如(れんじよ)たり。咎なし。	互いに共通する信念があつて手を繋ぎ合う。 咎めはない。
上 九	翰音(かんおん)天に登る。貞しけれど凶。	飛べない鶴が天に登ろうとする。 たとえ信念が正しくても凶である。

運 勢	対話を通して人間関係を円滑にすることで運気が上がる。 何事にも誠心誠意をもって対応すること。
願 望	日ごろ周囲との人間関係が円滑であれば願望叶う。 お互いに信頼している者との協調的な願望は大いに叶う。
恋愛・関係	相思相愛の仲。 お互いに信頼があり、長期的な関係を保つことができる。
結 婚	お互いに望んでおり、良縁。 婚後も調和して相思相愛の夫婦となる。
性 格	周囲と調和し、協調性の高い人誠実さのある温情深い人。人気者。
事業・方策	誠実さをもって人を集める方策を取ること。 周囲との人間関係も重要な時。
住 居	外観は良いが内部に不満がある。 改築は良いが、移転をしても現状以上の住居はないため控えるべし。
相 場	条件が揃い、上昇傾向となる。
旅 行	人間関係を大切にすれば、旅行は吉。 平穏で楽しい旅となる。
病 気	鬱、神経痛、伝染病、感染症、熱病、性病など。 発熱を伴いながら病気が体内に留まるため、回復困難に至ることが多い。

62. 雷山小過(らいざんしょうか) 小さな過度の活かし方

キーワード：少し行き過ぎる、背反、離反、小事は可、大事は不可、前進は警戒、退くのが良い、小さい成功、節約、小さな弱点、小さな間違い、詳細への注意、小さな問題に注意を払う、控えめ

小過の卦は、真ん中にある陽をはさんで陰がはびこっている形。陽は大人物、陰は小人物の象徴で、多勢である小人物が横暴となっていることを表す。山の上に雷が轟き渡る象である。万物の生成発展を奮い立たせる雷のエネルギーが、今は、山の上にあるため、万物を生成発展を奮い立たせる力はない。小事であれば実現可能、大きなことは不可。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
28: 沢風大過	61: 風澤中孚	62: 雷山小過	55: 雷火豐	32: 雷風恒	16: 雷地豫	15: 地山謙	31: 沢山咸	56: 火山旅

卦 辞	小過は、亨る。貞しきに利ろし。小事には可なり、大事には可ならず。飛鳥これが音(ね)を遺(の)こす。上るに宜しからず、下るに宜し。大いに吉なり。	願いか叶う。ただし、正道を守る場合にのみ利益がある。小さなことをするなら可だが、大きなことは不可である。鳥が通り過ぎていき、その鳴き声が耳に残る。上に昇れば休めるところはないが、下に降れば落ち着く場所を得るため、大
初 六	飛鳥(ひちょう)もって凶(きょう)なり。	過度に高く飛ぶ鳥のようである。下に降ることを知らないため、凶である。
六 二	その祖(そ)を過ぎ、その妣(ひ)に遇(あ)う。その君に及ばずして、その臣に遇(あ)う。咎なし。	祖父となる九五はいないため、祖父を通り過ぎる。そして祖母となる六五と出遇う。同じく、君主となる九五はいないため、君主にはたどり着けない。そして臣となる六五と出遇う。咎めはない。
九 三	これを益す。凶事に用うるに咎なし。中行に孚あり。公に告ぐるに圭(けい)を用です。	行く先に悪人が待ち構えており、通り過ぎることができず通行を防がれる。さらには殺されることもあるかもしれない。凶である。
九 四	咎なし。過ぎずしてこれに遇う。往(ゆ)けば厲(あやう)し。必ず戒(いまし)むべし。永貞(えいてい)を用うことなけれ。	静かにしていれば咎めはない。悪人と出遇い、やり過ごすこともできない。しかし、自分から進んで悪人を討とうとするのは危うい。必ず注意しなければいけない。いつまでも自分の正義を貫こうとしてはいけない。
六 五	密雲あれど雨ふらず。我が西郊(せいこう)よりす。公(こう)、弋(いぐるみ)して彼(か)の穴に在るを取る。	西の郊外より濃い雲が湧いても雨はいまだ降らない。君主は矢を放つて、穴に潜っている六二を捕らえて自分の補佐として用いる。
上 六	遇わずしてこれを過ぐ。飛鳥(ひちょう)これに離(かか)る。凶なり。これを災眚(さいせい)と謂(い)う。	もはや邪魔をする者には出遇わず、高く飛び過ぎて行く。高く飛ぶ鳥が矢で射られるような凶運に見舞われる。これを天災と人災と言う。

運 勢	分不相応のことに手を出すことで、進退が窮まる。分相応の小事なら良し。大事は不可。何事もやり過ぎは禁物。人間関係において背反が起きやすい。
願 望	願望が少し大きすぎるため、一旦は退くのが良い。あるいは小事に変えれば叶う。
恋愛・関係	高望みが原因で、背反離別となりやすい。何事も行き過ぎないよう心掛けること。
結 婚	意見が食い違うためまとまらない縁談。婚後もお互いの性格の相違などにより平穏な生活は送れない。
性 格	他人と意見が合わない人。分不相応なことに手を出して失敗する人。嘘やごまかしが多い人。
事業・方策	新規や拡大に関する事業は失敗のもと。控えめにするのが良い。人間関係の断絶が起きやすい時。
住 居	今の住環境は悪い。小規模の修繕や改築なら良いが、移転などの大事は不可。今は時機と場所を選定して待つべし。
相 場	小さな材料で少々の上昇はある。ただし、大きく下落することがあるので慎重になるのが良い。
旅 行	取り止めるのが良い。遠出をしても心休まらず、また事故の可能性もある。
病 気	精神病、手足の疾患、外傷、腸や腎臓の疾患、血行不順、下痢など。軽症以外は病根深く、治療が長期化する。重病化にも注意。

63. 水火既濟(すいかきせい) 完成

終わり、必要なものが揃う、話がまとまる、過不足がない、完了、完成、完了後、完成後、終了後、ミッション完了、タスク完了、ととのう、整った状態、クライマックスの状態、成就

陽爻はすべて奇数位に、陰爻はすべて偶数位にあり、すべての爻が正しい位置にある。太陽が大地に在る水を照らし水蒸気が蒸発していく形である。天と地、水と火が交わり万物を生成化成する。六十四卦のなかで、最も完成した形。既に完成されたものに更なる発展はないため、現在は最盛期を迎えて吉でも、今後は衰退していくため注意が必要。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
			64: 火水未済	39: 水山蹇	05: 水天需	03: 水雷屯	49: 沢火革	36: 地火明夷

卦 辞	既濟は、亨ること小なり。貞しきに利ろし。 初めは吉にして終りは乱る。	既濟では、小さい願いは叶う。ただし、正道を守ことができた場合にのみ利益がある。初めは吉だが、終わりには乱れる。
初 六	その輪を曳(ひ)き、その尾を濡らす。咎なし。	車の輪を後ろから引つ張る。狐が尾を濡らす。 川を渡るときにこういうことが起こると、簡単には渡れない。 慎重になれば咎めはない。
九 二	婦(ふ)その茀(ふつ)を喪(うしな)う。 逐(お)うことなけれ。七日にして得ん。	車内で用いる覆いを失つてしまい、婦人は顔を隠せない。 しかし、わざわざ追って探す必要はなく、 七日もすれば勝手に返ってくるだろう。
六 三	高宗(こうそう)鬼方(きほう)を伐(う)つ。 三年にしてこれに克(か)つ。小人は用うるなかれ。	高宗という王が敵国の鬼方に討ち勝つ。三年かけてようやく勝った。 功労者といえども誰でも官職に登用していいわけではない。 小人物には金品を与えるのに留めるのが良い。
九 四	縕(ぬ)るるとき衣祫(いじよ)あり。終日戒(いまし)む。	舟に穴が開き浸水しているため、布切れで穴をふさぐ。 事前に周到な準備をし、一日中警戒している。
六 五	東鄰(とうりん)の牛を殺すは、西鄰(せいりん)の禴祭(やくさい)して、実(まこと)にその福(さいわい)を受くるにしかず。	牛を殺して行う贅沢な祭りを東隣の家が行っているが、その祭りに誠実さなければ、西隣の家で行われる僕約な祭りには及ばない。 誠実さが本当の福を招く。
上 九	その首(こうべ)を濡(ぬ)らす。厲(あやう)し。	狐が川を渡る時に頭まで濡れてしまう。危険である。

運 勢	現状は安定した運気の時のため、小さなことを行うには良い。 ただし、大事を成す時機ではない。また、初めのうちは順調だが、時間が経つと乱れる。
願 望	完成・達成が目前にある願望は順調に叶う。ただし、叶った後には衰運が訪れるため注意。
恋愛・関係	恋愛成就し、初めは大いに親和する。しかしち次第に不和が生じる恐れがあるため注意。
結 婚	縁談は何の問題もなくまとまる。結婚直後は順調だが、次第に問題が生じる恐れがある。 怠慢にならず誠実さを維持するよう心掛けること。
性 格	常識人で社交性もあるが、個性のない人。感情の起伏がなく、穏やかそうな人。
事業・方策	現在の安定を大切にすること。欲による新規や拡大に関する事業は転落の原因となる。
住 居	現状すでに住み心地が良い状態。 修理や改築の必要がある場合、小規模であれば吉。移転は控えるのが良い。
相 場	現在の価格のまま大きな動きなく推移する。 今は安定しているが、将来的には下落傾向となる。
旅 行	安定して楽しめる旅行となる。ただし、旅の後半にトラブルが起こる可能性があるので注意すること。
病 気	腎臓・膀胱・尿道などの疾病、心臓・血液の病、生殖器の疾病など。 軽症に見えても、実は病根深い可能性あり。

64. 火水未済(かすいびせい) 未完成

キーワード：完成前、完了前、終了前、完成間近、未完成、未完の仕事、ミッション未達成、完了していない、未解決、ととのわない、未完成の状態、未熟、時期尚早、次第に調和する、次第にまとまる

奇数位に陰爻があり、偶数位に陽爻があるため、未済の爻はすべて不正位となっており、完璧でないこと、完成されていないことを表す。上卦の火は上へ向い、下卦の水は下に向うため火水は上下に分かれて交わることがない。万物はいつまでも完全であることができないため、易經は「未済」で終わり、循環が続くことを示唆する。

互卦	錯卦	綜卦	初爻变	二爻变	三爻变	四爻变	五爻变	上爻变
63: 水火既済	63: 水火既済	63: 水火既済	38: 火澤睽	35: 火地晉	50: 火風鼎	04: 山水蒙	06: 天水訟	40: 雷水解

卦 辞	未済(びせい)は、亨る。小狐(しようこ)汔(ほとん)んど済(わたり)らんとして、その尾を濡らす。利(よ)ろしきところなし。	未済では、願いは叶う。小さな狐が川をほとんど渡り切ろうとする時に、その尾を濡らしてしまい結局渡れない。何もいいところがない。
初 九	その尾を濡らす。吝なり。	狐が川を渡ろうとして、その尾を濡らして失敗する。恥ずべきことである。
六 二	その輪(わ)を曳(ひ)く。貞しくして吉なり。」	川を渡ろうとする車を後ろから引っ張る。盲進することなく制御ができていることは正しい姿勢であると言える。吉である。
九 三	いまだ済(な)らず。征(ゆ)くは凶なり。大川を渉(わた)るに利ろし。	事はまだ調わない、積極的に進めば凶となるだろう。しかし、臆病なくらい慎重な姿勢を保つことは、大川を渡る時に有利である。
六 四	貞しければ吉にして悔(く)い亡(ぼろ)ぶ。震(うご)きてもって鬼方(きほう)を伐(う)つ。三年にして大國(たいこく)に賞(しょう)せらるることあり。	正道を守り続けていれば吉であり、未然に後悔も防ぐことができる。勢いと勇気を用いて自分を奮い立たせ、敵国の鬼方に討ち勝つ。三年という長い時間を費やせば、国から褒美をもらえることもあるだろう。
九 五	貞しければ吉にして悔なし。君子の光あり。孚(ふ)ありて吉なり。	正道を守ることで吉を得る。悔いはない。君子として光り輝く徳がある。誠実さがある。そのためさらに吉を得る。
上 六	飲酒に孚(ふ)あり。咎(くわい)なし。その首(こうべ)を濡らすときは、孚(まこと)あれども是(ぜ)を失う。	事が調わない時は、酒を飲んでその時間を楽しみつつ、泰然と待っているのが良い。ただし、頭まで浸かるほど酒を飲みすぎてしまうようなら、その泰然な姿勢は失われてしまう。

運 勢	現在は問題が多く不調だが、次第に状況は好転し調和する。未熟であるため、忍耐や努力が必要な時。男性は女性から不遇な扱いを受けて難あり。
願 望	忍耐強く努力を続けることで最終的に叶う。ただし強固な意志が必要。
恋愛・関係	お互いにこだわりが強いため、初めは不和。しかし、次第に調和して吉。女性が積極的になると、男性は退いてしまうため注意。
結 婚	現在は支障が多いが、時が経てば解決する。まとめるのが良い縁談。男性はしばらく引け目を感じることになるが、次第に調和して安泰となる。
性 格	外見は明るい性格に見えるが、内面に悩みを持つ人。現在は不遇だが、将来発展する可能性がある人。
事業・方策	初めは準備不足のため支障が多いが、長期的に考えれば順調に行く。人に尽くす心掛けがあると吉を招く。
住 居	不満のある箇所の修繕や改築は良い。移転は好機を待つべし。
相 場	初めは安値だが、次第に上昇して高値となる。ただし、小刻みに浮動するため短期的な利益を得るのは困難。
旅 行	忘れ物や予約の手違いなど、準備段階でのミスに注意。旅の序盤はトラブルが起きやすいが、後半になるにつれて順調となる。
病 気	精神病、腎臓・膀胱・尿道などの疾病、心臓・血液の病、目の疾患など。長期化する傾向のある病は治癒困難の恐れあり。